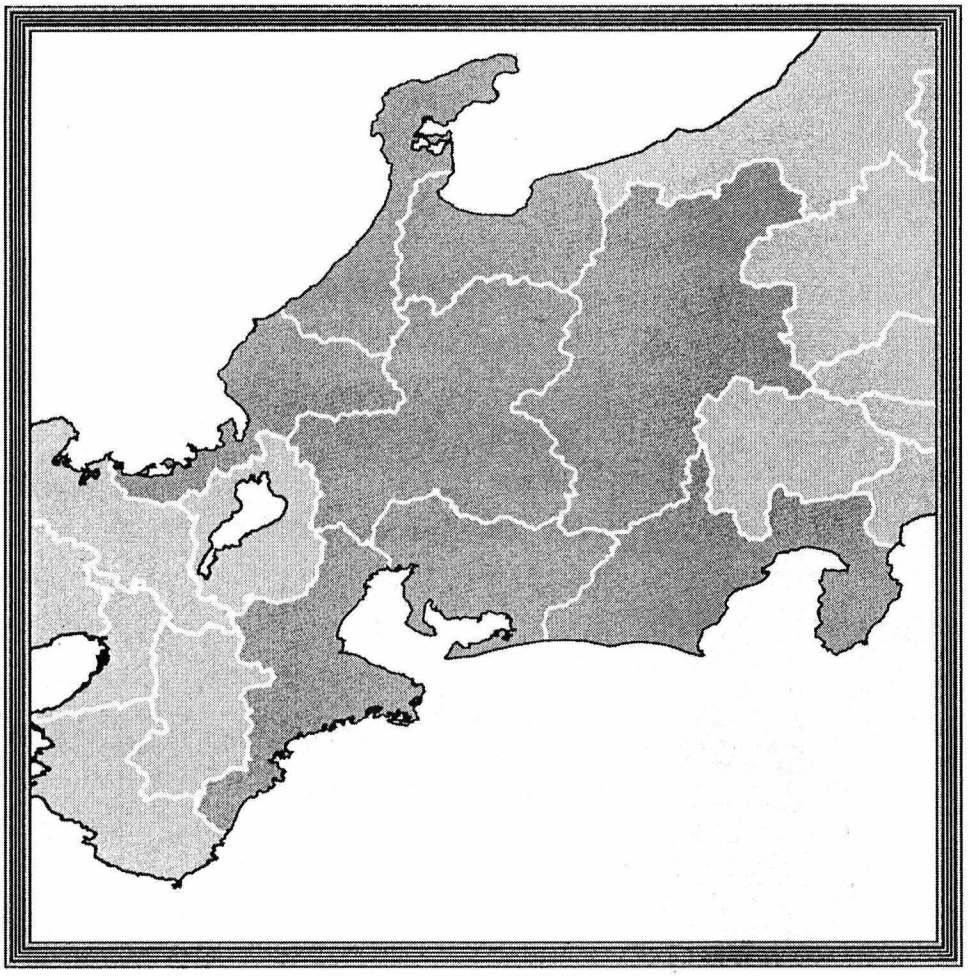
50周年記念誌

2008年5月

日本分析化学会中部支部

50周年記念誌



2008年5月

日本分析化学会中部支部

日本分析化学会中部支部創立 50 周年記念誌

目次

中部支部創立 50 周年記念に寄せて　2

中部支部創立 50 周年記念講演会，式典，祝賀会次第　3

中部支部 50 年の略史　⇔　日本分析化学会 50 年の略史　4
- 別表 1　講演会　6
- 別表 2　講習会　8
- 別表 3　分析化学中部夏期セミナー　11
- 別表 4　若手研究交流会　12
- 別表 5　中部分析化学奨励賞　13
- 別表 6　中部分析化学功績賞　14
- 別表 7　見学会　15
- 別表 8　中部化学関係学協会連合秋季大会　16
- 別表 9　歴代支部長　18
- 別表 10　中部支部所属会員数の推移　19
- 別表 11　中部支部特別会員・維持会員一覧　20

中部支部 50 年史　26
中部支部運営細則　81
中部支部内規　83
中部分析化学功績賞規定　85
中部分析化学奨励賞規定　86

日本分析化学会各賞受賞者
- 別表 A　学会賞受賞者　87
- 別表 B　学会功労賞受賞者　89
- 別表 C　技術功績賞受賞者　89
- 別表 D　奨励賞受賞者　90
- 別表 E　有功賞受賞者　92
- 別表 F　論文賞受賞者　94

広告企業一覧　95

実行委員会・編集後記　119

付録：中部夏期セミナー講演要旨集（第 1 回～第 26 回）CD

中部支部創立50周年に寄せて

湯　地　昭　夫

日本分析化学会中部支部は本 2008(平成 20)年度に，創立 50 周年を迎えることとなりました．真にお目出度く，中部支部会員の皆様と心からお祝いしたいと思います．

この機会にと引っ張り出してみた古い「分析化学」の事業報告などによれば，中部支部は日本分析化学会発足から数えて７年目の 1958 年に，近畿・東北・関東・九州・北海道支部に次いで「静岡・長野・愛知・岐阜・三重・石川・富山・福井の８県を所属地区にする」６番目の支部として誕生とあります．同年 10 月 27-29 日に名古屋で開催された日本分析化学会第７年会に合わせて中部支部発会式が挙行されたようで，今年度に第 69 回分析化学討論会が名古屋で開催され，それに合わせて創立 50 周年記念事業を執り行うことになったのには巡り合わせを感じます．この間，10 年毎に記念行事が開催され，創立 30 周年からは記念誌も発行されてきました．50 周年はより大きな節目ですが，これらを踏襲した事業を挙行させていただくこととなりました．

本記念誌を見ていただくとお分かりのように，この 50 年の間に，各支部回り持ちの本部事業に加えて支部が主催してきた講演会・講習会・セミナー・見学会などの質と量には驚くべきものがあり，その継続性と時宜を得た新事業の展開に感心させられます．陰には中部支部会員の皆様の献身的な御努力と御苦労があったものと拝察されます．

支部所属の正会員数は 500 人台から始まり，1971 年には 600 人を，1975 年には 700 人を突破し，それが 30 年に渡って維持されてきました．1984 年から始まった学生会員の数も順調に伸び，少なくとも最近の 10 年は 100 人前後で安定しています．更に，中部支部を拠点とする維持会員・特別会員・公益会員もほとんどが継続していただいており，ありがたい限りです．なお 2005 年以降は，団塊の世代の退職など多くの要因で，中部支部の正会員数も，日本分析化学会を含むほとんどの学会と同様に，漸減する傾向にあります．

20 世紀の日本の「ものづくり」を支え，また「ものづくり」に向けて発信してきた基盤技術としての分析化学，そしてそれを担う日本分析化学会は 21 世紀にも多くの成果を期待されています．「ものづくり」の中心地である中部地区の会員の皆様が大きな貢献をされ，ますます魅力ある支部となっていくことを確信しております．

（平成 20 年度日本分析化学会中部支部長，支部創立 50 周年記念事業実行委員長）

中部支部創立 50 周年記念講演会，式典，祝賀会

日 時：5 月 17 日(土)　9:00-14:30
会 場：名古屋ガーデンパレス(460-0003 名古屋市中区錦 3-11-13, tel:052-957-1022)

記念講演会　　司会：丁子哲治，藤本忠蔵

9:00-9:10　挨拶　湯地昭夫(2008 年度中部支部長)

9:10-9:55　「電気化学計測のための機能界面の創成と非水溶液用イオンセンサー およびバイオセンサーの開発・その応用」　中村俊夫(信州大学理学部)

9:55-10:40　「膜抽出分離法が開く新しい環境分析技術」
田口　茂(富山大学大学院理工学研究部(理学))

10:40-11:25　「支部との歩み 30年」
平出正孝(名古屋大学大学院工学研究科)

記念式典　　司会：大谷　肇，手嶋紀雄

11:35-11:55　来賓祝辞　渡會　仁(日本分析化学会会長)

11:55-12:00　中部分析化学功績賞表彰　竹内豊英(2007 年度中部支部長)

12:00-12:30　「支部行事の変遷と支部の活性化」
山田碩道(元名古屋工業大学大学院)

記念祝賀会(12:30-14:30)　　司会：一ノ木　進，平山直紀

中部支部50年の略史

西暦		年会	討論会	西暦
1958	中部支部創立	第7回－名古屋		1958
1959	講演会開始(別表1), 講習会開始(別表2-1)			1959
1960				1960
1961				1961
1962				1962
1963				1963
1964		第12回－金沢		1964
1965				1965
1966				1966
1967			第28回－名古屋	1967
1968				1968
1969	中部化学関係学協会連合秋季大会開始(別表8)			1969
1970	工場見学会開始(別表7)	第19回－名古屋		1970
1971				1971
1972				1972
1973				1973
1974				1974
1975			第36回－金沢	1975
1976				1976
1977				1977
1978		第27回－金沢		1978
1979				1979
1980				1980
1981			第42回－三ヶ根	1981
1982	分析化学中部夏期セミナー開始(別表3)			1982
1983				1983
1984		第33回－名古屋		1984
1985	パソコン講習会開始(別表2-2)			1985
1986				1986
1987			第48回－鳥羽	1987
1988				1988
1989				1989
1990		第39回－名古屋		1990
1991	講習会再開(別表2-3)			1991
1992	夏期セミナーポスター発表開始			1992
1993				1993
1994			第55回－富山	1994
1995	若手研究交流会開始(別表4)			1995
1996				1996
1997				1997
1998	夏期セミナーポスター賞創設, 中部支部HP開設	第47回－岐阜		1998
1999				1999
2000				2000
2001	中部分析化学奨励賞創設(別表5)		第62回－松本	2001
2002				2002
2003	中部分析化学功績賞創設(別表6)			2003
2004				2004
2005		第54回－名古屋		2005
2006				2006
2007				2007
2008			第69回－名古屋	2008

日本分析化学会50年の略史

支部誕生

近畿
東北
関東
九州
北海道
中部
中国
四国

1951.4.5	第1回設立準備会
1952.4.3	設立総会・発会式
1952.8.15	「分析化学」誌創刊
1952.10.30	年会創始
1953.5.9	分析化学討論会創始
1959.4.23	社団法人認可
1959.6.23	事務所移転：東京工業試験所
1961	有功賞創設　会員数5000人突破
1963	学会賞創設
1967	団体会員制度を維持・特別・公益会員へ変更
1971	奨励賞創設
1972.4.3～7	ICAC
1975.1	「ぶんせき」誌創刊
1976.11.10	事務所移転：協和初台ビル
1977.12.5	事務所移転：五反田サンハイツ
1981	永年会員制度創設
1981.9.4～8	ICAS-XXII CSI
1985.4	「Analytical Sciences」誌創刊
1986	技術功績賞創設
1987	「分析化学」論文賞創設
1988.11	「分析化学教育用ビデオ」頒布開始
1989	会員数9000人突破
1991.8.25～31	ICAS '1991, ASIANALYSIS Ⅰ
1993.8	標準物質頒布開始
1999	試験所認定技能試験開始
2001	学会功労賞創設
2001.8.6～10	ICAS '2001, ASIANALYSIS Ⅵ
2001.11.23～25	創立50周年記念大会

（日本分析化学会 HP より転載）

別表1　講演会

年度	月日	場所	月日	場所	月日	場所	月日	場所
1958								
1959	6月10日	名古屋市工業研究所	11月26日	名古屋工業技術試験所	1月28日	三晃社ホール		
1960	4月20日	名古屋市中区役所	8月11日	名古屋市工業研究所	9月17日	金沢大学理学部	2月20日	愛知県文化会館
1961	11月18日	荒川長太郎合名会社	11月29日	富山県工業試験場				
1962								
1963								
1964		福井大学						
1965								
1966								
1967	7月5日	名古屋市科学館	2月6日	名古屋市科学館				
1968	1月25日	静岡大学工学部						
1969	11月8日	福井大学教育学部	12月8日	名古屋市工業研究所				
1970								
1971	7月3日	信州大学理学部	9月11日	富山県民会館	11月13日	福井大学工学部		
1972	11月25日	金沢大学工学部	1月16日	中部科学技術センター				
1973	2月2日	静岡大学工学部						
1974	11月9日	福井大学工学部	12月5日	四日市農協会館				
1975	11月7日	富山県薬業会館	1月31日	静岡大学教養部				
1976	2月1日	信州大学工学部	2月4日	金沢大学工学部				
1977	1月23日	四日市農協会館	1月27日	富山大学				
1978	6月6,7日	名古屋市工業研究所	11月11日	福井大学工学部	11月25日	王山会館		
1979	11月9日	金沢大学理学部	1月23日	岐阜大学工学部				
1980	9月13日	富山大学理学部	10月31日	信州大学理学部	11月28日	名古屋大学豊田講堂	1月30日	富山大学理学部
1981	7月4日	金沢大学教養部	11月28日	静岡大学教養部	1月29日	金沢大学理学部		
1982	4月20日	愛知厚生年金会館	11月19日	福井大学教育学部	1月21日	信州大学工学部		
1983	6月17日	金沢大学理学部	7月7日	岐阜歯科大学	11月12日	富山大学	11月22日	名古屋大学アイソトープ
1984	11月16日	富山大学教育学部	11月29日	名古屋工業大学	1月19日	静岡薬科大学		
1985	6月21日	金沢大学	12月12日	名古屋大学理学部	2月12日	豊橋技術科学大学		
1986	7月1日	福井大学教育学部	7月4日	名古屋工業大学	12月11日	岐阜大学		
1987	6月26日	富山大学理学部	10月31日	名古屋工業大学	11月12日	三重大学工学部		
1988	6月10日	金沢大学理学部	10月7日	愛知県厚生年金会館	11月28日	信州大学理学部		
1989	6月17日	福井大学教育学部	6月30日	朝日大学	11月13日	名古屋工業技術試験所		
1990	5月12日	名古屋工業大学	6月15日	金沢大学工学部	11月8日	浜松医科大学		

1991	6月14日	富山大学教育学部	12月10日	名古屋市工業試験所				
1992	6月24日	信州大学理学部	7月14日	富山大学工学部	9月19日	名古屋大学シンポジオン		
1993	7月2日	金沢大学工学部	12月4日		1月24日	グランパレホテル		
1994	7月8日	福井大学教育学部	11月25日	愛知工業大学	11月28日	三重大学工学部		
1995	6月23日	富山大学理学部	7月17日	静岡大学工学部	1月16日	名古屋大学シンポジオン		
1996	6月21日	金沢大学理学部	10月31日	名古屋大学豊田講堂	11月5日	じばさん三重		
1997	6月20日	北陸公衆衛生研究所	7月18日	愛知工業大学	8月2日	名古屋ガーデンパレス	11月14日	信州大学工学部
1998	6月19日	富山大学教育学部	8月20日	岐阜未来会館	1月22日	名古屋ガーデンパレス		
1999	6月4日	金沢大学工学部	7月13日	名古屋工業大学	7月16日	静岡県長泉町コミュニティ		
2000	6月16日	福井大学教育地域科学部	6月24日	三重大学工学部	7月28日	愛知工業大学		
2001	6月18日	富山県民会館	11月30日	信州大学理学部	12月7日	豊橋技術科学大学		
2002	6月21日	金沢大学	10月18日	名古屋大学VBL	11月8日	岐阜薬科大学		
2003	6月13日	福井大学	7月14日	浜松医科大学	11月28日	産業技術総合研究所中部		
2004	6月18日	富山大学工学部	7月27日	愛知工業大学	10月15日	三重大学工学部		
2005	6月17日	金沢大学角間キャンパス	6月24日	名古屋工業大学	11月17日	信州大学工学部		
2006	7月14日	福井大学工学部	11月2日	岐阜薬科大学	12月1日	名古屋大学VBL		
2007	6月27日	富山大学理学部	11月3日	静岡県立大学小講堂	11月16日	名古屋大学		
2008	5月17日	名古屋ガーデンパレス						

別表 2-1 講習会

	開催日	会　場
第 1 回講習会	1959 年 6 月 25 日～27 日	富山大学工学部、富山県工業試験場
第 2 回講習会	1960 年 8 月 25 日～27 日	名古屋大学工学部
第 3 回講習会	1961 年 8 月 25 日～26 日	名古屋市立大学薬学部
第 4 回講習会	1962 年 8 月 28 日～30 日	名古屋工業技術試験場
第 5 回講習会	1963 年 8 月 25 日～28 日	名古屋工業大学　他
第 6 回講習会	1964 年 8 月 27 日～29 日	名古屋市立大学薬学部
第 7 回講習会	1965 年 8 月 26 日～27 日	静岡薬科大学
第 8 回講習会	1966 年 8 月 25 日～27 日	名古屋大学工学部　他
第 9 回講習会	1967 年 8 月 24 日～26 日	金沢大学理学部、工学部
第 10 回講習会	1968 年 8 月 27 日～29 日	名古屋工業大学
第 11 回講習会	1969 年 8 月 25 日～27 日	名古屋大学工学部
第 12 回講習会	1970 年 8 月 25 日～27 日	名城大学薬学部、名古屋大学工学部
第 13 回講習会	1971 年 8 月 25 日～27 日	名古屋工業技術試験所
第 14 回講習会	1972 年 8 月 23 日～25 日	名古屋市立大学薬学部
第 15 回講習会	1973 年 8 月 23 日～25 日	金沢大学工学部、理学部、薬学部
第 16 回講習会	1974 年 8 月 25 日	静岡薬科大学
第 17 回講習会	1975 年 8 月 20 日～22 日	名古屋市立大学薬学部
第 18 回講習会	1976 年 8 月 18 日～20 日	名古屋大学工学部
第 19 回講習会	1977 年 8 月 25 日～26 日	名古屋大学工学部、名古屋工業大学
第 20 回講習会	1978 年 8 月 24 日	名城大学薬学部
第 21 回講習会	1979 年 8 月 22 日～23 日	名古屋大学工学部
第 22 回講習会	1980 年 8 月 19 日～20 日	名古屋大学工学部
第 23 回講習会	1981 年 8 月 26 日～28 日	名古屋工業大学

別表2-2　パソコン講習会

	開催日	会　場
パソコンによる化学計測実習	1986年3月13日～15日	豊橋技術科学大学
第1回化学パソコン懇談会	1986年7月25日～26日	京都工芸繊維大学
第2回化学パソコンソフトウエア研究討論会	1987年11月4日～5日	埼玉大学
第3回パソコンのインターフェース回路実習	1987年7月23日～25日	名古屋大学工学部
第4回パソコンのためのインターフェース回路実習	1988年7月28日～30日	豊橋技術科学大学
第5回パソコンのためのインターフェース回路実習	1989年7月27日～29日	信州大学農学部
第4回化学パソコンソフトウエア研究討論会	1989年11月10日～11日	福井工業高等専門学校
第6回パソコンのためのインターフェース回路実習	1990年7月26日～27日	名古屋大学工学部
第7回パソコンのためのインターフェース回路実習	1991年7月18日～19日	豊橋技術科学大学
第8回パソコンのためのインターフェース回路実習	1992年7月16日～17日	東京理科大学神楽坂校舎
第9回パソコンのためのインターフェース回路実習	1993年7月15日～16日	星薬科大学
第10回パソコンのためのインターフェース回路実習	1994年8月25日～26日	立教大学
第11回パソコンのためのインターフェース回路実習	1996年7月25日～26日	名古屋大学工学部
第12回パソコンのためのインターフェース回路実習	1997年7月24日～25日	星薬科大学
第13回パソコンのためのインターフェース回路実習	1998年7月23日～24日	名古屋大学工学部
第14回パソコンのためのインターフェース回路実習	1999年7月29日～30日	東京都立大学

別表2-3 講習会

	開催日	会 場
第1回基礎及び最新の分析化学講習会	1991年10月31日～11月1日	名古屋工業大学
第2回基礎及び最新の分析化学講習会	1992年10月12日～13日	名古屋市工業研究所
第3回基礎及び最新の分析化学講習会	1993年10月28日～29日	富山大学
第4回基礎及び最新の分析化学講習会	1994年11月17日～18日	名古屋市工業研究所
第5回基礎及び最新の分析化学講習会	1995年10月16日～17日	名古屋市工業研究所
第6回基礎及び最新の分析化学講習会	1996年11月11日～12日	名古屋市工業研究所
第7回基礎及び最新の分析化学講習会	1997年11月6日～7日	名古屋工業大学
第8回基礎及び最新の分析化学講習会	1998年11月9日～10日	名古屋市工業研究所
第9回基礎及び最新の分析化学講習会	1999年11月18日～19日	名古屋工業大学
第10回基礎及び最新の分析化学講習会	2000年11月16日～17日	フェニックスプラザ北陸公衆衛生研究所
第11回基礎及び最新の分析化学講習会	2001年9月25日～26日	名古屋市工業研究所
第12回基礎及び最新の分析化学講習会	2002年10月24日～25日	名古屋市工業研究所
第13回基礎及び最新の分析化学講習会	2003年10月23日～24日	信州大学理学部
第14回基礎及び最新の分析化学講習会	2004年11月11日～12日	金沢工業大学
第15回基礎及び最新の分析化学講習会	2005年11月10日～11日	三重北勢地域地場産業振興センター
第16回基礎及び最新の分析化学講習会	2006年10月26日～27日	名古屋市工業研究所
第17回基礎及び最新の分析化学講習会	2007年10月10日～11日	名古屋市工業研究所

別表 3　分析化学中部夏期セミナー

	開催日	会　場
第 1 回夏期セミナー	1982 年 8 月 26 日～27 日	和倉逓信保養所
第 2 回夏期セミナー	1983 年 8 月 24 日～25 日	和倉逓信保養所
第 3 回夏期セミナー	1984 年 8 月 27 日～28 日	地方公務員共済組合浜名荘
第 4 回分析化学夏期セミナー	1985 年 8 月 29 日～30 日	地方職員共済組合浜名荘
第 5 回夏期セミナー	1986 年 8 月 29 日～30 日	石川県辰口町総合福祉会館
第 6 回夏期セミナー	1987 年 8 月 28 日～29 日	文部省共済組合あづみ荘
第 7 回夏期セミナー	1988 年 8 月 29 日～30 日	サンピア敦賀
第 8 回夏期セミナー	1989 年 8 月 25 日～26 日	サンピア岐阜
第 9 回夏期セミナー	1990 年 8 月 30 日～31 日	立山国際ホテル
第 10 回夏期セミナー	1991 年 8 月 19 日～20 日	浜名荘
第 11 回夏期セミナー	1992 年 8 月 28 日～29 日	つどいの丘：全トヨタ労連研修センター
第 12 回夏期セミナー	1993 年 8 月 27 日～28 日	ほくりく荘
第 13 回夏期セミナー	1994 年 8 月 27 日～28 日	山王閣
第 14 回夏期セミナー	1995 年 8 月 25 日～26 日	恵那峡グランドホテル
第 15 回夏期セミナー	1996 年 8 月 23 日～24 日	呉羽ハイツ
第 16 回夏期セミナー	1997 年 8 月 22 日～23 日	三河ハイツ
第 17 回夏期セミナー	1998 年 8 月 29 日～30 日	いこいの村愛知
第 18 回分析化学中部夏期セミナー	1999 年 8 月 28 日～29 日	三重県二見町富士見館
第 19 回分析化学中部夏期セミナー	2000 年 8 月 25 日～26 日	石川県羽咋郡志賀町いこいの村
第 20 回分析化学中部夏期セミナー	2001 年 8 月 21 日～22 日	大垣フォーラムホテル
第 21 回分析化学中部夏期セミナー	2002 年 8 月 31 日～9 月 1 日	国民年金保養センター
第 22 回分析化学中部夏期セミナー	2003 年 8 月 20 日～21 日	ポートヒル芳泉
第 23 回分析化学中部夏期セミナー	2004 年 9 月 9 日～10 日	ウェルサンピア伊勢
第 24 回分析化学中部夏期セミナー	2005 年 8 月 26 日～27 日	松本市浅間温泉文化センター
第 25 回分析化学中部夏期セミナー	2006 年 8 月 19 日～20 日	ホテル日航豊橋
第 26 回分析化学中部夏期セミナー	2007 年 9 月 8 日～9 日	インテック大山研修センター

別表4 若手研究交流会

	開催日	会 場
分析化学会若手勉強会第1回中部支部分析化学フォーラムin 北陸	1995年11月18日～19日	うみの宿「さえ」
分析化学会若手勉強会分析中部・ゆめ21企画	1995年12月5日	名古屋大学工学部
分析化学会若手勉強会第2回中部支部分析化学フォーラムin 北陸	1996年7月5日	石川ハイテク交流センター
分析化学会若手勉強会第3回中部支部分析化学フォーラムin北陸	1996年11月15日	ほくりく荘
分析化学会若手勉強会分析中部・ゆめ21企画 若手研究交流会	1996年11月30日～12月1日	愛知青少年会館
分析中部・ゆめ21企画第4回分析化学フォーラムin 北陸	1997年11月7日～8日	雨晴ハイツ
分析中部・ゆめ21企画第2回若手交流会	1997年12月20日	名古屋工業大学講堂会議場
分析中部・ゆめ21企画第5回分析化学フォーラムin 北陸	1998年10月30日～31日	鯖江青年の家
分析中部・ゆめ21「若手交流会'99」	1999年10月23日～24日	愛知県津島勤労福祉会館
「分析中部・ゆめ21」若手交流会'00	2000年10月20日～21日	(株)インテック大山研修センター
「分析中部・ゆめ21」若手交流会'01	2001年12月7日～8日	高山市民文化会館
「分析中部・ゆめ21」若手交流会第2回高山フォーラム	2002年11月15日～16日	高山市民文化会館
中部若手交流会 第3回高山フォーラム	2003年11月28日～29日	高山市民文化会館
「分析中部・ゆめ21」若手交流会第4回高山フォーラム	2004年11月26日～27日	高山市民文化会館
「分析中部・ゆめ21」若手交流会第5回高山フォーラム	2005年11月25日～26日	高山市民文化会館
「分析中部・ゆめ21」若手交流会第6回高山フォーラム	2006年11月17日～18日	高山市図書館
「分析中部・ゆめ21」若手交流会第7回高山フォーラム	2007年11月22日～23日	高山市図書館

別表5　中部分析化学奨励賞

2001年	佐藤　浩昭（名城大学農学ハイテクリサーチセンター　特別研究員） 「熱分解分析法およびパルスレーザーイオン化質量分析法による合成および天然高分子材料の新しい分析法の開発」
2002年	加藤　大（静岡県立大学　講師） 「生体分子を利用した高性能ハイスループット解析法の開発」
	金子　聡（三重大学工学部　助手） 「原子スペクトル分析法による環境試料の高感度分析法の開発」
2004年	勝又　英之（三重大学工学部） 「環境汚染物質の新規分離・分析法の開発とその環境浄化法への応用」
	松宮　弘明（名古屋大学大学院工学研究科） 「新規金属イオン認識試薬の開発と環境および材料分析への応用」
2005年	朱　彦北（名古屋大学大学院工学研究科） 「天然水中微量金属の多元素濃縮・定量キレート樹脂充填ミニカラムの開発及び応用研究」
	牧　輝弥（金沢大学大学院自然科学研究科物質科学専攻） 「希釈培養法MPNと16rDNAのRELP解析を併用した有機ヒ素分解細菌群の環境分析技術の開発」
2006年	加地　範匡（名古屋大学大学院工） 「ナノ空間を利用した新規DNA解析法の開発」
	倉光　英樹（富山大学大学院理工） 「電気化学的手法を用いた新規イムノアッセイ及びイオンチャンネル型センサーの開発」
	長谷川　拓也（名古屋大学大学院工） 「HPLC/ICP-MS複合分析システムを用いる生体試料中微量元素の化学形態別分析に関する研究」
2007年	Lim Lee Wah（岐阜大学工学部） 「キャピラリー液体クロマトグラフィーのためのマイクロフロー制御技術の開発」

別表6　　中部分析化学功績賞

2003年	河口　廣司(名古屋大学工学部)、後藤　正志(岐阜薬科大学薬学部)、野村　俊明(信州大学理学部)、 舟橋　重信(名古屋大学理学部)、三井　利幸(愛知科学捜査研究所)、山田　碩道(名古屋工業大学工学部)
2005年	板谷　芳京(金沢大学薬学部)、佐々木　与志実(福井工業高等専門学校)、野村　昇(富山大学教育学部)
2006年	中村　俊夫(信州大学理学部)
2007年	田口　茂(富山大学院理工)，㈱島津製作所名古屋支店，日本分光㈱名古屋サービスセンター

別表7　見学会

年度	日時	見学先
1970年度	1971年2月6～7日	東洋醸造㈱本社工場
1971年度	1972年1月28～29日	日本専売公社浜松工場、静岡県水産試験場
1972年度	1973年2月9～10日	三井東圧化学㈱総合研究所、㈱資生堂大船工場
1973年度	1974年2月8～9日	関西電力美浜原子力発電所
1974年度	1974年11月22～23日	茨城大学五浦美術文化研究所、呉羽化学工業㈱錦工場
1975年度	1976年2月6～7日	㈱養命酒駒ヶ根工場、㈱タケヤ味噌上諏訪工場
1976年度	1977年2月4～5日	武田薬品工業㈱湘南工場
1977年度	1978年2月3～4日	中部電力浜岡原子力発電所
1978年度	1978年12月8～9日	筑波研究学園都市、協和醗酵工業㈱土浦工場
1979年度	1979年12月7～8日	エーザイ㈱川島工場・内藤記念館くすり博物館
1980年度	1980年12月5～6日	東洋醸造㈱本社工場
1981年度	1981年12月4～5日	水産庁養殖研究所
1982年度	1982年12月3～4日	浜松テレビ㈱本社及び豊岡製作所
1983年度	1983年12月2～3日	昭和電工㈱塩尻工場、東京電力奈川渡ダム
1984年度	1984年11月30～12月1日	富士写真フィルム㈱足利工場
1985年度	1985年12月6～7日	魚津埋没林、吉田工業㈱黒部工場
1986年度	1986年11月21～22日	東芝医療機器事業部那須工場
1987年度	1987年11月27～28日	日本ガイシ㈱小牧工場
1988年度	1988年11月25～26日	日本原子力研究所　那珂研究所、東海研究所
1989年度	1989年12月1～2日	万城食品、東洋醸造
1990年度	1990年11月9～10日	ネーミック・ラムダ㈱長岡工場、越後製菓㈱片貝工場
1991年度	1991年12月13～14日	トヨタ自動車・トヨタ博物館
1992年度	1992年11月5日	東京電力横浜火力発電所、キリンビール横浜工場
1993年度	1993年12月3～4日	㈱不二越、広貫堂
1994年度	1994年11月11～12日	水澤化学工業㈱中条工場、アデランス工芸㈱、㈱クラレ中条工場
1995年度	1995年12月1～2日	㈱小布施堂、新光電気工業㈱

別表 8　中部化学関係学協会連合秋季大会

	開催日	会場
第 1 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	1969 年 10 月 13 日～16 日	名城大学薬学部
第 2 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	1970 年 10 月 16 日～18 日	名古屋大学工学部
第 3 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	1971 年 10 月 16 日～19 日	名古屋大学工学部
第 4 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	1972 年 10 月 11 日～14 日	中京大学
第 5 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	1973 年 10 月 16 日～17 日	名古屋工業大学
第 6 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	1974 年 10 月 16 日～18 日	名古屋大学工学部
第 7 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	1975 年 10 月 20 日～23 日	名古屋大学工学部
第 8 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	1976 年 10 月 16 日～18 日	名古屋大学農学部
第 9 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	1977 年 10 月 16 日～18 日	名古屋工業大学
第 10 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	1979 年 10 月 4 日～6 日	静岡大学工学部
第 11 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	1980 年 10 月 16 日～18 日	名古屋大学工学部
第 12 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	1981 年 10 月 8 日～10 日	名古屋大学教養部
第 13 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	1982 年 10 月 7 日～9 日	三重大学教育学部
第 14 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	1983 年 10 月 16 日～18 日	名古屋工業大学
第 15 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	1984 年 10 月 4 日～6 日	岐阜大学
第 16 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	1985 年 11 月 27 日～29 日	豊橋技術科学大学
第 18 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	1987 年 10 月 1 日～3 日	信州大学工学部
第 19 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	1988 年 10 月 16 日～18 日	名古屋大学工学部
第 20 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	1989 年 10 月 3 日～5 日	静岡大学大谷キャンパス
第 21 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	1990 年 10 月 11 日～13 日	名古屋大学教養部
第 22 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	1991 年 10 月 2 日～4 日	三重大学
第 23 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	1992 年 10 月 5 日～7 日	愛知工業大学
第 24 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	1993 年 10 月 4 日～6 日	岐阜大学工学部
第 26 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	1995 年 9 月 25 日～27 日	信州大学松本キャンパス
第 27 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	1996 年 10 月 1 日～3 日	名古屋工業大学
第 28 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	1997 年 10 月 4 日～5 日	静岡大学浜松キャンパス
第 29 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	1998 年 10 月 3 日～4 日	豊橋技術科学大学
第 30 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	1999 年 10 月 2 日～3 日	三重大学工学部
第 31 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	2000 年 9 月 29 日～30 日	愛知工業大学
第 32 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	2001 年 10 月 5 日～6 日	岐阜大学柳戸キャンパス

第 33 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	2002 年 10 月 5 日～6 日	名古屋工業大学
第 34 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	2003 年 9 月 9 日～10 日	信州大学繊維学部
第 35 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	2004 年 9 月 17 日～18 日	名古屋大学
第 36 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	2005 年 9 月 23 日～24 日	静岡県ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝｱｰﾂｾﾝﾀｰ
第 37 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	2006 年 11 月 12 日～13 日	愛知工業大学
第 38 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	2007 年 11 月 10 日～11 日	三重大学工学部

別表9 歴代支部長

1958年度	（昭 33）	菅原 健	1991年度	（平 3）	和田 弘子
1959年度	（昭 34）	内藤 多喜夫	1992年度	（平 4）	柘植 新
1960年度	（昭 35）	道野 鶴松	1993年度	（平 5）	野村 昇
1961年度	（昭 36）	山崎 一雄	1994年度	（平 6）	石塚 紀夫
1962年度	（昭 37）	武内 次夫	1995年度	（平 7）	森 定雄
1963年度	（昭 38）	木羽 敏泰	1996年度	（平 8）	野村 俊明
1964年度	（昭 39）	木下 弥兵衛	1997年度	（平 9）	三輪 智夫
1965年度	（昭 40）	小玉 数信	1998年度	（平 10）	原口 紘烋
1966年度	（昭 41）	森田 清	1999年度	（平 11）	舟橋 重信
1967年度	（昭 42）	武内 次夫	2000年度	（平 12）	酒井 忠雄
1968年度	（昭 43）	小田 仲彬	2001年度	（平 13）	山田 碩道
1969年度	（昭 44）	田中 元治	2002年度	（平 14）	山田 眞吉
1970年度	（昭 45）	桜場 周吉	2003年度	（平 15）	平出 正孝
1971年度	（昭 46）	水池 敦	2004年度	（平 16）	田口 茂
1972年度	（昭 47）	石井 大道	2005年度	（平 17）	中村 俊夫
1973年度	（昭 48）	上田 俊三	2006年度	（平 18）	太田 清久
1974年度	（昭 49）	入谷 信彦	2007年度	（平 19）	竹内 豊英
1975年度	（昭 50）	喜谷 喜徳	2008年度	（平 20）	湯地 昭夫
1976年度	（昭 51）	山寺 秀雄			
1977年度	（昭 52）	神原 富尚			
1978年度	（昭 53）	宮崎 元一			
1979年度	（昭 54）	鈴木 正巳			
1980年度	（昭 55）	柴田 正三			
1981年度	（昭 56）	中川 元吉			
1982年度	（昭 57）	寺田 喜久雄			
1983年度	（昭 58）	飯田 忠三			
1984年度	（昭 59）	村田 旭			
1985年度	（昭 60）	佐々木 慎一			
1986年度	（昭 61）	山本 善一			
1987年度	（昭 62）	伊豆津 公佑			
1988年度	（昭 63）	後藤 克己			
1989年度	（平 1）	河口 広司			
1990年度	（平 2）	根津 弘幸			

別表10 中部支部所属会員数の推移

年度	会員区分						
	名誉	永年	正	学生	維持	特別	公益
1958 (昭 33)			514		14		
1959 (昭 34)			533		14		
1960 (昭 35)			550		16		
1961 (昭 36)			549		18		
1962 (昭 37)			588		19		
1963 (昭 38)			588		19		
1964 (昭 39)			570		21		
1965 (昭 40)			562		23		
1966 (昭 41)			532		22		
1967 (昭 42)			563		14.5	26	17
1968 (昭 43)			563		19.5	38	24
1969 (昭 44)	1		574		23	49	33
1970 (昭 45)	1		595		24	59	37
1971 (昭 46)	1		608		24.5	72	40
1972 (昭 47)	1		629		24.5	83	39
1973 (昭 48)	1		639		23	86	44
1974 (昭 49)	1		667		26	93	51
1975 (昭 50)	1		713		25.5	94	54
1976 (昭 51)	2		717		26.5	98	57
1977 (昭 52)	1		741		26.5	102	64
1978 (昭 53)	1		750		25	110	65
1979 (昭 54)	1		753		25	110	65
1980 (昭 55)	1		756		24	116	69
1981 (昭 56)	1		767		23	121	70
1982 (昭 57)	3		772		23.5	127	72
1983 (昭 58)	3		755		23.5	129	76
1984 (昭 59)	3	1	731	25	22	127	77
1985 (昭 60)	3	1	735	40	20	123	75
1986 (昭 61)	3	1	748	42	21.5	123	75
1987 (昭 62)	4	2	759	52	21.5	122	77
1988 (昭 63)	5	2	734	47	21.5	125	80
1989 (平 1)	5	2	734	51	23	124	80
1990 (平 2)	5	2	736	48	24	124	83
1991 (平 3)	6	2	760	74	26.5	123	81
1992 (平 4)	6	4	767	59	26.5	125	85
1993 (平 5)	6	7	768	108	26.5	123	87
1994 (平 6)	6	10	762	70	26.5	123	85
1995 (平 7)	6	11	761	74	25.5	116	81
1996 (平 8)	6	12	771	86	25.5	113	84
1997 (平 9)	7	18	747	108	25	112	86
1998 (平 10)	7	21	748	105	25	111	86
1999 (平 11)	—	—	747	140	25.5	105	78
2000 (平 12)	8	25	735	113	24	103	80
2001 (平 13)	8	29	769	126	22.5	107	81
2002 (平 14)	9	27	723	104	21	108	72
2003 (平 15)	8	29	716	99	20	109	70
2004 (平 16)	8	33	737	104	20	114	73
2005 (平 17)	8	34	659	112	21	114	76
2006 (平 18)	8	33	644	98	21	120	66
2007 (平 19)	9	33	653	104	20	123	62
全国(2007)	60	259	5,418	767	251.5	694	494

別表11　中部支部　維持会員・特別会員会員一覧

維持会員（20社）

	会員名	郵便番号	住所 電話番号
1	旭化成㈱ 井部　定雄	416-8501	静岡県富士市鮫島2-1 0545-62-3150
2	日本特殊陶業㈱ 高見　昭雄	467-8525	名古屋市瑞穂区高辻町14-18 052-872-5915
3	愛知製鋼㈱ 柴田　雄次	476-8666	東海市荒尾町ワノ割1 052-604-1111
4	トヨタ自動車㈱ 江崎　研司	471-8572	豊田市トヨタ町1 0565-28-2121
5	大同特殊鋼㈱ 髙山　剛	460-0003	名古屋市中区錦1-11-18　興銀ビル 052-201-5111
6	日本重化学工業㈱ 高畠　正和	933-8505	高岡市吉久1-1-1 0766-23-5613
7	中外製薬㈱ 加賀谷　高	412-8513	静岡県御殿場市駒門1-135 0550-87-3061
8	キッセイ薬品工業㈱ 神澤　陸雄	399-8710	松本市芳野19-48 0263-25-9081
9	東ソー㈱四日市事業所 目野　信博	510-8540	四日市市霞1-8 0593-64-1111
10	マルヤス工業㈱ 山田　隆雄	444-0908	岡崎市橋目町北山1 0564-31-2121
11	浜松ホトニクス㈱ 畫馬　輝夫	435-8558	浜松市市野町1126-1 053-434-3311
12	東亜合成㈱名古屋研究機構 中島　建夫	455-0027	名古屋市港区船見町1-1 052-611-9900
13	日機装㈱ 圓尾　樹生	421-0496	静岡県牧之原市静谷498-1 0548-22-5889
14	住友軽金属工業㈱研究開発センター 安藤　誠	455-8670	名古屋市港区千年3-1-12 052-651-2100
15	㈱伊藤製作所 伊藤　慶夫	417-0801	静岡県富士市大渕3516-2 0545-36-0330
16	㈱東海テクノリサーチ 山崎　一正	476-8686	東海市東海町5-3 052-603-7636
17	㈱環境公害センター 山田　光彦	461-0025	名古屋市東区徳川2-24-3 052-932-1171
18	環境総合研究機構㈱ 大石　一成	431-2102	浜松市都田町9165-2 053-428-9100
19	㈱東海分析化学研究所 大場　和子	441-0316	愛知県宝飯郡御津町大字赤根字下川50 0533-75-2250
20	㈱大同分析リサーチ 北浦　正弘	457-8545	名古屋市南区大同町2-30 052-611-9434

特別会員（124社）

	会員名	郵便番号	住所 電話番号
1	㈱ノリタケカンパニーリミテド	470-0293	愛知県三好町三好東山300 05613-4-5111
2	㈱富士電化環境センター	431-0495	湖西市鷲津2281　FDK㈱湖西工場内 053-576-0841
3	東邦ガス㈱	476-8501	東海市新宝町507-2 052-603-5311
4	日華化学㈱	910-8670	福井市文京4-23-1 0776-24-0213
5	日本油脂㈱衣浦工場	470-2345	愛知県武豊町西門82 0569-72-1229
6	日本軽金属㈱清水工場	424-0901	静岡市清水区三保4025-1 0543-34-2213
7	三井・デュポンフロロケミカル㈱清水工場	424-8631	静岡市清水三保3600 0543-34-2233
8	インコ東京ニツケル㈱松阪工場	515-0802	松阪市猟師町345-32 0598-51-1771
9	日本軽金属㈱グループ技術センター	421-3203	静岡県蒲原町蒲原1-34-1 0543-85-5195
10	日信化学工業㈱	915-0802	武生市北府2-17-33 0778-22-5100
11	中部電力㈱	459-8522	名古屋市緑区大高町北関山20-1 052-621-6101
12	ファイザー㈱中央研究所	470-2393	愛知県知多郡武豊町字5号地2番地 0569-72-2111
13	ポリプラスチックス㈱	416-8533	富士市宮島973 0545-64-7315
14	㈱トウペ	519-1402	三重県阿山郡伊賀町大字柘植町2700 0595-45-4131
15	㈱三井化学分析センター	457-8522	名古屋市南区丹後通2-1 052-614-2130
16	クミアイ化学工業㈱	424-0053	静岡県静岡市清水区渋川100 0543-45-3163
17	富士フイルム㈱富士宮研究所	418-8666	静岡県富士宮市大中里200 0544-26-7610
18	特種製紙㈱総合技術研究所	411-0945	静岡県長泉町本宿501 0559-88-1141
19	㈱大紀アルミニウム工業所	519-0211	三重県亀山市川崎町字山新田1483-1 0595-85-2709
20	協友アグリ㈱	381-0006	長野市富竹173-2 026-296-2097
21	協和発酵工業㈱医薬総合研究所	411-8731	静岡県長泉町下土狩1188 0559-86-7600
22	㈱巴川製紙所技術研究所	421-0192	静岡市用宗巴町3-1 054-257-3132
23	信越化学工業㈱	915-8515	武生市北府2-1-5 0778-24-3141
24	㈱東海理化	480-0195	愛知県丹波郡大口町豊田3-260 0587-95-5219

25	日産化学工業㈱富山工場	939-2753 富山県婦負郡婦中町笹倉635 0764-33-9619
26	セイコーエプソン㈱	399-0785 長野県塩尻市広丘原新田80 0266-52-3131
27	興和㈱名古屋工場	462-0024 名古屋市北区鳩岡2-18-57 052-981-8429
28	セントラル硝子㈱松阪工場	515-0001 松阪市大口町1521-2 0598-53-3143
29	日本軽金属㈱蒲原製造所	421-3203 静岡県蒲原町蒲原161 0543-88-3119
30	㈱INAX	479-8588 常滑市港町3-77 0569-43-6112
31	金剛化学㈱	930-0912 富山市日俣3 0764-23-3131
32	辰巳化学㈱	921-8164 金沢市久安3-406 076-247-2132
33	石原産業㈱	510-0842 四日市市石原町1 0593-45-6132
34	(財)東海技術センター	465-0021 名古屋市名東区猪子石2-710 052-771-5161
35	昭和四日市石油㈱四日市製油所	510-0851 四日市市塩浜町1 0593-47-5522
36	燐化学工業㈱新湊工場	934-8534 新湊市新堀34 0766-86-2511
37	㈱資生堂掛川工場	436-0047 掛川市長谷1-120 0537-24-1137
38	(財)三重県環境保全事業団	510-0304 三重県津市河芸町上野3258 059-245-7508
39	ダイヤモンドエンジニアリング㈱	937-0068 魚津市本新751 0765-24-3521
40	㈱日本点眼薬研究所	457-0039 名古屋市南区西桜町76 052-822-5809
41	旭テクノグラス㈱解析センター	421-0302 静岡県榛原郡吉田町川尻3583-5 0548-32-1212
42	コスモ石油㈱四日市製油所	510-0022 三重県四日市市大協町1-1 0593-54-8716
43	リケンテクノス㈱三重工場	519-0132 亀山市菅内町522 05958-2-4211
44	富士化学工業㈱	930-0397 富山県上市町横法音寺55 0764-72-2323
45	㈱名古屋環境分析センター	462-0017 名古屋市北区落合町267 052-901-2411
46	東亜環境サービス㈱	457-0049 名古屋市南区北内町1-22 052-822-9654
47	㈱ADEKA三重工場	511-0251 三重県東員町山田 0594-76-2330
48	三菱瓦斯化学㈱四日市工場	510-0886 四日市市日永東2-4-16 0593-45-1421
49	㈱アラクス清洲工場	492-8176 稲沢市日下部花ノ木町1 0587-32-4181
50	日本ガイシ㈱	467-8530 名古屋市瑞穂区須田町2-56 052-872-7740

51	大日本製薬㈱鈴鹿工場	513-0818 鈴鹿市安塚町1450 0593-82-8959
52	科研製薬㈱静岡工場	426-8646 藤枝市源助301 054-635-2290
53	㈱ケイ・アイ研究所	437-1213 静岡県磐田市塩新田408-1 0538-58-0141
54	神岡鉱業㈱	506-1196 岐阜県神岡町鹿間1-1 0578-2-2216
55	アスゲン製薬㈱	461-8531 名古屋市東区泉2-28-8 052-931-1212
56	共立マテリアル㈱	455-8668 名古屋市港区築三町2-41 052-661-3186
57	㈱ダイヤ分析センター	510-0375 四日市市大治田3-3-17 0593-46-7511
58	ニチバン㈱中央研究所	446-0075 安城市二本木新町3-1-10 0566-76-1631
59	富山化学工業㈱綜合研究所	930-8508 富山市下奥井2-4-1 0764-31-8259
60	イビデンエンジニアリング㈱	503-0973 大垣市木戸町1122 0584-75-3238
61	興和㈱富士研究所	417-8650 富士市大野新田332-1 0545-33-1716
62	ホーユー㈱研究所	480-1131 愛知県長久手町長湫字櫨木1-12 0561-62-0511
63	アイシン精機㈱	448-8650 刈谷市朝日町2-1 0566-24-8471
64	㈱北陸環境科学研究所	910-0026 福井市光陽4-4-27 0776-22-2771
65	ブリストル・マイヤーズ㈱	444-0104 愛知県額田郡幸田町大字坂崎字双子山1 0564-62-6964
66	ミネベア㈱	437-1193 静岡県袋井市浅名1743-1 0538-23-7001
67	太平洋ランダム㈱岩瀬工場	931-8555 富山市岩瀬赤田町1 0764-38-5020
68	味の素㈱東海工場	510-0885 四日市市日永1730 0593-46-0111
69	キヤノン㈱材料プロセス開発センター	410-1196 裾野市深良4202 0559-65-2111
70	㈱ダイヤ分析センター	510-0848 四日市市東邦町1 0593-45-7031
71	ジボダンジャパン㈱袋井工場	437-0061 袋井市久能3056 0538-44-1301
72	㈱デンソー	448-8661 刈谷市昭和町1-1 0566-25-7760
73	コーニングジャパン㈱コーニング研究所	437-1397 静岡県大須賀町大渕12117 0537-48-5743
74	新光電気工業㈱	381-0014 長野市北尾張部36 026-263-4577
75	(財)北陸保健衛生研究所	920-1154 金沢市太陽が丘3-1-2 076-224-2122
76	住友電装㈱鈴鹿研究所	513-8631 鈴鹿市三日市町字中の池1820 0593-82-8709

77	㈱テクノ中部技研センター	459-8001 名古屋市緑区大高町蝮池7 052-622-3121
78	㈱ジャパンエナジー知多製油所	478-8504 愛知県知多市北浜町25 0562-32-6244
79	㈱金沢村田製作所	920-2101 石川県石川郡鶴来町曽谷町チ18 07619-3-1151
80	大阪特殊合金㈱勝山工場	911-0831 勝山市遅羽町千代田3412 0779-87-0201
81	㈱フジミインコーポレーテッド	509-0108 各務原市順衛町4-179-39 0583-79-3170
82	㈱テクノ中部環境技術本部	455-8512 名古屋市港区大江町3-12 052-614-7162
83	㈱科学技術開発センター	381-0025 長野市大字北長池字南長池境2058-3 026-263-2010
84	㈱環境技術センター	399-0033 松本市大字笹賀5652-166 0263-27-1606
85	セイコーエプソン㈱	399-0293 長野県諏訪郡富士見町富士見281 0266-52-3131
86	㈱アイテックリサーチ	485-0828 小牧市大字小松寺字上仲田634-1 0568-41-6226
87	トピー工業㈱豊橋製造所	441-8510 豊橋市明海町1 0532-25-1111
88	カナモリ技販㈱	933-0946 高岡市昭和町1-4-1 0766-25-0188
89	㈱ダイセキ環境ソリューション	455-0027 名古屋市港区船見町1-86 ﾀﾞｲｾｷ環境技術ｾﾝﾀｰ内 052-611-6350
90	㈱大和環境分析センター	923-1253 石川県能美郡川北町三反田273 076-277-3155
91	㈱イズミテック	441-8156 豊橋市高師町北新切267-5 0532-46-8521
92	(社)静岡県産業環境センター	431-2103 浜松市新都田1-4-6 053-428-3430
93	豊田合成㈱技術本部	492-8540 稲沢市北島町西の町30 0587-34-3343
94	㈱環境科学研究所	462-0006 愛知県名古屋市北区若鶴町152 052-902-4456
95	新日鐵化学㈱トライボセンター	476-0015 東海市東海町5-3 新日鐵㈱名古屋製鐵所構内 052-601-3966
96	㈱エイ・ダブリュ・サービス	444-1206 安城市城ケ入町城畠174-1 0566-92-6419
97	住鉱潤滑剤㈱	511-0207 三重県いなべ市員弁町上笠田 0594-74-4340
98	㈱サン・ビック	475-0033 半田市日東町1-7 0569-32-5551
99	立華工業㈱	416-0906 富士市本市場422-1 0545-61-8402
100	東邦化工建設㈱	411-8720 静岡県駿東郡長泉町上土狩234 055-986-9595
101	小野薬品工業㈱	913-8538 福井県坂井郡三国町山岸 テクノポート1-5-2 0776-82-6161
102	㈱テクノスルガ	424-0065 静岡県静岡市清水区長崎330 0543-44-2301

103 ㈱東海テクノ	510-0023	四日市市午起2-4-18 0593-32-5122
104 (財)石川県予防医学協会	920-0365	金沢市神野町東115 076-269-2344
105 YKK㈱黒部事業所	938-0005	黒部市吉田200 0765-54-8400
106 建設ゴム㈱	489-0873	瀬戸市新郷町11-14 （テクニカルセンター） 0561-85-8631
107 リコー㈱沼津事業所	410-0007	沼津市西沢田146-1 055-920-1015
108 ミカゲ金属工業㈱	514-2302	三重県安芸郡安濃町安濃2222-2 059-268-2206
109 ㈱富士通ファシリティーズ・エンジニアリング	511-0192	三重県桑名市多度町御衣野1500 0594-24-1555
110 環境未来㈱	390-0814	長野県松本市本庄1-1-13 0263-37-1977
111 ㈱ユニケミー	456-0034	愛知県名古屋市熱田区伝馬1-11-1 052-682-5069
112 ヤマハ㈱	430-8650	静岡県浜松市中沢町10-1 053-460-2701
113 日本板硝子テクノリサーチ㈱	664-8520	兵庫県伊丹市鴻池字街道下1 072-781-7251
114 日本金属工業㈱	447-8610	愛知県碧南市浜町1 0566-48-7365
115 ダンフーズ㈱	470-0364	愛知県豊田市加納町下向い田32 0565-45-3744
116 コニカミノルタビジネステクノロジーズ㈱	442-8558	愛知県豊川市金屋西町1丁目8 0533-89-6008
117 セントラル硝子㈱	515-0001	三重県松阪市大口町1510 0598-53-3039
118 ㈱ニッセイ	444-1297	愛知県安城市和泉町井ノ上1-1 0566-92-1151
119 味の素㈱医薬研究所	424-0911	静岡県静岡市清水区宮加三649-1 0543-35-9952
120 藤吉工業㈱	464-0821	愛知県名古屋市千種区末盛通2-13-2 052-763-2548
121 三菱化学㈱	510-8530	三重県四日市市東邦町1 059-345-7099
122 協和メディックス㈱	411-0932	静岡県駿東郡長泉町南一色600-1 055-988-6018
123 アイカ工業㈱第2R＆Dセンター	490-1112	愛知県海部郡甚目寺町上萱津深見24 052-443-4371
124 ミヤマ㈱	381-2247	長野県長野市青木島3-2-1 026-284-5114

1958年度 (昭33)	(支部長) 菅原　健 (副支部長) 大橋九万雄、木羽敏泰、武内次夫 (幹事) 青木　稔、浅田幸作、伊東保二、飯沼弘司、入谷信彦、上田俊三、大井信一、大野武雄、大橋　茂、金井千春、北野　康、木下弥兵衛、小玉数信、小玉洪平、小林治男、斉藤　謙、坂本重一、桜井武平、塩川孝信、芝崎陸奥夫、下方鉱蔵、曽根興三、田中元治、田辺伊佐男、田村悌一、高井康雄、徳岡松雄、鳥飼兵衛、中川元吉、松前鼎一、松本和夫、村瀬武雄、八木国夫、山本健磨 10月27日　中部支部発会式 (中区役所ホール)、参加者200名 10月27～29日　**分析化学会第7年会** (中区役所、医師会館、実行委員長　菅原　健) 研究発表：139件 特別講演：The Use of Pyrolytic and Pyrohydrolytic Cleavage in Organic Spot Test (F. Feigl) 見学会：(A) 日本陶器㈱、市内見学 (B) 東亜合成㈱、名古屋港
1959年度 (昭34)	〔北陸部会設置〕 (支部長) 内藤多喜夫 (副支部長) 大橋九万雄、木羽敏泰、武内次夫 (幹事) 青木　稔、浅田幸作、伊東保二、飯沼弘司、入谷信彦、上田俊三、大井信一、大野武男、大橋　茂、垣花秀武、金井千春、北野　康、木下弥兵衛、小玉数信、小玉洪平、小林治男、斉藤　謙、坂本重一、桜井武平、塩川孝信、芝崎陸奥夫、下方鉱蔵、曽根興三、田中元治、田辺伊佐男、田村悌一、高井康雄、徳岡松雄、鳥飼兵衛、中川元吉、松前鼎一、松本和夫、村瀬武男、八木国夫、山本健磨 6月10日　講演会 (名古屋市工業研究所) 講演：3件 6月25～27日　第1回講習会 (富山大学工学部、富山県工業試験場) 講義：光電光度法の概要 (大井信一) キレート滴定法 (上野景平) ガスクロマトグラフィー概論 (武内次夫) 実習：光電光度法、キレート滴定、ガスクロマトグラフィー 11月5日　東海地区講演会 (名古屋工業技術試験所) 講演：キレート化合物の研究 (曽根興三) 分光光度計による発光分析 (佐藤　繁) 11月26日　講演会 (名古屋工業技術試験所) 講演：2件

	1月28日　講演会（三晃社ホール） 講演：汚水処理の法規並びにその実態について（久留義夫） 最近の汚水問題（菅原　健）
1960年度 (昭35)	（支部長）道野鶴松（副支部長）小田仲彬、木下弥兵衛、武内次夫 （常任幹事）飯沼弘司、入谷信彦、大井信一、小沢昭弥、小玉数信、斉藤　謙、田中元治、中川元吉、松前鼎一 4月20日　講演会（中区役所） 講演：最近の有機試薬について（山本勇麓） 最近の電気分析法について（藤永太一郎） 最近の鉄鋼微量元素の分析について（吉野義則） 8月11日　講演会（名古屋市工業研究所） 講演：2件 8月25～27日　第2回講習会（名古屋大学工学部） 講義：ガスクロマトグラフ法概論（武内次夫） 溶出成分のスペクトル測定（高山雄二） 赤外スペクトル概論（木村雅男） 吸収曲線の解説（平田義正） 実習：ガスクロマトグラフ法、赤外スペクトル 9月17日　講演会（金沢大学理学部） 講演：分光分析装置の最近の進歩（橘　芳実） 化学及び金属工業に対する発光分光分析の応用（小田仲彬） 古文化財研究に対する発光分光分析の応用（山崎一雄） 1月18～19日　クロマトグラフ討論会（名古屋工業大学） 1月20～21日　第1回分析化学レクチャー（名古屋工業大学） 講義：ガスクロマトグラフィーの理論（益子洋一郎） ポーラログラフィー（館　　勇） 放射化学分析（本島健次） 有機元素分析（今枝一男） 発光分光分析（浜口隆信） 分析化学雑感（菅原　健） 2月20日　講演会（愛知県文化会館） 講演：機器分析の現状について（武内次夫） 工業X線分析法について（久保輝一郎） 映画：機器分析

1961年度 **(昭36)**	〔分析化学会創立10周年〕 (支部長) 山崎一雄 (副支部長) 小田仲彬、木下弥兵衛 (常任幹事) 飯田忠三、飯沼弘司、今枝一男、入谷信彦、大井信一、太田一男、小沢昭弥、小玉数信、斉藤　謙、坂本重一、杉山良隆、田中元治、中川元吉、松平　順、松前鼎一、村田　旭 8月25～26日　第3回講習会 (名古屋市立大学薬学部) 講義：キレート化合物概説 (山崎一雄、田中元治) キレート滴定概説 (武内次夫) 薬品分析におけるキレート滴定 (木下弥兵衛) 金属分析におけるキレート滴定 (太田一男) 実習：キレート滴定 10月 6 ～ 7 日　浜松地方大会 (静岡大学工学部) 講演15件、特別講演 3 件 11月18日　10周年記念講演会 (荒川長太郎合名会社) 講演：電子スピン共鳴の分析への応用 (栗田雄喜生) 映画：ファイグルの点滴反応、自然の忘れた世界、未来の家 11月29日　10周年記念講演会 (富山県工業試験場) 講演：分配による分離 (木羽敏泰) 放射能を利用する化学分析 (浜口　博)
1962年度 **(昭37)**	(支部長) 武内次夫 (副支部長) 上田俊三、小山忠四郎 (常任幹事) 飯沼弘司、今枝一男、入谷信彦、太田一男、熊田恭一、小玉数信、斉藤　謙、杉山良隆、田中元治、寺田喜久雄、中川元吉、村田　旭、森田　清、山本善一 8月28～30日　第4回講習会 (名古屋工業技術試験所) 講義：炎光光度法 (蟹江照行) 原子吸光分析法 (鈴木正巳) 吸光光度法 (柴田正三) ポーラログラフ法 (砂原広志) ガスクロマトグラフ法 (武内次夫) 実習：上記 5 コース 10月 4 ～ 6 日　第6回放射化学討論会 (金沢大学) 11月 6 ～ 9 日　研究発表会 (名古屋市工業研究所) 研究発表、特別講演合わせて35件
1963年度 **(昭38)**	(支部長) 木羽敏泰 (副支部長) 太田一男、森田　清 (常任幹事) 今枝一男、入谷信彦、大沢真澄、斉藤　謙、杉山良隆、田中元治、寺田喜久雄、中川元吉、村田　旭、山本善一 8月25～28日　第5回講習会

	（名古屋工業大学、名古屋工業技術試験所、名古屋大学工学部） 講義：溶媒抽出及びキレート滴定（中川元吉、田中元治） 発光分光分析（山崎一雄、森田　清） X線分析（武内次夫） 放射化分析（浜口　博） 実習：溶媒抽出及びキレート滴定、発光分光分析、蛍光X線分析 10月8～11日　第12年会（金沢大学、実行委員長　石橋雅義） 研究発表：219件、特別講演：3件、参加者：478名、第1回学会賞授賞式、 見学会：高岡－富山－魚津、能登半島、金沢市内の3班 11月5～7日　第10回ポーラログラフ討論会（日本生命ビル） 2月17～19日　NMR講習会（名古屋大学工学部） 講義：4件
1964年度 (昭39)	（支部長）木下弥兵衛（副支部長）入谷信彦、小玉数信、阪上正信 （常任幹事）板谷芳京、今枝一男、大沢真澄、北野　康、小池　久、斉藤　謙、杉山良隆、田中元治、寺田喜久雄、中川元吉、村田　旭、山本善一、安井永三 8月27～29日　第6回講習会（名古屋市立大学薬学部） 講義：医薬品製剤の分析法（木下弥兵衛） 水分定量法概説（舟阪　渡） 実習：A. P. D. 製剤を基剤として、二、三の薬品をそれに配合した解熱鎮痛剤の分析、水分定量法 開催日不明　講演会（福井大学） 講演：元素分析の統一化とその問題点（小田仲彬） 核磁気共鳴と化学（藤原鎮男） スライド：核磁気共鳴とその応用例 11月11日　有機微量分析法中酸素直接定量法討論会（名古屋市工業研究所） 討論：7件
1965年度 (昭40)	（支部長）小玉数信（副支部長）入谷信彦、大井信一、田中元治 （常任幹事）足立敏夫、井口正信、石井大道、板谷芳京、今枝一男、岩永忠勝、太田一男、蟹江照行、北野　康、小山忠四郎、阪上正信、杉山良隆、鈴木　孝、高林　昇、寺田喜久雄、中川元吉、野村　昇、開　三郎、村田　旭、森田　清、安井永三、吉森孝良 5月13～15日　元素分析講習会（富山県工業試験場） 講義：微量てんびん取扱法および炭水素、窒素、酸素の定量 実習：普通型及び迅速型機器使用 5月16日　第29回元素分析シンポジウム（富山大学薬学部） 討論：13件、特別講演：1件 8月26～27日　第7回講習会（静岡薬科大学）

	講義：キレートを利用する分析法（入谷信彦） 放射化学分析法（神原富尚） 電気微量分析法（尾崎徳郎） 実習：放射化学分析法、電気微量分析法 10月17～18日　研究発表会（名古屋大学工学部） 研究発表：12件 12月８日　実用分析化学講演会（名古屋市工業研究所） 講演：Si、P、As の比色分析法（金森　悟） アルミニウム合金の迅速分析法（向井孝一） 一般的な分析機器の取扱い注意（石井大道）
1966年度 **(昭41)**	（支部長）森田　清（副支部長）今枝一男、角尾貞之、水池　敦 （常任幹事）足立敏夫、井口正信、石井大道、板谷芳京、岩永忠勝、入谷信彦、大井信一、太田一男、蟹江照行、北野　康、黒崎正三、小山忠四郎、阪上正信、柴田正三、砂原広志、田中元治、立松　晃、寺田喜久雄、中川元吉、野村　昇、村田　旭、安井永三、山本善一、米窪達雄 ５月15～16日　第31回元素分析シンポジウム（静岡薬科大学） 講演：16件 ８月25～27日　第８回講習会（名古屋大学工学部、名古屋工業技術試験所） 特別講義：高分子分析の最近の進歩（武内次夫） 極微量成分分析の最近の進歩（水池　敦） 大気汚染分析の最近の進歩（北川徹三） 実習：ガスクロマトグラフィー、原子吸光分析、自動滴定、分析化学エレクトロニクス入門、蛍光Ｘ線分析、高感度ポーラログラフィー、自動分析（プロセス蛍光Ｘ線分析法、プロセスボルタンメトリー、プロセス吸光光度法） 11月１～４日　研究発表会（名古屋市科学館） 研究発表：36件 １月20日　自動車排気ガス分析法講演会（名古屋ホテル） 講演：３件 ２月９日　第44回Ｘ線工業分析法研究懇談会（名古屋ホテル） 講演：３件
1967年度 **(昭42)**	**〔中部支部創立10周年〕** （支部長）武内次夫（副支部長）今枝一男、上田俊三、水池　敦 （常任幹事）足立敏夫、井口正信、石井大道、入谷信彦、岩永忠勝、太田一男、北野　康、黒崎正三、小山忠四郎、柴田正三、鈴木泰三、鈴木義仁、砂原広志、田中元治、立松　晃、角尾貞之、寺田喜久雄、中川元吉、野村　昇、村田　旭、山本善一、米窪達雄

	7月3～6日　**第28回討論会**（名古屋市科学館、実行委員長　武内次夫） 討論主題〔高分子分析、公害の分析化学、高純度物質の分析化学、一般分析〕 一般討論：78件、特別討論：3件、特別講演：2件、工場見学、エキスカーション 7月5日　**中部支部創立10周年記念講演会**（名古屋市科学館） 記念講演：素人分析化学者40年の思い出（菅原　健） 中部支部10年の回顧（内藤多喜夫） 8月24～26日　第9回講習会（金沢大学理学部、工学部） 講義：元素分析（フラスコ燃焼法）（板谷芳京） デリバトグラフィー（土屋亮吉） 旋光分散（柴田村治） 電子スピン共鳴（清水立生） 炎光光度法（上田俊三） 自動電位差滴定及び電導度滴定（木羽敏泰） ガスクロマトグラフィー（小田仲彬） 原子吸光分析（武内次夫） 実習：デリバトグラフィー及び旋光分散、自動電位差滴定及び伝導度滴定、原子吸光分析及び炎光光度法、ガスクロマトグラフィー及び電子スピン共鳴、元素分析 9月28日　訪日学者講演会（名古屋大学法学部） 講演：G. Wohllebenn 10月16～17日　第4回X線工業分析討論会（名古屋大学法学部） 10月17～20日　研究発表会（名古屋大学法学部） 研究発表：35件 12月5～6日　原子吸光分析講習会（名古屋市工業研究所） 講演：原子吸光分析の原理と有機材料への応用（武内次夫） 原子吸光分析の進歩と無機材料への応用（鈴木正巳） 実習：2件 2月6日　講演会（名古屋市科学館） 講演：スパークソース質量分析器による無機成分の分析（水谷　武） 電力会社における機器分析の現状（宮川　稔） ゲルパーミエーションクロマトグラフィーについて（木村幾生）
1968年度（昭43）	（支部長）小田仲彬（副支部長）神原富尚、神戸正雄、鈴木正巳 （常任幹事）足立敏夫、飯田忠三、石井大道、板谷芳京、太田一男、喜谷喜徳、北野　康、小山忠四郎、椎尾　一、柴田正三、鈴木義仁、砂原広志、田中元治、立松　晃、角尾貞之、中川元吉、林　滋彦、三賀森　務、水池　敦、村田　旭 5月24～26日　第35回元素分析、第3回微小質量測定合同シンポジウム

	（福井大学教育学部） 研究発表：17件、特別講演：２件、パネル討論会 ８月27～29日　第10回講習会（名古屋工業大学） 講義：液－液クロマトグラフィーによる無機イオンの分離（木羽敏泰） 原子吸光分析（飯田忠三） キレート滴定（中川元吉、田中元治） 実習：キレート滴定、原子吸光分析 10月16～18日　第５回Ｘ線工業分析討論会（名古屋大学法学部） 一般討論：14件、特別講演：６件 10月17日　研究発表会（名古屋大学法学部） 一般研究発表：22件 １月25日　講演会（静岡大学工学部） 講演：大気汚染の自動分析（武内次夫） 産業廃水の水質自動分析（砂原広志） ２月１日　第49回Ｘ線工業分析法懇談会（中部科学技術センター） 講演：２件
1969年度 (昭44)	（支部長）田中元治（副支部長）石井大道、桜場周吉、米窪達雄 （常任幹事）太田一男、板谷芳京、椎尾　一、鈴木正巳、砂原広志、角尾貞之、中川元吉、林　滋彦、村田　旭 ８月25～27日　第11回講習会（名古屋大学工学部） 特別講義：ラボラトリーオートメーションの現状と将来（石田順一） 分析用有機試薬に関する最近の話題（上野景平） 実習：ガスクロマトグラフィー、原子吸光分析、高感度ポーラログラフィー及びストリッピング法、Ｘ線分析、放射線利用分析、高分子分析、トレースアナリシスにおける分離濃縮、産業廃水の機器分析 10月13～16日　第１回中部化学関連学協会支部連合秋季大会（名城大学薬学部） 一般研究発表（分析関係）：38件、特別講演：５件 10月13～14日　第６回Ｘ線工業分析討論会（名古屋大学工学部） 研究発表：21件、特別討論：４件 11月16日　第13回放射化学討論会（名古屋工業大学） 11月８日　講演会（福井大学教育学部） 講演：機器による高分子分析（武内次夫） 溶媒抽出法による金属の定量（田中元治） 12月８日　講演会（名古屋市工業研究所） ２月３日　第55回Ｘ線工業分析法研究懇談会（中部電力総合技術研究所） 講演：２件

1970年度 (昭45)	(支部長) 桜場周吉 (副支部長) 石井大道、柴田村治、水池　敦 (常任幹事) 井口正信、飯田忠三、大滝仁志、太田一男、河口広司、椎尾　一、柴田正三、立松　晃、寺田喜久雄、林　滋彦、三賀森　務、村田　旭 8月25～27日　第12回講習会 (名城大学薬学部、名古屋大学工学部) 特別講義：錯体化学の医薬品への応用 (坂口武一) 産業廃水の連続機器分析 (砂原広志) 実習：ガスクロマトグラフィー、原子吸光分析、X線分析、赤外分光分析、蛍光光度分析、発光分光分析、液体クロマトグラフィー、核磁気共鳴スペクトル、GC－MS、産業廃水分析 10月13～16日　**第19年会** (名城大学薬学部、実行委員長　桜場周吉) 研究発表：286件、参加者：1057名 見学会：浜名湖方面、鈴鹿方面 10月13～14日　第7回X線工業分析討論会 (名城大学薬学部) 研究発表：20件、特別討論：5件 10月16～18日　第2回中化連秋季大会 (名古屋大学工学部) 一般研究発表 (分析関係)：7件、特別講演：4件 10月17日　公害に関する講演会 (金沢大学教養部) 講演：わが国の大気汚染と水質汚濁 (佐谷戸安好) カドミウムの生体に対する影響について (久保田憲太郎) 2月6日　高分子分析講演会 (中部科学技術センター) 講演：核磁気共鳴による高分子分析 (藤原鎮男) クロマトグラフによる高分子分析 (武内次夫) 2月6～7日　工場見学会：東洋醸造㈱本社工場
1971年度 (昭46)	(支部長) 水池　敦 (副支部長) 石井大道、椎尾　一、三賀森　務 (常任幹事) 井口正信、飯田忠三、河口広司、神戸正雄、喜谷喜徳、柴田正三、柴田村治、寺田喜久雄、中井信之、西井義隆、藤島　巌、村田　旭 7月3日　講演会 (信州大学理学部) 講演：迅速電解法の進歩 (藤永太一郎) 産業廃水の水質自動分析法 (砂原広志) イオン交換体の分析化学的利用 (森　芳弘) 8月25～27日　第13回講習会 (名古屋工業技術試験所) 特別講義：大気汚染の機器分析 (荒木　峻) 最近の原子スペクトル分析 (武内次夫) 実習：原子吸光分析、ガスクロマトグラフ分析、産業廃水の水質機器分析、二波長分光測定分析、高周波プラズマスペクトル分析 9月11日　講演会 (富山県民会館) 講演：機器分析の最近の動向について (藤原鎮男)

	原子吸光分析について－公害分析への応用（酒井　馨） 公害分析所感（木羽敏泰） 10月16～19日　第3回中化連秋季大会（名古屋大学工学部） 一般研究発表（分析関係）：8件、特別講演：3件 11月13日　講演会（福井大学工学部） 講演：陸水水質の現状と展望（北野　康） 海洋水質の現状と展望（岡部史郎） 産業廃水処理法（市川邦久） 11月26日　産業廃水の機器分析に関する講習会（静岡県工業試験場） 1月28～29日　工場見学会：日本専売公社浜松工場、静岡県水産試験場
1972年度 (昭47)	（支部長）石井大道（副支部長）上田俊三、椎尾　一、村田　旭 （常任幹事）小友　允、鎌田栄二郎、神戸正雄、喜谷喜徳、小辻奎也、鈴木義仁、中井信之、根津弘幸、林　滋彦、藤島　巌、三賀森　務、山本善一 4月8日　訪日学者講演会（名古屋大学工学部） 4月9日　〃　（静岡大学工学部） 4月12日　〃　（金沢大学理学部） 講演：Chemical Analysis of Environmental Samples and Rapid Method for Radioactive Monitoring in the Federal Republic of Germany （B. Sansoni） 4月21日　訪日学者講演会（名古屋大学理学部） 講演：Ion Selective Electrode（H. Freiser） 5月17日　公害防止管理測定技術講習会（名古屋市工業研究所） 講義：大気汚染における測定技術（椎尾　一） 大気汚染における機器分析（鈴木義仁） 水質汚濁における機器分析（石井大道） 水質汚濁の現場的簡易分析（蟹江照行） 8月23～25日　第14回講習会（名古屋市立大学薬学部） 特別講義：環境試料の分析化学（木羽敏泰） 機器による臨床化学分析（藤井達三） 実習：ガスクロマトグラフィー（環境試料、生体試料）、原子吸光分析、吸光光度法 8月29日　電気化学基礎講習会－電気化学測定法入門（東別院青少年会館） 講義：7件 10月11～14日　第4回中化連秋季大会（中京大学） 一般研究発表（分析関係）：52件 特別討論会〔分析化学における有機試薬の利用〕 特別講演：2件、研究発表：19件 10月11日　第9回X線分析討論会（中京大学）

	特別講演：4件、研究発表：18件 10月28日　訪日学者講演会（名古屋大学理学部） 11月25日　講演会（金沢大学工学部） 講演：生体試料からの医薬品分析（田村善蔵） 大気汚染成分の分析の現状と問題点（荒木　峻） 1月16日　講演会（中部科学技術センター） 講演：高速液体クロマトグラフィーについて－装置と応用（浅井　圭） スペクトルデータのコンピューター解析による有機化合物の構造推定－現状と将来（佐々木慎一） 2月9～10日　工場見学会：三井東圧化学㈱総合研究所、㈱資生堂大船工場 2月20日　若手会員懇話会（中部科学技術センター） 若手会員講演：10件
1973年度 **(昭48)**	（支部長）上田俊三（副支部長）入谷信彦、喜谷喜徳、村田　旭 （常任幹事）小友　允、鎌田栄二郎、小辻奎也、椎尾　一、鈴木正巳、鈴木義仁、滝野吉雄、中川元吉、根津弘幸、野村　昇、林　滋彦、山寺秀雄、山本善一 8月23～25日　第15回講習会（金沢大学工学部、理学部、薬学部） 特別講義：クロマトグラフィーとスペクトロメトリーの直結分析法について（石井大道） 実習：ガスクロマトグラフィー、核磁気共鳴、分散型蛍光X線分析、非分散型蛍光X線分析・γ線解析、試料処理法、強リン酸を用いる分析法、温度滴定、高速液体クロマトグラフィー 8月28～29日　電気化学基礎講習会（東別院青少年会館） 講義：8件 10月16～17日　第5回中化連秋季大会（名古屋工業大学） 一般研究発表（分析関係）：13件 特別討論会〔けい酸塩分析〕 招待講演：けい酸塩分析の最近の話題（多田格三） けい酸塩分析における諸問題（西村耕一） パネル討論会：講演8件 研究発表：6件 11月12～13日　高速液体クロマトグラフィー講習会（名古屋市工業研究所） 講義：高速液体クロマトグラフの理論と装置（武内次夫） 高速液体クロマトグラフの有機化学への応用（平田義正） 実習：6件 2月2日　講演会（静岡大学工学部） 講演：悪臭防止技術の問題点（福地知行） 水質汚濁防止技術の問題点（梅沢岑生） 2月8～9日　工場見学会：関西電力美浜原子力発電所

	2月14日　油化学講習会（中部科学技術センター） 2月16日　第86回X線分析研究懇談会（名古屋大学工学部） 講演：3件
1974年度 **(昭49)**	（支部長）入谷信彦（副支部長）喜谷喜徳、佐竹正忠、山寺秀雄 （常任幹事）伊豆津公佑、金森　悟、河口広司、椎尾　一、柴田正三、鈴木諄亮、鈴木正巳、滝野吉雄、寺田喜久雄、中川元吉、野村　昇、野路雅英、和田弘子 5月20～21日　有機微量分析研究懇談会・質量測定研究会合同シンポジウム（栂原高原－読売山荘） 研究発表：12件、特別講演：1件 7月22～23日　機器による高分子分析講習会（名古屋市工業研究所） 講義：3件、実習：4件 8月25日　第16回講習会（静岡薬科大学） 講義：臨床化学分析と医療の接点（星　昭二） 炎光分析と原子吸光分析（鈴木正巳） 自動分析機器（入谷信彦） 臨床生化学分析（奥田　潤） 関連機器・試薬の展示 10月16～18日　第6回中化連秋季大会（名古屋大学工学部） 一般研究発表（分析関係）：13件 特別討論会〔クロマトグラフィー〕 研究発表：28件、特別講演：2件 11月9日　講演会（福井大学工学部） 講演：環境香料の考え方（吉田克巳） 水圏環境化学の考え方（藤永太一郎） 11月22～23日　見学会：茨城大学五浦美術文化研究所 呉羽化学工業㈱錦工場 宿泊：いわき市国民宿舎塩屋崎荘 12月5日　講演会（四日市農協会館） 講演：廃水の自動測定法（砂原広志） 高分子データ集積の現状と今後の問題（竹田政民） 最近の機器分析の動向（武内次夫） 2月6日　第3回原子吸光分析研究懇談会（名古屋大学工学部） 講演：2件

1975年度 (昭50)	〔ぶんせき〕創刊 (支部長) 喜谷喜徳 (副支部長) 神原富尚、寺田喜久雄、山寺秀雄 (常任幹事) 金森　悟、河口広司、後藤克己、佐竹正忠、柴田正三、清水純夫、鈴木諄亮、鈴木　孝、野路雅英、舟橋重信、宮崎元一、森　定雄、和田弘子 5月22～23日　**第36回討論会** (金沢大学工学部、実行委員長　木羽敏泰) 討論主題〔環境こん跡分析と環境化学計測〕 特別講演：Method of Standards for Trace Analysis in the Environment (P. D. LaFleur) 及び (I. L. Barnes) 研究発表：101件 5月27日　訪日学者講演会 (名古屋大学工学部) 講演：Recent Development in Organic Micro Chemistry (T. S. Ma) 8月20～22日　第17回講習会 (名古屋市立大学薬学部) 講義：生体試料について (奥谷博俊) 環境試料について (長谷川敬彦) 生体及び環境試料の機器分析について (武者宗一郎) 実習：原子吸光分析、高速液体クロマトグラフ分析、ガスクロマトグラフ分析、二波長分光光度分析 10月7日　排水分析講習会 (名古屋市工業研究所) 講義：3件、実習：1件 10月14日　訪日学者講演会 (名古屋大学理学部) 講演：Solvent Extraction and Coordination Chemistry (Y. Marcus) 10月20～23日　第7回中化連秋季大会 (名古屋大学工学部) 一般研究発表 (分析関係)：30件 特別討論会〔分析化学における鎖体化学の利用〕 招待講演：金属キレート陽イオンによる陰イオンの溶媒抽出 (山本勇麓) 硫黄配位錯形成剤の反応と応用－チオ－β－ジケトン関連化合物を中心として (田中　久) 研究発表：23件 11月7日　講演会 (富山県薬業会館) 講演：トレースアナリシスの諸問題 (水池　敦) 選択性金属吸着剤・固定剤の開発と環境保全 (小田仲彬) 1月31日　講演会 (静岡大学教養部) 講演：3件 2月6～7日　見学会：㈱養命酒駒ケ根工場、㈱タケヤ味噌上諏訪工場 懇親会と宿泊：連合会共済諏訪湖荘 2月10日　機器分析講習会－高速液体クロマトグラフィーの適用と問題点 (名古屋市工業研究所) 講義：原理及び装置 (武内次夫) 高速液体クロマトグラフィーの簡易ミクロ化 (石井大道) 分離様式の選択法 (森　定雄)

	パネル討論 3月26日　化学英語講習会（名古屋市立科学館）
1976年度 (昭51)	（支部長）山寺秀雄（副支部長）神原富尚、鈴木正巳、野村　昇 （常任幹事）井口正信、小島　功、小辻奎也、後藤克己、佐竹正忠、清水純夫、鈴木　孝、中島良三、舟橋重信、宮崎元一、三輪智夫、森　定雄 5月10日　訪日学者講演会（名古屋大学工学部） 講演：Recent Development in Atomic Absorption and Atomic Fluorescence Spectroscopy（T. S. West） 5月15日　訪日学者講演会（名古屋大学工学部） 講演：Biological and Analytical Perspective on Zinc Biochemistry（B. L. Vallee） 8月18～20日　第18回講習会（名古屋大学工学部） 特別講義：超微量成分分析における汚染とその対策（水池　敦） 環境汚染と分析化学（山県　登） 実習：原子吸光分析、高速液体クロマトグラフ分析、ガスクロマトグラフ分析、赤外吸収スペクトル分析、電気分析 10月4～6日　第20回放射線化学討論会（静岡大学教養部） 研究発表：91件、特別講演：4件 10月16～18日　第8回中化連秋季大会（名古屋大学農学部） 一般研究発表（分析関係）：14件 特別討論会〔原子吸光分析〕 研究発表：19件、パネル討論 2月1日　講演会（信州大学工学部） 講演：分離について（品川睦明） イオン会合性試薬について（桐栄恭二） 化学発光を利用する連続分析機器（岡　正太郎） 2月4日　講演会（金沢大学工学部） 講演：不足当量反応の分析化学への応用（鈴木信男） 環境放射能分析の動向（浜口　博） アクリル系化合物の生体作用（橋本和夫） 2月4～5日　工場見学会：武田薬品工業㈱湘南工場 2月9～10日　実務者のための原子吸光分析講演会（名古屋市工業研究所） 講演：8件
1977年度 (昭52)	（支部長）神原富尚（副支部長）柴田正三、鈴木正巳、宮崎元一 （常任幹事）井口正信、板谷芳京、小島　功、小辻奎也、中島良三、中須賀徳行、根津弘幸、野村　昇、林　滋彦、水野孝一、三輪智夫、山崎　豊

	4月18～19日　化学英語講習会（名古屋市科学館） 8月25～26日　第19回講習会（名古屋大学工学部、名古屋工業大学） 特別講義：水質分析－重金属元素の分析（北野　康） 機器分析における有機試薬の利用（柴田正三） 液体イオン交換剤を用いる化学分離法（中川元吉） 実習：高速液体クロマトグラフィー、原子吸光分析 9月19日　H. Freiser 教授を囲む懇談会（名古屋工業大学） 9月27日　環境分析講習会（名古屋市工業研究所） 講演：産業廃棄物溶質試験の実際（杉木仁彦） 水質簡易分析の展望（蟹江照行） 実習：水質簡易分析機器 10月16～18日　第9回中化連秋季大会（名古屋工業大学） 一般研究発表（分析関係）：14件 1月23日　講演会（四日市農協会館） 講演：化学測定における標準物質と標準データ（益子洋一郎） 環境化学分析の諸問題（荒木　俊） 1月27日　講演会（富山大学図書館） 講演：環境放射能研究と分析化学（阪上正信） 鉱山廃水による洞爺湖の汚染とその防止（後藤克己） 2月3～4日　工場見学会：中部電力浜岡原子力発電所
1978年度 **(昭53)**	**〔中部支部創立20周年〕** (支部長) 宮崎元一（副支部長）小辻奎也、柴田正三、鈴木正巳 (常任幹事) 石塚紀夫、板谷芳京、後藤克己、鈴木諄亮、鈴木真言、柘植　新、寺田喜久雄、中須賀徳行、根津弘幸、野村　毅、林　滋彦、水野孝一、森　定雄、山本善一 4月21日　訪日学者講演会（名古屋大学工学部） (R. G. Bates) 5月29～30日　有機微量分析懇談会、質量測定研究会合同シンポジウム (エーザイ内藤記念館くすり博物館) 研究発表：25件、特別講演：1件 6月6～7日　講演会及び展示会－東海無機分析研究会20周年記念(名古屋市工業研究所) 講演：自動車工業における EPMA 分析（伊勢　淳） 分析用有機試薬の現状（柴田正三） アルミニウム合金分析の歴史と現状（向井孝一） 最近の鉄鋼分析について（伊東応仁） 内湾の海況と分析化学上の問題点（太田立男） 最近の液体クロマトグラフィーについて（石井大道） フッ素の湿式分析法（小玉数信） 公定法分析法の動向（多田格三） 7月6～7日　研究者、技術者、学生のための英語講習会（名古屋市科学館）

	7月10日　講演会と工場見学会（第二精工舎足利工場、大昭和製紙鈴川工場） 講演：2件 8月24日　第20回講習会（名城大学薬学部） 特別講義：新しい機器分析法の展望（立松　晃） 微量分析法としてのマススペクトロメトリー（鈴木真言） イソタコフォレーシスの現状と将来（宮崎　浩） 実習：高速液体クロマトグラフィー、原子吸光分析 10月5～6日　第5回環境汚染物質とそのトキシコロジーシンポジウム(静岡県医師会館) 10月11～15日　**第27年会**（金沢大学、実行委員長　上田俊三） 研究発表：426件、参加者：1201名 11月11日　講演会（福井大学工学部） 講演：環境汚染物質の生体濃縮について（吉田多摩夫） 環境分析における標準試料（木羽敏泰） 11月25日　**中部支部創立20周年記念講演会**（王山会館） 講演：古代青銅器及びガラスの研究に対する質量分析の応用・鉛同位体比の測定（山崎一雄） LCの検出器・特にMSについて（武内次夫） 分離法20年の進歩と将来への希望（木羽敏泰） 12月8～9日　見学会：筑波研究学園都市、協和醗酵工業㈱土浦工場
1979年度（昭54）	（支部長）鈴木正巳（副支部長）河口広司、柴田正三、林　滋彦 （常任幹事）石塚紀夫、伊豆津公佑、河合　聡、後藤克己、桜井定人、佐竹正忠、鈴木諄亮、鈴木真言、柘植　新、寺田喜久雄、野村　毅、長谷川敬彦、村田　旭、森　定雄 4月9日　訪日学者講演会（名古屋大学工学部） 講演：Capillary Gas- and Liquid-Chromatographies, and their Biochemical Applications（M. Novotony） 5月19～20日　化学英語講習会（名古屋市科学館） 8月22～23日　第21回講習会（名古屋大学工学部） 講義：高周波プラズマ発光分析の現状（河口広司） フレームレス原子吸光分析とその問題点（鈴木正巳） 最近の高速液体クロマトグラフィー（石井大道） LC-MS直結システムの展望（柘植　新） 高速ゲルパーミエーションクロマトグラフィー（GPC）（森　定雄） 実習：上記の5コース 9月6～7日　電気化学基礎講習会（名古屋工業大学） 講演：4件、実習：2件 10月4～6日　第10回中化連秋季大会（静岡大学工学部） 一般研究発表（分析関係）：12件 特別討論会〔液体クロマトグラフィーの高性能化〕

	研究発表：22件、パネル討論 11月９日　講演会（金沢大学理学部） 講演：法科学と放射化分析（狐塚　寛） 高速液体クロマトグラフィーのミクロ化について（石井大道） 12月７～８日　工場見学会：エーザイ㈱川島工場・内藤記念館くすり博物館 １月23日　講演会（岐阜大学工学部） 講演：化学薬品の法規制と安全な取り扱い（木本三夫） クロマトグラフィーの新しい応用－熱分解による高分子の構造解析及びLC-MS直結（柘植　新） ２月26日　分析機器へのマイコンの利用講習会（名古屋市工業研究所） 講義：４件、実習：２件
1980年度 **(昭55)**	（支部長）柴田正三（副支部長）河口広司、後藤克己、中川元吉 （常任幹事）石塚紀夫、伊豆津公佑、河合　聡、後藤正志、桜井定人、鈴木諄亮、中須賀徳行、野村　昇、長谷川敬彦、林　滋彦、山本善一、山田碩道、和田弘子 ４月12～13日　技術系社員・研究者・学生のための化学英語講習会（名古屋市科学館） ８月19～20日　第22回講習会（名古屋大学工学部） 講義：ICP発光分光分析の現状（河口広司） 高速液体クロマトグラフィー（石井大道） 最新の吸光光度法（柴田正三） 最近のポーラログラフィーとストリッピングボルタンメトリー（後藤正志） マイコンの分析化学への応用（制御とデータ処理）（河合勝司） 実習：上記５コース ９月２～３日　電気化学基礎講習会（名古屋工業大学） 講義：９件、実習：４件 ９月13日　講演会（富山大学理学部） 講演：ラマンで分子を見たとき（川井清保） 工業化のためのアイデア（児玉　寛） 私のとっておきの発想法（泉　美保） 10月16～18日　第11回中化連秋季大会（名古屋大学工学部） 一般研究発表（分析関係）：13件 特別討論会〔吸光光度法の再発見〕 招待講演：流れを用いる吸光光度法について（石井大道） 有機試薬の感度向上を目ざして（桐栄恭二） 研究発表：20件 10月31日　講演会（信州大学理学部） 講演：ミクロカラム液体クロマトグラフィーの最近の進歩（石井大道） 最近の新しい機器分析法（池田重良）

	11月25日　訪日学者講演会（名古屋大学理学部） 講演：Thermodynamics of Dioxygen Complex Formation（A. E. Martell） 11月27日　訪日学者講演会（名古屋大学豊田講堂） 講演：Strategies in the Determination of Elements in Extremely Low Concentrations（G. Tölg） 11月28日　講演会（名古屋大学豊田講堂） 講演：岩石、イン石、廃水ートレースアナリシス経験談（大西　寛） トレース量の元素定量のための予備濃縮（寺田喜久雄） 12月５～６日　工場見学会：東洋醸造㈱本社工場 １月20日　オープンセミナー（愛知県中小企業センター） 講演：５件 １月30日　講演会（富山大学理学部） 講演：高速液体クロマトグラフィーの分離条件の選び方（野村　昇） 界面活性剤溶液の相分離現象を利用する抽出法（渡辺寛人） 衛生薬学と無機微量分析（宮崎元一）
1981年度 **(昭56)**	（支部長）中川元吉（副支部長）飯田忠三、寺田喜久雄、村田　旭 （常任幹事）後藤克己、後藤正志、清水純夫、滝野吉雄、柘植　新、中嶋邦雄、林　滋彦、水野孝一、森　定雄、山田碩道、山田真吉、山本善一、和田弘子 ５月28～29日　**第42回討論会**（グリーンホテル三ケ根、実行委員長　田中元治） 討論主題〔微量分析、分析化学と溶液化学〕 主題講演：120件 一般講演：48件（内ポスター発表：42件） 製品紹介講演：15件 記念講演：Surface Problem of Ion-Selective Electrode（E. Pungor） 参加者：421人 ６月１～２日　第48回有機微量分析研究会シンポジウム（金沢大学医学部） 講演：15件、特別講演：１件 ７月４日　講演会（金沢大学教養部） 講演：２件 ７月14～17日　化学英語講習会（名古屋市科学館） 講義：３件 ８月４日　講演会（名古屋大学工学部） 講演：Atomic Fluorescence Spectrometry（J. D. Winefordner） ８月26～28日　第23回講習会（名古屋工業大学） 特別講義：微量分析の最近の動向（石井大道） 接触分析（田中元治） 実習：イオン選択性電極、原子吸光分析、高速液体クロマトグラフィー、フローインジェクション法

	受講者：41名
9月10日	講演会（名古屋工業大学）
	講演：Flow Injection—A New Tool for Instrumental Analysis（J. Ruzicka）
9月11日	訪日学者講演会（名古屋大学工学部）
	講演：ICP-AES, Selected Topics（P. W. J. M. Boumans）
10月7日	講演会（信州大学理学部）
	講演：Atomic Spectrometry of Biosignificant Trace Elements in Soils, Plant and Animal Nutrition（T. S. West）
10月8～10日	第12回中化連秋季大会（名古屋大学教養部）
	一般研究発表（分析化学、環境化学）：12件
	特別討論会〔溶媒抽出〕
	招待講演：高分子量アミンによる溶媒抽出（佐藤太一）
	カルボン酸による金属の抽出（山田碩道）
	金属錯体の抽出におよぼす諸因子（関根達也）
	研究発表：11件
	分析化学講演会：Some New Results in Developments in Field of Electroanalytical Micro and Trace Analysis（F. Umland）
11月6日	高分子分析講演会（福井大学教育学部）
	講演：3件
11月27日	油化学におけるコンピュータ（名古屋観光会館）
	講演：4件
11月28日	講演会（静岡大学教養部）
	講演：NOx、SOxの化学（広田栄治）
	遺伝現象にせまる化学（三浦謹一郎）
	分析化学における研究の開発（木羽敏泰）
12月1日	環境と化学に関するパネル討論会（愛知厚生年金会館）
	講演：5件、パネル討論
12月4～5日	見学会：水産庁養殖研究所（伊勢、志摩）
	懇親会と宿泊（賢島観光ホテル和風賢島別館）
	参加者：中部支部19名、関東支部16名
12月7日	第1回HPLC研究談話会（名古屋大学工学部）
	講演：2件
1月19日	オープンセミナー（名古屋逓信会館）
	講演：4件
1月29日	講演会（金沢大学理学部）
	講演：酸化還元不足当量法を用いる放射分析化学（神原富尚）
	配位子置換反応の二、三の応用（中川元吉）

1982年度 (昭57)	
	(支部長) 寺田喜久雄 (副支部長) 飯田忠三、伊豆津公佑、村田　旭 (常任幹事) 板谷芳京、宇井倬二、宇佐美四郎、酒井忠雄、佐竹正忠、鈴木真言、滝野吉雄、柘植　新、中嶋邦雄、野村俊明、平出正孝、水野孝一、森　定雄、山田真吉 4月20日　講演会 (愛知厚生年金会館) 講演：N. Novotony 5月18日　第7回プラズマ分光分析講演会 (愛知中小企業センター) 講演：5件 6月3～4日　第49回有機微量分析研究懇談会シンポジウム (信州大学旭会館) 研究発表：13件 7月15日　訪日学者講演会 (名古屋大学理学部) 講演：Hydrophobic Interactions in Mixed Complexes (H. Sigel) 7月17日　第3回 HPLC 研究談話会 (名城大学薬学部) 講演：16件 8月26～27日　第1回夏期セミナー (和倉逓信保養所) 主題：原子吸光分析、高速液体クロマトグラフィー 話題特別講演："一滴法" 原子吸光分析 (内田哲男) HPLC の無機微量分析への応用 (早川和一) 話題提供講演：疎水性基をもつ吸着剤を用いる微量成分の前濃縮法 (田口　茂) アンモニウム塩を用いる難溶性試料の簡易・迅速分解法 (松本　健) 原子吸光分析－四半世紀の歩みと将来の展望 (柳沢雅明) 液体クロマトグラフィーにおける電気化学的検出器 (原　稔) 環境・食品・生体試料中の硫酸イオンのHPLC (大久保登) 有機金属錯体の高速液体クロマトグラフィー $Co^{III}(ttp)Cl$ の分離挙動を中心にして (本間春雄) 新製品紹介講演：4件 10月7～9日　第13回中化連秋季大会 (三重大学教育学部) 一般研究発表 (分析関係)：20件 特別討論会〔流れを用いる分析〕 研究発表：17件、パネル討論 11月5日　訪日学者講演会 (名古屋大学理学部) 講演：The Role of the Interface in Extraction Kinetics and Equilibria (H. Freiser) Hydrolysis and Related Complexation of Metal　Ions (S. Gobom) 11月9～11日　第16回化学工学の進歩講演会 (気泡・液滴分散工学) (愛知県産業貿易館) 講演：12件 11月19日　講演会 (福井大学教育学部)

	講演：毛髪中の重金属について（高木靖弘） 環境水及び排水の窒素とリンの化学計測（砂原広志） 12月３～４日　工場見学会：浜松テレビ㈱本社及び豊岡製作所 懇親会と宿泊（国民宿舎奥浜名湖） 12月10～11日　第１回溶媒抽出討論会（静岡大学工学部） 研究発表：26件 12月11日　第４回 HPLC 研究談話会（名城大学薬学部） 講演：17件 １月21日　講演会（信州大学工学部） 講演：環境科学と分析化学（不破敬一郎） 泡で極微量元素を分離する（水池　敦） 代替エネルギー技術と分析化学（中島史登） ２月10日　第128回 X 線分析研究懇談会（豊橋技術科学大学） 講演：２件
1983年度 **(昭58)**	（支部長）飯田忠三（副支部長）小辻奎也、柘植　新　村田　旭 （常任幹事）板谷芳京、宇井倬二、酒井忠雄、鈴木真言、田中一彦、永長幸雄、成田九州男、野村俊明、野村　昇、平出正孝、三井利幸、山田真吉、山田碩道、柳沢雅明、和田弘子 ３月15日　製品開発特別講演会（富山工業高等専門学校） 講演：１件 ４月23日　第５回 HPLC 研究談話会（名古屋大学医学部） 講演：１件、パネル討論 ６月17日　講演会（金沢大学理学部） 講演：難揮発性天然物の化学とマススペクトロメトリー－oligosaccharide を中心として（鈴木真言） 植物種と無機イオン－マクロからミクロの化学へ（小山睦夫） ７月７日　講演会（岐阜歯科大学） 講演：生理活性を有する金属錯体の分析について（喜谷喜徳） 有機試薬とフローインジェクション分析法（中川元吉） ８月22日　第６回 HPLC 研究談話会 講演：12件、実習：15件 ８月24～25日　第２回夏期セミナー（和倉通信保養所） 主題：機器分析の実際 １）高速液体クロマトグラフィー 特別講演：HPLC 最近の進歩（森　定雄） 話題提供：HPLC 用カラムの選択性（岡本光美） HPLC と各種スペクトル法の直結化について（神野清勝） ２）特別講演：プラズマ発光法による微量分析（河口広司） 話題提供：カラム電極を用いる電気化学分析法（中田隆二）

	最近の微量電気化学分析について（後藤正志） 石炭液化物分析へのGC-MSの最近の応用（長谷川　淳） 製品紹介講演：10件 参加者：62名 10月16～18日　第14回中化連秋季大会（名古屋工業大学） 一般研究発表（分析関係）：25件 特別討論会〔原子スペクトル分析〕 招待講演：発光分光分析用プラズマ光源への試料導入法（河口広司） 原子吸光分析（原口紘炁） 水素化物発生による原子吸光分析（中原武利） 研究発表：18件 11月２日　訪日学者講演会（名古屋大学アイソトープ総合センター） 講演：アノーディックストリッピングボルタンメトリー（鄧家祺） 11月12日　講演会（富山大学） 講演：環境水の同位体地球化学（水谷義彦） 漆を膜材料とするイオン選択性電極（日色和夫） 自然に学ぶ－複合材料への展開（松本恒隆） 11月22日　講演会（名古屋大学アイソトープ総合センター） 講演：Ion Microscopy and Ion Microprobe Analysis（G. H. Morrison） 12月２～３日　工場見学会：昭和電工㈱塩尻工場、東京電力奈川渡ダム 懇親会と宿泊：文部省共済組合乗鞍高原の家（あずみ荘） 参加者：中部支部21名、関東支部13名 ２月10日　第128回X線分析研究懇談会（豊橋技術科学大学） 講演：２件
1984年度 **(昭59)**	（支部長）村田　旭（副支部長）佐々木慎一、野村　昇、森　定雄 （常任幹事）宇井倬二、河口広司、後藤克己、佐竹正忠、神野清勝、田中一彦、中須賀徳行、成田九州男、根津弘幸、野路雅英、三井利幸、柳沢雅明、山田碩道、山本善一、和田弘子 ４月23日　第８回HPLC研究談話会（愛知厚生年金会館） 特別講演：１件 ８月21～22日　第９回HPLC研究談話会（名城大学薬学部） 研究発表：23件、実習 ８月27～28日　第３回夏期セミナー（地方公務員共済組合浜名荘） Aコース：HPLC 話題提供講演：超臨界流体クロマトグラフィー（平田幸夫） キャピラリー液クロー電気泳動検出（寺部　茂） ポルフィリン錯体の液体クロマトグラフィー（斉藤紘一） レーザー蛍光検出による液体クロマトグラフィー （今坂藤太郎）

製品紹介講演：4件
Bコース：分子設計の可能性を求めて
話題提供講演：薬物設計のためのソフトウェア（高橋由雅）
コンピュータ・システム〔ACACS〕（吉田元二）
ネットワーク共用による化合物情報等の高度利用システムにおける中心的化学物質辞書としての、体系名から作り出される、立体化学的に正確な物質の登録（STARS）
（荒木啓介）
パーソナルコンピュータと分析化学（吉村忠与志）
製品紹介講演：3件
ソフトボール大会
参加者：83名

10月4～6日　第15回中化連秋季大会（岐阜大学）
一般研究発表（分析関係）：27件
特別討論会〔反応速度を利用する分析法〕
招待講演：金属錯体の反応性と配位子置換反応速度の差を用いる分析化学
（山田真吉）
溶媒抽出の速度－化学工学の立場から（原田　誠）
接触分析を用いる分析法とFIA（深沢　力）
研究発表：13件

10月10～14日　**第33年会**（名古屋大学教養部、実行委員長　水池　敦）
研究発表：523件、招待講演：2件
ミキサー：サッポロビール浩養園、懇親会：名古屋観光ホテル
見学会：高山－上高地、展示会
参加者：1303名

11月16日　講演会（富山大学教育学部）
講演：粉じんによる大気汚染（川崎軍治）
アルミニウム中の微量不純物－分析とその特徴（益田敏彦）
分子構造の予測と性質の予知（佐々木慎一）

11月29日　講演会（名古屋工業大学）
講演：イオン対の生成と抽出（後藤克己）
有機試薬としての大環状化合物（庄野利之）

11月30～12月1日　工場見学会：富士写真フィルム㈱足利工場
懇親会と宿泊：グリーン天城
参加者：中部支部17名、関東支部23名

12月7～8日　第3回溶媒抽出討論会（静岡大学工学部）
特別講演：1件、研究発表：32件

1月9日　第10回HPLC研究談話会（名城大学薬学部）
特別講演：1件

1月19日　講演会（静岡薬科大学）

	講演：医学・薬学との接点における分析化学 1．医学の立場から（菅野剛史） 2．薬学の立場から（南原利夫） 1月25日　訪日学者講演会（三重大学工学部） 講演：E. Grushka 1月29～30日　第8回技術セミナー（愛知県産業貿易館） 超臨界ガス抽出技術の現状と展望 講演：14件
1985年度 (昭60)	（支部長）佐々木慎一（副支部長）鈴木真言、根津弘幸、山本善一 （常任幹事）板谷芳京、宇井倬二、宇佐美四郎、内田哲男、上蓑義則、河口広司、後藤正志、酒井忠雄、佐々木与志美、佐藤　真、神野清勝、鈴木諄亮、中須賀徳行、野路雅英、三輪智夫、山田真吉 3月14～16日　機器分析のための電子回路実習（名古屋大学工学部） 講師：吉村忠与志 実習、参加者13名 4月23日　第11回 HPLC 研究談話会（愛知厚生年金会館） 特別講演：1件 パネル討論 6月13日　第3回フローインジェクション分析講演会（愛知厚生年金会館） 特別講演：配位子置換反応速度の差を用いる分析法の設計（山田真吉） 連続固定化酵素カラムを用いるプリン代謝物の蛍光 FIA（大倉洋甫） 講演：16件、機器展示会 6月21日　講演会（金沢大学） 講演：分光分析の発展と環境化学（AASとICP）（山本勇麓） 超微量分析と海洋化学（金森　悟） 8月27～28日　第12回 HPLC 研究談話会（名城大学薬学部） 研究発表：9件、実習：11件 8月29～30日　第4回分析化学夏期セミナー（地方職員共済組合浜名荘） 主題：分析化学最近の話題から 話題提供講演：イオン会合の特異性を利用した吸光分析（酒井忠雄） 研究とルーチン分析との関連－研究をどのようにしてルーチン分析にとりいれるか（三井利幸） 水分析におけるストリッピングボルタンメトリー（三輪智夫） 水晶発振子の溶液中での挙動とその分析への応用（野村俊明） ソフトボール大会、参加者57名

	10月15日　訪日学者講演会（名古屋大学アイソトープ総合センター） 講演：Separation and Preconcentration of Traces of Metals with Sorbents Based on Spherical Polyurethane Membrane Systems（Foams）（T. Braun） 11月27～29日　第16回中化連秋季大会（豊橋技術科学大学） 一般研究発表（分析関係））：27件 特別討論会〔逆相 LC の保持機構〕 特別講演：試料の保持と分離に対する固定相の構造の効果（田中信男） 逆相 LC の保持機構の熱力学的解析（山本文子） 研究発表：4件、パネル討論 特別討論会〔超高感度分析の諸問題〕 招待講演：はん用 FID による超高感度 GC（高山雄二） レーザー質量分析法に関して（古谷圭一） レーザー分光（英　貢） 高速液体クロマトグラフィー・分光蛍光法（発がん関連物質の分析を中心として）（松下秀鶴） 研究発表：6件 12月6～7日　工場見学会：魚津埋没林、吉田工業㈱黒部工場 懇親会と宿泊：地方職員共済組合黒部荘 参加者：中部支部22名、関東支部15名 12月12日　講演会（名古屋大学理学部） 講演：振動する電気化学システムへの分析化学的アプローチ（根津弘幸） Biomineralization…貝殻結晶の生成と変質（北野　康） 1月10日　第13回 HPLC 研究談話会（名城大学薬学部） 講演：2件、研究発表：11件 2月3日　訪日学者講演会（信州大学理学部） 講演：Chemical Art in Ancient India（R. C. Kapoor） 2月12日　講演会（豊橋技術科学大学） 講演：主として原子吸光分析について（保田和雄） EPMA の過去・現在・未来（紀本静雄）
1986年度（昭61）	（支部長）山本善一（副支部長）伊豆津公佑、河口広司、和田弘子 （常任幹事）板谷芳京、宇井倬二、宇佐美四郎、内田哲男、上養義則、後藤正志、酒井忠雄、佐々木与志美、佐藤　真、柴田久夫、鈴木諄亮、西山敦子、野村俊明、古川路明、三輪智夫、森　定雄 3月13～15日　パソコンによる化学計測実習（豊橋技術科学大学） 講師：吉村忠与志、加藤正直 4月25日　第14回 HPLC 研究談話会、第3回液体クロマトグラフィー小討論会（愛知厚生年金会館）

研究発表：19件

5月11～14日　第7回キャピラリークロマトグラフィー国際シンポジウム
（岐阜グランドホテル）
研究発表：36件、ポスター発表：86件、展示会

5月15～17日　第53回有機微量分析研究懇談会、第9回計測自動制御学会
質量・力計測部会合同シンポジウム（伊東市観光会館）

5月26日　訪日学者講演会（三重大学工学部）
講演：Luminescent and Chromatographic Methods for Chemical Analysis
（S. Y. Su）

6月26～27日　第3回イオンクロマトグラフィー討論会（金沢大学医学部）

7月1日　講演会（福井大学教育学部）
講演：トレースアナリシスに於ける前濃縮（寺田喜久雄）
高分解能熱分解ガスクロマトグラフィーによる高分子のキャラクタリゼーション（柘植　新）

7月4日　講演会（名古屋工業大学）
講演：非水溶液における電気分析化学の現状（伊豆津公佑）
イオン交換による希元素の濃縮（黒田六郎）

7月25～26日　第1回化学パソコン懇談会（京都工芸繊維大学）
講演：34件、デモンストレーション

8月26～27日　第15回 HPLC 研究談話会（名古屋大学工学部）
実習：12テーマ

8月29～30日　第5回夏期セミナー（石川県辰口町総合福祉会館、まつさき旅館）
話題提供講演：L–アミノ酸型キレート樹脂による微量ウランの捕集と分離（上田一正）
カルボン酸による金属の抽出における抽出種の多量化と溶媒効果について（山田碩道）
天然水中の極微量金属元素の存在状態別分離（平出正孝）
アニオンキャリヤー型イオン選択性電極（小泉貞之）
イオン選択選極によるフッ化物イオンの定量－アルミニウムイオンのマスキング（湯地昭夫）
原子吸光検出法を用いた高温ガスクロマトグラフィー
（太田清久）
新製品紹介講演：4件
懇親会、ソフトボール大会

9月3日　訪日学者講演会（豊橋技術科学大学）
講演：Laser Desorption Fourier Transform Mass Spectrometer
（C. L. Wilkins）

11月5～9日　第3回日ソ分析化学シンポジウム（愛知県産業貿易館）
講演：21件（ソ連10件、日本11件）、ポスター発表17件

11月21～22日　工場見学会（東芝医療機器事業部那須工場）

	参加者：25名
	12月11日　講演会、第29回有機試薬研究懇談会（岐阜大学）
	講演：コロイド滴定の話（桐栄恭二）
	ピロン環を含む蛍光分析用試薬（村田　旭）
	1月9日　第16回 HPLC 研究談話会（名城大学薬学部）
1987年度 (昭62)	（支部長）伊豆津公佑（副支部長）後藤克己、河口広司、窪田種一 （庶務幹事）田口　茂、野村俊明（会計幹事）北川邦行、酒井忠雄 （常任幹事）石塚紀夫、柴田久夫、永長幸雄、成田九州男、西山敦子、野村　毅、 平田幸夫、古川路明、三輪智夫、三井利幸、森　定雄、山崎　満
	4月23日　第17回 HPLC 研究談話会（愛知厚生年金会館）
	6月4～5日　**第48回討論会**（鳥羽小涌園、実行委員長　石井大道）
	主題〔新素材の分析化学〕
	〔クロマトグラフィーとその周辺技術の新展開〕
	〔スペクトロメトリーとその周辺技術の新展開〕
	主題講演：109件、一般講演：126件、製品講演：6件
	参加者：522名
	6月26日　講演会（富山大学理学部）
	講演：核融合炉燃料（トリチウム）の計量と分析－現状と問題点（渡辺国昭）
	ポルフィリンを用いる速度論的分析法（田中元治）
	7月23～25日　第3回パソコンのインターフェース回路実習（名古屋大学工学部）
	参加者：14名
	8月20～21日　第18回 HPLC 研究談話会（名城大学薬学部）
	実習
	8月28～29日　第6回夏期セミナー（文部省共済組合あづみ荘）
	話題提供講演：環境保健学的野外調査における最近の機器分析手法の活用経験例（二木安之、村山忍三）
	溶媒抽出－逆相クロマトグラフィーによる微量金属の同時定量（一ノ木進）
	原子スペクトル分析法の歴史と最近の話題（北川邦行）
	金属錯体の反応性の差を用いる分析（山田真吉）
	製品紹介講演：3件
	参加者：49名
	9月24～26日　第24回 X 線分析討論会（豊橋駅前文化ホール）
	10月1～3日　第18回中化連秋季大会（信州大学工学部）
	一般研究発表（分析化学、環境化学関係）：45件
	特別討論会〔分析化学における分離と計測の新しい展開〕
	招待講演：イオン選択性電極の分析化学及び溶液化学への応用(中川元吉)

	ガスクロマトグラフイー、液体クロマトグラフィー及び超臨界 流体クロマトグラフィーの一体化について（石井大道） 最近の表面・薄膜の評価技術（山内　洋） ファインセラミックスの湿式分解と迅速分析法（柴田正三） 研究発表：14件 特別討論会〔電気化学並びに電気分析化学における界面の新しい諸問題〕 招待講演：光励起された半導体－溶液界面の新しい応用（藤島　昭） 研究発表：7件 10月31日　講演会（名古屋工業大学） 講演：溶液内化学種の平衡と構造（I.Toth） 超臨界流体クロマトグラフィー（神野清勝） 11月4～5日　第2回化学パソコンソフトウェア研究討論会（埼玉大学） 特別講演：2件、一般講演：25件 11月12日　講演会（三重大学工学部） 講演：水中の微量元素の溶存状態分析（水池　敦） 分子設計のトータルシステム（佐々木慎一） 11月27～28日　工場見学会：日本ガイシ㈱小牧工場 懇親会と宿泊：地方職員共済組合入鹿荘 参加者：39名（内中部支部27名） 12月14日　訪日学者講演会（三重大学工学部） 講演：GPCの最近の進歩（D.Berek） 1月8日　第19回HPLC研究談話会（愛知厚生年金会館）
1988年度（昭63）	**〔中部支部創立30周年〕** （支部長）後藤克己（副支部長）河口広司、野村俊明、森　定雄 （庶務幹事）田口　茂、平出正孝（会計幹事）北川邦行、三井利幸 （常任幹事）石塚紀夫、後藤正志、永長幸雄、成田九州男、根津弘幸、野路雅英、野村　毅、平田幸夫、舟橋重信、増沢敏行、山崎　満、山田碩道 4月19日　第20回HPLC研究談話会（愛知厚生年金会館） 参加者：130名 5月12～15日　第55回有機微量分析研究懇談会（長野県サンアルプス大町） 5月27日　第5回液体クロマトグラフィー春季討論会（富山市高志会館） 参加者176名 6月10日　講演会（金沢大学理学部） 講演：人間にとっての環境問題（石田宗治） １２－モリブドリン酸試薬をめぐって（池田重良） 参加者：118名 7月28～30日　第4回パソコンのためのインターフェース回路実習（豊橋技術科学大学） 参加者：14名

	8月29～30日	第7回夏期セミナー（サンピア敦賀）
		講演：金属錯イオンを対イオンとするイオン会合体の抽出（笠原一世）
		新しいキレート試薬を求めて－　0-フェニレンジアミン四酢酸と
		その金属錯体に関する溶液化学的研究について（中須賀徳行）
		フローインジェクション分析法による鉄、ニッケル、
		パラジウムの高感度定量（大野典子）
		有機酸素元素分析最近の話題から（板谷芳京）
		参加者：57名
	8月30～31日	第21回HPLC研究談話会（愛知県中小企業センター）
		参加者：90名
	10月7日	中部支部30周年記念行事（愛知厚生年金会館）
		講演：トレースアナリシスにおける予備濃縮と
		キャラクタリゼーション（寺田喜久雄）
		クロマトグラフ法の最近の進歩（石井大道）
		メタロポルフィリン生成反応の機構とそれを用いる
		速度論的分析法（田中元治）
	10月16～18日	第19回中化連秋季大会（名古屋大学工学部）
	10月20～21日	第5回イオンクロマトグラフィーフォーラム（松本市浅間温泉）
	11月14～15日	第3回化学PCソフトウェア研究討論会（姫路工業大学）
	11月25～26日	工場見学会（日本原子力研究所）
		参加者：39名
	11月28日	講演会（信州大学理学部）
		講演：生体成分の分離精製技術の開発とその企業化について（橋本　勉）
		環境試料の超微量金属成分分析の問題点（鈴木信男）
		参加者：75名
	12月10日	生体機能関連化学部会ミニシンポジウム（岡崎国立共同研究機構）
	1月13日	第22回HPLC研究談話会（愛知厚生年金会館）
		参加者：100名

（中部支部創立30周年記念誌からの転載に一部修正・追加）

[1989 年度 (平 1)]

（支 部 長）河口広司
（副支部長）根津弘幸、宇佐美四郎、和田弘子
（支部監事）伊豆津公佑、後藤克己
（庶務幹事）平出正孝、金子紀男
（会計幹事）三井利幸、上蓑義則
（常任幹事）加藤正直、後藤正志、田口　茂、柘植　新、中田隆二、野路雅英、舟橋重信、増沢敏行、松本　健、山田真吉、山田碩道、湯地昭夫

4 月 28 日　第 23 回 HPLC 研究談話会［愛知厚生年金会館］
6 月 9 日　第 151 回X線分析研究懇談会［名古屋市工業研究所］
6 月 15～16 日　第 6 回イオンクロマトグラフィー討論会［フェニックスプラザ］
6 月 17 日　講演会［福井大学教育学部］
講演：環境放射線モニタリングの検出目標（北川貞治）
最近のイオンクロマトグラフ技術及び標準化の動向について（及川紀久雄）
6 月 30 日　講演会［朝日大学］
講演：FIA 法による超微量元素の接触分析法（河嶌拓治）
フローインジョクション法を利用する分析及び分析法の高機能化（本水昌二）
6 月 30 日　第 11 回フローインジェクション分析研究会講演会［朝日大学］
7 月 27～29 日　第 5 回パソコンのためのインターフェース回路実習［信州大学農学部］
8 月 25～26 日　第 8 回夏期セミナー［サンピア岐阜］
講演：液／液・液／膜界面電荷移動のボルタンメトリー的解釈（木原壮林）
液体クロマトグラフィーにおける間接検出（竹内豊英）
高感度有機試薬による環境中の微量金属の分析（形見武男）
共沈濃縮 ―黒鉛炉原子吸光分析法による微量金属の定量（上田穣一）
ソフトボール大会
8 月 29～30 日　第 24 回 HPLC 研究談話会［愛知県中小企業センター］
9 月 4 日　訪日学者講演会［岐阜薬科大学］
講演：Some New Aspects on Liquid Chromatography / Electrochemistry (Changchun Institute of Applied Chemistry: E. Wang)
10 月 3～5 日　第 20 回中化連秋季大会［静岡大学大谷キャンパス］
特別討論会「高感度、高選択性分析用試薬の開発」
11 月 10～11 日　第 4 回化学パソコンソフトウェア研究討論会［福井工業高等専門学校］
11 月 13 日　講演会［名古屋工業技術試験所］

講演：高分子材料（石谷　炯）
　　鉄鋼材料（佐伯正夫）
11月21日　第33回技術談話会［愛知県産業貿易会館］
　　微量成分の取扱いについて
12月1～2日　工場見学会：万城食品、東洋醸造
1月9日　第25回HPLC研究談話会［愛知厚生年金会館］
1月30日　第153回X線分析研究懇談会［KKR名古屋三の丸］
3月22日　原子スペクトル分析研究談話会、プラズマ分光分析研究会
［愛知厚生年金会館］

[1990年度 (平2)]

（支 部 長）根津弘幸
（副支部長）和田弘子、板谷芳京、後藤正志
（支部監事）後藤克己、河口広司
（庶務幹事）金子紀男、湯地昭夫
（会計幹事）上蓑義則、長沢一彦
（常任幹事）加藤正直、酒井忠雄、中田隆二、西山敦子、野村　毅、野村　昇、原口紘忞、古川路明、松本　健、水野孝一、山田真吉

4月17日　第26回HPLC研究談話会［愛知厚生年金会館］
5月12日　講演会［名古屋工業大学］
講演：Organic Analytical Reagents — State of Art and Present Trends —
(L. Sommer)
　　高感度呈色試薬としてのヒドラゾン化合物の分子設計と微量分析への応用（石井　一）
6月15日　講演会［金沢大学工学部］
講演：電気化学検出高速液体クロマトグラフィーによる生体成分の分析（島田和武）
　　ファインセラミックスの分析技術（石塚紀夫）
参加者：135名
7月10日　訪日学者講演会［名古屋大学工学部］
講演：Simultaneous and Sequential Element Determination by Coherent Forward Scattering Spectroscopy (G. Hermann)
7月26日　第154回X線分析研究会談話会［名古屋市工業研究所］
7月26～27日　第6回パソコンのためのインターフェース回路実習
［名古屋大学工学部］
参加者：16名
8月6日　訪日学者講演会［名城大学薬学部］
講演：向流分配クロマトグラフィーの現状と将来（伊東洋一郎）
8月28～29日　第27回HPLC研究談話会［愛知県中小企業センター］
8月30～31日　第9回夏期セミナー［立山国際ホテル］
主題：分離の基礎と応用
講演：電流検出器とその高速液体クロマトグラフィーによる金属の定量への応用（永長幸雄）

クラウンエーテルによるアルカリ金属イオンの分離と分析
（坂本英文）
活性カルバメート中間体の分析化学への応用（岩本和夫）
微量大気汚染物質監視のためのクロマトグラフ的手法
（西川治光）
参加者：87名

9月11～14日　第12回キャピラリークロマトグラフィー国際シンポジウム
［神戸国際会議場］

10月1～2日　第2回国際学術研究公開シンポジウム［石川県立婦人会館ホール］
主題：環日本海域における酸性雨・雪

10月11～13日　第21回中化連秋季大会［名古屋大学教養部］
特別討論主題:クロマトグラフィーにおける検出器の最近の進歩

10月16～18日　日本分析化学会第39年会［名古屋工業大学：実行委員長　中川元吉］

11月8日　講演会［浜松医科大学］
講演：HPLCにおける生体内の微量成分の蛍光検出（木下俊夫）
HPLC充てん剤の開発と化学工業への応用（中村　茂）

11月8～9日　第7回イオンクロマトグラフィーフォーラム
［恵那簡易保健保養センター］
主題：地球環境とイオンクロマトグラフィー

11月9～10日　工場見学会:ネーミック・ラムダ㈱長岡工場、越後製菓㈱片貝工場

1月7日　第28回HPLC研究談話会［愛知厚生年金会館］

3月22日　原子スペクトル分析研究懇談会及びプラズマ分光分析研究会
［愛知厚生年金会館］

［1991年度（平3）］

（支　部　長）和田弘子
（副支部長）柘植　新、石塚紀夫、佐々木与志実
（支部監事）河口広司、根津弘幸
（庶務幹事）湯地昭夫、大谷　肇
（会計幹事）長沢一彦、加藤正直
（常任幹事）酒井忠雄、柴田久夫、永長幸雄、西山敦子、野村　昇、原口紘炁、
古川路明、松本　健、水野孝一、森　定雄、山田真吉

4月11日　第29回HPLC研究談話会［愛知厚生年金会館］

5月10～11日　有機微量分析研究懇談会58回シンポジウム［金沢大学］
参加者：133名

6月14日　講演会［富山大学教育学部］
講演：分離分析機器としてのクロマトグラフ（花井俊彦）
ペルフルオロオクタン酸とその生体影響（狐塚　寛）
参加者：78名

7月18～19日　第7回パソコンのためのインターフェース回路実習［豊橋技術科学大学］
参加者：8名

7月30～31日　第30回HPLC研究談話会［愛知県中小企業センター］
主題：光学異性体の分析とその周辺技術の進歩

8月19～20日　第10回夏期セミナー［浜名荘］
講演：クロマトグラフィーによる溶液内平衡の検出と評価（岡田哲夫）
錯形成反応に及ぼす溶媒和分子の大きさ（舟橋重信）
ファインセラミックスの分析技術（石塚紀夫）
アシルピラゾロンとその分析化学への応用（佐々木与志実）
参加者：71名

10月2～4日　第22回中化連秋季大会［三重大学］
特別討論会主題：フローインジェクション分析の最近の動向
招待講演：3件、依頼講演：5件

10月31日～11月1日　第1回基礎及び最新の分析化学講習会［名古屋工業大学］
「材料分析のための前処理」（実行委員長：和田弘子）
講演：分析化学・その役割（中川元吉）
分離・濃縮（寺田喜久雄）
超微量分析の現状と将来（原口紘忞）
LCにおける分離様式の選択法（森　定雄）
フローインジェクション分析法の多様性と高機能化（酒井忠雄）
ICPの基礎（石塚紀夫）
最近の電子材料の分析（大村卓一）
セラミックス製造プロセスにおけるコンタミネーション（柳沢雅明）
鉄鋼材料の成分分析における試料の前処理（小野昭紘）
高分子材料（高山　森）
写真材料　―特にカラー写真フィルム―　（青木聖侑）
参加者：89名

12月3～4日　学術討論会［愛知厚生年金会館］
主題：素材の高純度化

12月5～6日　第5回名古屋コンファレンス［愛知厚生年金会館］
主題：地球環境変化と科学計測

12月10日　講演会［名古屋市工業研究所］
講演：超臨界流体抽出(SFE)／クロマトグラフィー(SFC)の最近の進歩（斎藤宗雄）
キャピラリーガスクロマトグラフィーの最近の進歩と高分子分析への応用（柘植　新）

12月13～14日　工場見学会：トヨタ自動車・トヨタ博物館
宿泊：サンプラザ
参加者：36名

1月9日　第31回HPLC研究談話会［愛知厚生年金会館］

[1992年度 (平4)]

（支 部 長）柘植　新
（副支部長）野村　昇、石塚紀夫、野村俊明
（支部監事）根津弘幸、和田弘子
（庶務幹事）大谷　肇、原　稔

（会計幹事）加藤正直、竹内豊英
（常任幹事）宇井倬二、上田一正、大澤松夫、小島　功、佐々木与志実、柴田久夫、寺前紀夫、西山敦子、舟橋重信、三輪智夫、森　定雄

6月15～17日　第59回有機微量分析研究懇談会
第27回計測自動制御学会質量・力計測部会合同シンポジウム
［飛騨地域地場産業振興センター］

6月24日　講演会［信州大学理学部］
講演：ファインセラミックスを分析する（石塚紀夫）
脱フロン化対策（巳継泰郎）
参加者：132名

7月14日　講演会［富山大学工学部］
講演：クラウンエーテルの分析化学への応用（庄野利之）
酵素を固定化した中空キャピラリー反応管を用いるフローインジェクション分析（小島次雄）
参加者：139名

7月16～17日　第8回パソコンのためのインターフェース回路実習
［東京理科大学神楽坂校舎］
参加者：25名

7月31日　第163回X線分析研究懇談会［トヨタ自動車株式会社］
参加者：22名

8月24～25日　第32回HPLC研究談話会［名城大学］

8月28～29日　第11回夏期セミナー［つどいの丘：全トヨタ労連研修センター］
主題：最新の分析化学から
講演：キナアルカロイドと各種光学異性体間の反応における溶液化学的挙動の差について（鶴房繁和）
キャピラリー電気泳動法による分取装置（藤本忠蔵）
高性能化した熱分解ガスクロマトグラフィーによる高分子の構造キャラクタリゼーション（大谷　肇）
大学院生を中心としたポスターセッション：11件
新製品紹介講演：5件
参加者：62名

9月19日　講演会［名古屋大学シンポジオン］
講演：フッ化物イオンを含む混合配位子錯体の分析化学的意義
（湯地昭夫）
液液界面電荷移動ボルタメントリーとそれによる液液、液膜界面反応の解析（木原壮林）
加速器質量分析による微量放射性核種の高感度分析をその応用
（中井信之）
参加者：66名

10月5～7日　第23回中化連秋季大会［愛知工業大学］
特別討論会主題：クロマトグラフィーにおけるカラムと充填剤
招待講演：3件、依頼講演：12件、一般講演：2件
一般研究発表：分析化学13件、環境化学7件

10月12～13日　第2回基礎及び最新の分析化学講習会［名古屋市工業研究所］

「有機材料分析の基礎及び最新の進歩」（実行委員長：寺前紀夫）
講演：有機材料分析概論（柘植　新）
高分子材料中の添加剤分析（高山　森）
振動分光法による有機材料の熱分析（寺前紀夫）
有機・高分子材料の熱分析（十時　稔）
ガスクロマトグラフィーおよび質量分析法による有機材料分析
（大谷　肇）
核磁気共鳴法による有機材料分析（宇佐美隆生）
液体クロマトグラフィーによる高分子材料分析（寺町信哉）
参加者：100名

11月5日　工場見学会：東京電力横浜火力発電所、キリンビール横浜工場
参加者：40名

[1993年度 (平5)]

（支 部 長）野村　昇
（副支部長）石塚紀夫、宇井倬二、森　定雄
（支部監事）和田弘子、柘植　新
（庶務幹事）原　稔、上蓑義則
（会計幹事）竹内豊英、大澤松夫
（常任幹事）稲毛正彦、上田一正、太田清久、小島　功、中田隆二、西山敦子、野村俊明、平出正孝、藤本忠蔵、三輪智夫、山田真吉

6月28日　訪日学者講演会［豊橋技術科学大学］
講演：　Exploring the Periodic Table with GC-AED (P. C. Uden)
参加者：30名

7月2日　講演会［金沢大学工学部］
講演：高分子を中心としたX線光電子分析 (ESCA)（小川俊夫）
選択的錯生成のための配位子設計（松井正和）
参加者：122名

7月15～16日　第9回パソコンのためのインターフェース回路実習［星薬科大学］
内容：インターフェースの関連した電子回路の講義
A/D変換基板の製作
ソフトウェアの講義ならびにインターフェースの作動確認
講師：内山一美、加藤正直、北川邦行
参加者：20名

8月27～28日　第12回夏期セミナー［ほくりく荘］
主題：分析化学最近の話題から
講演：分析化学と放射能（小村和久）
フィルターを用いる水中の微量成分の濃縮と定量
―アンモニアの前濃縮：吸光光度定量を中心として―
（波多宣子）
超臨界流体クロマトグラフィーの現状（平田幸夫）
大学院生を中心としたポスターセッション：17件

新製品紹介講演：2件
ソフトボール大会、懇親会
参加者：74名

10月4～6日　第24回中化連秋季大会［岐阜大学工学部］
特別討論会主題：新素材および生体・環境試薬の化学測定法の最近の進歩
招待講演：新しい電気化学活性ポリフェロセン薄膜
—水晶振動子測定法による動的挙動の解析（小山　昇）
高速液体クロマトグラフィーによる高分子材料のキャラクタリゼーション（森　定雄）
依頼講演：6件
一般研究発表：分析化学18件、環境化学10件
参加者：70名

10月28～29日　第3回基礎及び最新の分析化学講習会［富山大学］
「環境物質及び生物活性物質の分離と定量分析」
（実行委員長：野村　昇）
講演：微量成分分析のための分離・濃縮の基礎と応用（田口　茂）
原子スペクトル分析の基礎と応用（後藤克己）
電気化学検出法とバイオセンサー（原　稔）
粉末X線分析法による結晶の解析（井上正美）
GC-MSの環境化学分析及び大気化学反応への応用
（長谷川淳）
HPLCによる有機化合物の分離・定量と保持予測（野村　昇）
熱分解法の基礎と応用（島崎長一郎）
NMRによる有機化合物の構造解析と純度測定への応用
（平井美朗）
参加者：85名

12月3～4日　工場見学会：㈱不二越、広貫堂
懇親会：KKR銀嶺
参加者：24名

12月4日　講演会
第19回フローインジェクション分析講演会の招待講演と兼ねる
講演：Novel Detector Cells for Flow Injection and Sequential Injection Analysis in Process and Biotechnology Measurements
(Gary D. Christian)
FIAにおける電解化学発光検出法の進歩（佐藤昌憲）

12月8日　訪日学者講演会［富山工業高等専門学校］
講演：中国主要大学の現状と杭州大学における金属触媒研究
（鄭　小明）
参加者：70名

1月24日　講演会［グランパレホテル］
講演：HPLCの現状と可能性について（中村　洋）
クロマトグラフィーの選択と最適化（鈴木義仁）

3月1日　訪日学者講演会［名古屋大学工学部］

講演： Chemical Analyses of Environmental Object : Problems and Prospects
(B. F. Myasoedov)

参加者：42 名

[1994 年度 (平 6)]

（支 部 長）石塚紀夫
（副支部長）森　定雄、板谷芳京、原口紘忞
（支部監事）柘植　新、野村　昇
（庶務幹事）上蓑義則、太田清久
（会計幹事）大澤松夫、三井利幸
（常任幹事）稲毛正彦、岡田哲男、中田隆二、野路雅英、長谷川淳、平出正孝、藤本忠蔵、本浄高治、三輪智夫、山田碩道

5 月 18～20 日　第 61 回日本分析化学会有機微量分析研究懇談会シンポジウム
［静岡県立大学］

5 月 30 日～6 月 3 日　第 11 回分析的及び応用熱分解に関する国際シンポジウム
［名古屋大学シンポジオン］
11th International Symposium on Analytical and Applied Pyrolysis
参加者：210 名

6 月 10 日　第 11 回イオンクロマトグラフィーフォーラム
［富山勤労総合福祉センター］
参加者：62 名

6 月 11～13 日　第 55 回分析化学討論会
［富山大学人文・社会科学系共通教育棟及び黒田講堂
：実行委員長　後藤克己］
参加者：816 名

6 月 20 日　東海無機分析化学研究会 35 周年記念講演会［名古屋市工業研究所］
参加者：172 名

7 月 8 日　講演会［福井大学教育学部］
講演：ポリマーの高速液体クロマトグラフィー（森　定雄）
イオン選択性電極の理論と応用（千田　貢）
参加者：50 名

8 月 25～26 日　第 10 回パソコンのためのインターフェース回路実習［立教大学］
講義：分析機器と計測技術
A/D 変換ボードの回路構成と製作技術
計測プログラムの書き方
実習：A/D 変換ボードの組立
参加者：24 名

8 月 27～28 日　第 13 回夏期セミナー［山王閣］
講演：ゼオライト骨格におけるアルミニウム原子の規則的配置
（加藤正直）
アゾ化合物と 30 年（和田弘子）
生体関連物質の電子移動（加納健司）
海洋における希土類元素の生物地球化学的循環（増沢敏行）

参加者：62 名

9 月 12～13 日　第 2 回東海高分子基礎研修コース［名古屋逓信ビル］

9 月 20 日　訪日学者講演会［名古屋大学工学部］

講演：Laser Induced Photoacoustic Spectroscopy for the Speciation of Transuranium Elements and Some Fission Products in Aquastic Systems. (Dr. Sergey I. Sincov)

参加者：40 名

11 月 11～12 日　工場見学会：水澤化学工業㈱中条工場、アデランス工芸㈱、㈱クラレ中条工場

宿泊先：胎内パークホテル

参加者：36 名

11 月 17～18 日　第 4 回基礎及び最新の分析化学講習会［名古屋市工業研究所］

「材料開発を支える分析化学」（実行委員長：石塚紀夫）

講演：材料分析総論（石塚紀夫）
前処理（分離濃縮）（平出正孝）
高感度分析（ICP-AES, ICP-MS, GD-MS）（河口広司）
走査プローブ顕微鏡（野副尚一）
表面・状態分析（AES,XPS,SIMS）（二瓶好正）
セラミックス材料（上蓑義則）
金属材料のキャラクタリゼーション－その方法と最近の進歩－（佐藤公隆）
高分子材料（宇佐美隆生）
フラーレン（神野清勝）

聴講者：53 名

11 月 25 日　講演会［愛知工業大学付属図書館視聴覚室］

講演：イオン性化学種の抽出とその応用（後藤克巳）
アゾ系呈色試薬の開発とフロー分析法への応用（和田弘子）
レーザー気化 ICP 質量分析法によるセラミックス焼結体の表面・局所・深さ分析（柳沢雅明）

参加者：90 名

11 月 28 日　講演会［三重大学工学部］

講演：超微量分析と微量元素化学（原口紘炁）
超微量成分分析におけるストリッピングボルタンメトリーの現状と将来（三輪智夫）

参加者：70 名

1 月 25 日　訪日学者講演会［名古屋工業技術研究所］

講演：Recent Developments in Ion Chromatography and Capillary Zone Electrophoresis of Inorganic Ions. (Prof. Poul R Haddad)

3 月 3 日　東海化学工業会講習会［名古屋市工業研究所］

[1995 年度 (平 7)]

（支 部 長）森　定雄
（副支部長）野村俊明、佐々木与志実、三輪智夫

（支部監事）野村　昇、石塚紀夫、宇井倬二
（庶務幹事）太田清久、中村俊夫
（会計幹事）三井利幸、田中智一
（常任幹事）会澤宣一、大谷　肇、岡田哲男、形見武男、金子紀男、酒井忠雄、永長幸雄、野路雅英、長谷川淳、本浄高治、柳沢雅明、山田碩道

6月23日　講演会［富山大学理学部］
講演：イオン会合に発現する特異現象と分別分析への応用（酒井忠雄）
水晶発振子の分析化学への応用（野村俊明）
参加者：61名

7月10日　訪日学者講演会［岐阜大学工学部］
講演：中国における分析化学の最近の動向（金　利通）
参加者：25名

7月12日　訪日学者講演会［名古屋工業技術研究所］
講演：ラマン分光法の展望と材料評価への応用 (B. Schrader)
参加者：20名

7月13～14日　第12回イオンクロマトグラフィーフォーラム［紅陵閣］
討論主題：イオンクロマトグラフィーの新応用分野への展開

7月17日　講演会［静岡大学工学部］
講演：水晶発振子をデバイスとする分子認識の動的解析（岡畑恵雄）
酸化還元酵素と電極反応の共役とその応用（加納健司）

8月25～26日　第14回夏期セミナー［恵那峡グランドホテル］
講演：ファインセラミックスの赤外分析（柘植　明）
細管内流動に伴う試料溶質の対流・拡散現象解析装置の開発（伊永隆史）
微粒子分析の新しいアプローチ（野水　勉）
新製品紹介講演：4件
ソフトボール大会
参加者：61名

9月25～27日　第26回中部化学関係学協会支部連合秋季大会特別討論会［信州大学松本キャンパス］
討論主題：計測化学の新しい展開

10月12～13日　第3回東海高分子基礎研修コース［名古屋国際会議場］

10月16～17日　第5回基礎及び最新の分析化学講習会［名古屋市工業研究所］
「環境アセスメントのための分析技術」（実行委員長：酒井忠雄）
基調講演：環境分析値の信頼性（赤岩英夫）
講演：環境アセスメントにおける環境基準値の位置づけとその法体系（阪野二郎）
前処理 ―微量成分分析のための試料の取り扱い―（野村俊明）
原子スペクトル分析の基礎と応用（内田哲男）
フローインジェクション分析法による化学分析の自動化と高度化（本水晶二）
大気分析の展望 ―有害有機汚染物質の分析技術―（白根義治）
環境試料へのICP-MSの応用（江藤　徹）
電気化学的方法による環境試料のためのスペシエーション

（三輪智夫）
クロマトグラフィーを用いるイオンの分離と検出（岡田哲男）
環境分析に適したイオンクロマトグラフの開発と実試料への応用（西村雅之）
モニタリングのための流れ分析法の基礎（竹内豊英）
流れ分析を利用した自動化学分析システム（黒石忠文）
HPLC の環境試料分析への応用―水中農薬分析を中心として―（日比清勝）
GC/MS を用いる環境分析技術―水質分析から大気分析まで―（松岡広和）
参加者 72 名

11 月 7 日　東海化学工業会講習会［名古屋市工業研究所］
全体テーマ：最近のヒット商品開発の方法論－成功の秘訣、重要ファクターは何か？

11 月 8 日　日本化学会東海支部愛知地区講演会［愛知工業大学付属図書館視聴覚室］
講演：熱分解ガスクロマトグラフィーによる高分子材料解析の最近の進歩（柘植　新）
弾性ポリウレタンの新分野の展開（古川睦久）

11 月 18～19 日　分析化学会若手勉強会　第 1 回中部支部分析化学フォーラム in 北陸［うみの宿「さえ」］
参加者 20 名

12 月 1～2 日　工場見学会：㈱小布施堂、新光電気工業㈱
参加者：25 名

12 月 4 日　訪日学者講演会［三重大学工学部］
講演：Characterization of Polymers by Different Chromatographic Techniques (B. Trathnigg)
参加者：25 名

12 月 5 日　分析化学会若手勉強会　分析中部・ゆめ 21 企画［名古屋大学工学部］
参加者：24 名

1 月 16 日　講演会［名古屋大学シンポジオン］
講演：太陽系の有機物－模擬実験生成物の分析を中心に（小林憲正）
レーザーアブレーション法による鉄鋼材料等の分析（望月　正）
参加者：51 名

3 月 2 日　東海化学工業会講習会［名古屋市工業研究所］
全体テーマ：いま話題の新技術・最新情報

[1996 年度 (平 8)]

（支 部 長）野村俊明
（副支部長）三輪智夫、長谷川淳、酒井忠雄
（支部監事）宇井倬二、森　定雄
（庶務幹事）中村俊夫、竹内豊英
（会計幹事）田中智一、大野典子

（常任幹事）会澤宣一、大谷　肇、笠原一世、形見武男、金子紀男、島田和武、高山　森、津田孝雄、永長幸雄、藤本忠蔵、柳沢雅明

4月18日　訪日学者講演会［名古屋大学工学部］
講演：Analytical Applications and Fundamental Studies on High-Efficiency Nebulization Systems for Plasma Spectrometry　(Prof. A. Montaser)
参加者：41名

6月21日　講演会［金沢大学理学部］
講演：発ガン性ニトロアレーンの分析法開発と大気汚染の現状（早川和一）
核融合炉から漏洩するトリチウムの紫外線促進酸化反応とそのトリチウム回収装置への適応性（長谷川淳）
参加者50名

7月5日　訪日学者講演会［岐阜大学工学部］
講演：化学修飾電極の開発とその応用（徐　金瑞）
参加者：35名

7月5日　分析化学会若手勉強会　第2回中部支部分析化学フォーラムin北陸
学術講演：ビタミンD代謝物分析法の開発（島田和武）
研究紹介講演：7件
参加者：41名

7月18日　訪日学者講演会［福井大学地域共同センター］
講演：Ion Chromatographic Separations of Ionic Species with Newer Aromatic Eluents (Mool Chand Mehra)
参加者：18名

7月25～26日　第11回パソコンのためのインターフェース回路実習［名古屋大学工学部］
講師：内山一美、加藤正直、北川邦行、嶋崎保任
参加者：12名

8月23～24日　第15回夏期セミナー［呉羽ハイツ］
講演：エコテクノロジーと分析化学（丁子哲治）
プラズマイオン源質量分析法による固体試料の直接分析（田中智一）
含窒素環多座配位子による金属イオンの選択的認識（平山直紀）
ポスターセッション：27件、新製品紹介：2件
参加者：94名

10月1～3日　第27回中部化学関係学協会支部連合秋季大会［名古屋工業大学］
特別討論会主題：21世紀に向けて分析化学がはたすべき役割
招待講演：地球環境問題と分析化学－酸性雨に関して富士山および富士山の観測を中心に－（土器屋由紀子）
依頼講演：環境モニタリングシステムとしての自動逆相HPLCによる重金属の同時定量（一ノ木進、山崎　満）
非水溶液用高分子模型化学センサーの開発とその応用（中村俊夫）
ハロゲン化物イオンの反応と制御と分離・濃縮・検出（湯地昭夫）

10月24～25日　先端技術国際フォーラム名古屋 "NAIS' 96" ［名古屋市工業研究所］
10月31日　講演会［名古屋大学豊田講堂］
講演：海水中の天然有機配位子の存在と錯体化学的アプローチ
（緑川　貴）
放射光X線状態分析の応用－考古学からリチウム2次電池まで
（中井　泉）
11月5日　講演会［じばさん三重］
講演：21世紀型の分光法：ケモメトリクスと二次元赤外分光
（尾崎幸洋）
Molecular Heterogeneity Analysis of Polymers by Liquid Chromatographic Techniques (H. Pash)
11月6日　東海化学工業会セミナー［名古屋市工業研究所］
11月11～12日　第6回基礎及び最新の分析化学講習会［名古屋市工業研究所］
「21世紀に向けての分析技術」（実行委員長：三輪智夫）
講演：原子スペクトル分析の基礎と将来の展望（太田清久）
無機材料の分析と評価（飯田康夫）
電気化学分析法とバイオセンサーの新展開（永長幸雄）
分析化学の課題（合志陽一）
薄膜評価と表面分析（篠山哲明）
分析化学におけるエレクトロニクス／コンピュータホビイスト
（北川邦行）
クロマトグラフィーの新展開（津田孝雄）
高分子分析（最近の進歩）（永田公俊）
キャピラリー電気泳動の基礎とキャピラリーエレクトロマトグラフィーの実際（藤本忠蔵）
有害大気汚染物質分析方法について（前田恒昭）
生体試料分析へのフローインジェクション法の応用（大野典子）
参加者：54名
11月15日　分析化学若手勉強会　第3回中部支部分析化学フォーラムin北陸
［ほくりく荘］
研究発表
参加者：19名
11月30日～12月1日　分析化学会若手勉強会　分析中部・ゆめ21企画
若手研究交流会［愛知青少年会館］
12月5日　第2回フローインジェクション分析 (FIA) 技術講習会
［名古屋市工業研究所］
講義：FIAの原理と基礎（酒井忠雄）
環境分析のためのFIA（本水昌二）
電位差検出器を用いるFIA（今任稔彦）
オンラインカラムを用いるFIA（小熊幸一）
12月6日　第27回フローインジェクション分析講演会［名古屋市工業研究所］
講演：プラズマ分光分析と流れ分析法の結合－Chemical Analysis からChemical Speciation へ－（原口紘炁）
反応熱によるビーム偏向計測法の開発と応用

（保母敏行、呉　行正）

12月9～10日　　第16回キャタピラリー・電気泳動シンポジウム［名古屋工業大学)］

[1997年度 (平9)]

（支 部 長）三輪智夫
（副支部長）原口紘忝、本浄高治、山田碩道
（支部監事）森　定雄、野村俊明
（庶務幹事）竹内豊英、猿渡英之・千葉光一
（会計幹事）大野典子、飯田康夫
（常任幹事）笠原一世、加藤正直、篠原直行、島田和武、高山　森、津田孝雄、中田隆二、藤本忠蔵、増沢敏行

3月28日　　訪日学者講演会［名古屋大学工学部］
講演：The Thermal Behavior of Two Different Polymeric Systems : an Acrylonitrile-EPDM-Styrene (AES) Resin and Highly Stereoregular Poly(methacrylic acid)s　(Dr. Massimo Lazzari)
参加者：25名

4月25日　　第1回分析化学のためのケモメトリック討論会［名古屋市工業研究所］

6月20日　　講演会［北陸公衆衛生研究所］
講演：環境科学業務への機器分析の適用とその分析法の開発
（角　昭美）
超微量分析法の最近の動向（三輪智夫）
参加者：70名

7月18日　　講演会［愛知工業大学付属図書館視聴覚室］
講演：サイズ排除クロマトグラフィーと高分子分析（森　定雄）
膜を用いる固相抽出の設計を微量成分分析への応用（田口　茂）
光マニピュレーションと微粒子の分光分析（笹木敬司）
参加者：70名

7月23日　　訪日学者講演会［名古屋工業大学］
講演：Modern Developments in LC and CE ; Towards Better Separations
(Prof. Hans Poppe)
参加者：15名

7月24～25日　　第12回パソコンのためのインターフェース回路実習［星薬科大学］
講師：北川邦行、内山一美、嶋崎保任、加藤正直
参加者：13名

8月2日　　特別講演会［名古屋ガーデンパレス］
講演：21世紀の環境と暮らし　化学者が考える21世紀の豊かな暮らし（山寺秀雄）

8月22～23日　　第16回夏期セミナー［三河ハイツ］
主題：21世紀を見すえて
講演：私が日々直面する分析化学教育における問題点（角田欣一）
分析化学 －“見る”と“測る”－ は科学・技術の原点をめざす
（千葉光一）
逆相液体クロマトグラフィー系における物質移動現象

（宮部寛志）

ポスター発表：31 件
参加者：99 名

10 月 4～5 日　第 28 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会
［静岡大学浜松キャンパス］
特別討論主題：流れ系を利用する化学計測の新展開
クロマトグラフィー分野
招待講演：柘植　新
依頼講演：野水　勉、岡田哲男、藤本忠蔵
フローインジェクション分析分野
招待講演：山根　兵
依頼講演：大野典子

10 月 16 日　訪日学者講演会［三重大学工学部］
講演：Coupled Procedures in Liquid Chromatography of Complex Polymers
(Dr. Dusan Berek)
参加者：20 名

11 月 6～7 日　第 7 回基礎及び最新の分析化学講習会［名古屋工業大学］
「材料分析とデータの取り扱い」（実行委員長：山田碩道）
講演：高分子材料分析の基礎と応用（大谷　肇）
キャピラリー分離分析法の基礎（竹内豊英）
測定データの信頼性向上のための統計的処理法（三井利幸）
新しい光・電子機能性無機材料の創成とキャラクタリーゼーション―イオン注入による酸化物ガラス・アモルファス材料の高機能化へのアプローチ―（細野秀雄）
材料の進歩に伴う分析化学（柘植　明）
セラミックス及び原料の分析とデータ処理―蛍光 X 線分析、ICP 発光分光分析を中心として―（生川　章）
新薬の開発に於ける高速液体クロマトグラフィーの利用
（松岡洋子）
生薬及び漢方薬の理化学的品質評価について（横田洋一）
分析・試験の許容差について ―ISO 5725、JIS Z 8402 を中心として―（仁科　健）
計量法トレーサビリティ制度に基づく標準物質と得られるデータの信頼性（伊東　哲）
試験所認定制度 (ISO) とファインセラミックス材料分析
（柳澤雅明）
参加者：57 名

11 月 7～8 日　分析中部・ゆめ 21 企画：第 4 回分析化学フォーラム in 北陸
［雨晴ハイツ］

11 月 14 日　講演会［信州大学工学部］
講演：裁判化学と微量分析（三井利幸）
生体における微量金属元素の働き（原口紘忞）
参加者：126 名

12 月 20 日　分析中部・ゆめ 21 企画：第 2 回若手交流会［名古屋工業大学講堂会

議場]

3月14日　第178回X線分析研究懇談会（名古屋市工業研究所）
講師：文殊四郎秀昭、原　民夫
参加者：25名

[1998年度 (平10)]

〔中部支部創立40周年〕
（支 部 長）原口紘炁
（副支部長）舟橋重信、酒井忠雄、永長幸雄
（支部監事）野村俊明、三輪智夫
（庶務幹事）千葉光一、平出正孝
（会計幹事）飯田康夫、安井孝志
（常任幹事）上田一正、太田清久、形見武男、加藤正直、篠原直行、田口　茂、豊岡利正、中田隆二

3月24日　訪日学者講演会［名古屋大学工学部］
講演：Lessons Learned from the First Ladies Collection of the Smithonian Institution　(Dr. Mary A. Becker)
参加者：25名

4月2日　訪日学者講演会［名古屋大学工学部］
講演：Novel Micronebulizers and New Aerosol Diagnostics Methods for Analytical Plasma Spectrometry　(Prof. Akbar Montaser)
参加者：25名

4月24日　第2回分析化学のためのケモメトリック討論会［名古屋市工業研究所］

6月19日　講演会［富山大学教育学部］
講演：重金属と指標植物―自然の回復（本浄高治）
生理活性物質の検知・分子センサー（梅沢喜夫）
参加者：75名

7月23～24日　第13回パソコンのためのインターフェース回路実習［名古屋大学工学部］
講師：北川邦行、嶋崎保任、加藤正直
参加者：9名

8月20日　講演会［岐阜　未来会館］
講演：岐阜県における廃棄物規制等の現状（松岡由尚）
廃棄物焼却における有害物質（形見武男）
岐阜大学における特別管理産業廃棄物と排水の管理（左合　勉）
参加者：30名

8月29～30日　第17回夏期セミナー［いこいの村愛知］
講演：電子移動のメカニズム（高木秀夫）
裁判化学試料への多変量解析法の適用（肥田宗政）
海水中微量元素の動態の解明に向けて（宗林由樹）
参加者：84名

10月3～4日　第29回中部化学関係学協会支部連合秋季大会［豊橋技術科学大学］
特別討論主題：界面場を利用した分析法

講師　招待講演：野村俊明
　　依頼講演：塚原　聡、木曽祥秋

10月6～8日　日本分析化学会第47年会［岐阜大学：実行委員長　三輪智夫］
参加者：1,528名

10月8～9日　分析21世紀基金企画「いぬやま会議」［サンパーク犬山］

10月30～31　分析中部・ゆめ21企画：第5回分析化学フォーラムin北陸
［福井県立　鯖江青年の家］

11月9～10日　第8回基礎及び最新の分析化学講習会［名古屋市工業研究所］
「分析技術の信頼性と複合化・微視化・自動化」
（実行委員長：酒井忠雄）

講演：総論 ―化学分析と機器分析の融合をめざして―（原口紘炁）
プラズマ分光分析法の基礎（千葉光一）
化学分析の信頼性と国際対応（ISO/GUIDE25、ISO14000など）
（久保田正明）
ICP/AESによる非酸化物系ファインセラミックス中の微量不純物分析（横田文昭）
顕微分光技術と有機材料の局所分析（寺前紀夫）
液体クロマトグラフィフィーの到達点と将来（竹内豊英）
HPLCに使用する最新の検出器とその応用（垣見英登）
機能性FIAとダウンサイジング（酒井忠雄）
分析値の信頼性とトレーサビリティー（小野昭紘）
ガスクロマトグラフィー／質量分析法による高分子材料分析
（大谷　肇）
環境大気、室内空気中のVOCs分析におけるGC-MSの応用
（世古民雄）

参加者：51名

（中部支部創立40周年記念誌からの転載，一部修正・追加）

[1999 年度(平 11)]

(支　部　長)舟橋重信(副支部長)酒井忠雄、原　　稔、山円碩道(支部監事)三輪智夫、原口紘忞
(庶務幹事)平出正孝、手嶋紀雄(会計幹事)安井孝志、大谷　肇
(常任幹事)上田一正、太田清久、大野典子、中村俊夫、田口　茂、豊岡利正、角　昭美、森川　久

6 月 4 日　講演会[金沢大学工学部]
講演:マイクロマシーン技術と生体機能解析(民谷栄一)
金属イオンの動的キャラクタリゼーション(舟橋重信)
参加者　145 名

7 月 13 日　講演会[名古屋工業大学]
講演:これまでの実験とこれからの実験を見て:分析の果たす役割(長岡俊治)
宇宙酔いの基礎実験:鯉による感覚混乱説の証明(森　滋夫)
ガマアンコウの神経活動電位計測実験について(崎村　徹)
微少重力下におけるフリーフロー電気泳動(廣川　健)
ファイバーオプティクスによる化学量センサーの開発
ーO2を主として、CO2・pHー(鳥羽栄治)
微少重力下におけるクロマトグラフに必要な特性(津田孝雄)
参加者　60 名

7 月 16 日　講演会[静岡県長泉町コミュニティーホール]
講演:放射光施設の現状(柳下　明)
放射光蛍光X線分析の応用(中井　泉)
参加者　52 名

8 月 28～29 日　第 18 回分析化学中部夏期セミナー[三重県二見町富士見館]
講演:ファインセラミックスの分析技術(上蓑義則)
知ることと"はかる"こと(紀本岳志)
参加者　97 名

10 月 2 ～3 日　第 30 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会[三重大学工学部]
ミニシンポジウム:クロマトグラフィーのニューフロンティア

10 月 23～24 日　分析中部・ゆめ 21「若手交流会'99」[愛知県津島勤労福祉会館]
参加者　36 名

10 月 25 日　訪日学者講演会[豊橋技術科学大学]
講演:Micro- and Nano-Chemical Analysis Using Capillary Electrophoresis(Luis A. Colon)

11 月 18～19 日　第 9 回基礎及び最新の分析化学講習会[名古屋工業大学]
講師:渡辺光義、柳澤雅明、丹羽滋郎、赤羽勤子、濱地光男、平出正孝、出口義国、
湯地昭夫、手嶋紀雄、津田孝雄
参加者　59 名

11 月 22 日　訪日学者講演会[岐阜大学工学部]
講演:Liquid Chromatography of Metal Ion Determinations(Dr. Maria Concetta Bruzonitti)
参加者　28 名

12 月 20 日　訪日学者講演会[福井大学地域共同センター]
講演:Polyphenol Chemistry (Food Factors and the Prevention of Habitual Disease)(Prof. Joe A. Vinson)
参加者　25 名

[2000 年度(平 12)]

(支　部　長)酒井忠雄(副支部長)山田碩道、上田一正、山田真吉(支部監事)原口紘炁、舟橋重信
(庶務幹事)手嶋紀雄、大野典子(会計幹事)大谷　肇、小澤忠夫
(常任幹事)内田哲男、角　昭美、川島哲哉、竹内豊英、丁子哲治、中村俊夫、平山直紀、望月明彦、森川　久

3 月 7 日　訪日学者講演会[名古屋工業大学]
講演:Advances in Silica Chemistry – Impact on Separation Science and Technology(Prof. Klaus K. Unger)
参加者　30 名

6 月 16 日　講演会[福井大学教育地域科学部]
講演:地球システムの多元素プロファイリングアナリシス(原口紘炁)
地球温暖化の現状と今後(川平浩二)
参加者　274 名

6 月 24 日　講演会[三重大学工学部]
講演:都市大気中粒子状物質の状態(船坂邦弘)
ダイオキシン類の分析(橋本俊次)
大気粒子状物質の状態分析(岩附正明)
参加者　50 名

7 月 28 日　講演会[愛知工業大学]
講演:気相試料導入ープラズマ分光分析法による非金属分析(中原武利)
超微量成分の新規電気化学検出法について(三輪智夫)
国を揺るがす微量元素(平井昭司)
参加者　53 名

8 月 7 日　訪日学者講演会[愛知工業大学工学部]
講演:Solid Phase Spectroscopy Methods for Determination of Some Air Pollutants(Prof. Serguei Kachin)
参加者　25 名

8 月 25～26 日　第 19 回分析化学中部夏期セミナー[石川県羽咋郡志賀町いこいの村]
講演:金属リン酸塩共沈法を用いる微量金属の分離濃縮・定量(加賀谷重浩)
バイオセンサーからバイオラボチップへ
ー微細加工技術の基礎と分析化学への応用ー(村上裕二)
遷移金属錯体の新規な反応性の構築とその応用への展開」(會澤宣一)
参加者　99 名

9 月 29～30 日　第 31 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会[愛知工業大学]
特別討論会:錯形成反応を利用する分離・検出の最前線

10 月 20～21 日　「分析中部・ゆめ 21」若手交流会'00[(株)インテック大山研修センター]
参加者　51 名

10 月 27 日　訪日学者講演会[名古屋大学工学研究科]
講演:Analytical Pyrolysis in Hamburg(Dr. Dietrich Meier)
参加者　15 名

11 月 16～17 日　第 10 回基礎及び最新の分析化学講習会[1 日目:フェニックス・プラザ;2 日目:北陸公衆衛生研究所]
講師:田口　茂、千葉光一、三浦潤一郎、豊田昌宏、酒井忠雄、
樋口慶郎、鈴木規之、小川俊夫、早川和一、滝埜昌彦
参加者　62 名

[2001 年度(平 13)]

(支　部　長)山田碩道(副支部長)山田眞吉、角　昭美、平出正孝(支部監事)舟橋重信、酒井忠雄
(庶務幹事)大野典子、加藤正直(会計幹事)小澤忠夫、藤本忠蔵(常任幹事)内田哲男、川島哲哉、齋藤　徹、
神野清勝、竹内豊英、丁子哲治、柘植　明、中田隆二、樋上照男、平山直紀、望月明彦

6 月 1～3 日　第 62 回分析化学討論会[信州大学旭キャンパス;実行委員長　野村俊夫]

6 月 18 日　講演会[富山県民会館]
講演:溶媒抽出における混合溶媒の有用性(山田碩道)
陸水に影響を及ぼす酸性雨の分析(川上智規)
参加者　78 名

8 月 10 日　訪日学者講演会[名古屋大学工学研究科]
講演:Liquid Chromatography and Capillary Electrophoresis of N-containing Organic Compounds
(Prof. Oleg Shpign)
参加者　25 名

8 月 21～22 日　第 20 回分析化学中部夏期セミナー[大垣フォーラムホテル]
講演:プレカラムキレート化／逆相 HPLC による金属イオンの高感度同時定量法
－分析化学中部夏期セミナーの過去，現在，未来－(一ノ木　進)
参加者　91 名

9 月 25～26 日　第 11 回基礎及び最新の分析化学講習会[名古屋市工業研究所]
講演:[主題]環境・安全・リサイクルと分析化学
難処理人工物と環境保全・リサイクル(山内睦文)
大学における廃棄物処理・リサイクルと分析化学(原口紘炁)
ICP-AES 及び ICP-MS による環境分析(中原武利)
内分泌攪乱化学物質の分析とリスク評価(中澤裕之)
環境中のダイオキシン類の分析(石橋耀一)
ポリマーを用いる分析前処理の効率化と環境浄化(齋藤　徹)
安全工学と分析化学(三井利幸)
試験・研究機関における化学物質の安全管理(藤川敬浩)
感染症予防のための分子設計と分析化学(西田芳弘)
環境分析の信頼性と社会への影響(形見武男)
参加者　48 名

10 月 5～6 日　第 32 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会[岐阜大学柳戸キャンパス]
特別討論会:社会に貢献する分析化学
講演:大気汚染をモニターする分析化学(酒井忠雄)
科学捜査に貢献する分析化学(三井利幸)
高分子材料開発におけるニーズと熱分解分析法(大谷　肇)
環境に対してもくろみのある有機微量元素分析(森　薫輝)
環境測定における分析化学(形見武男)
環境材料工学と分析化学(丁子哲治)
キャピラリー電気泳動による高性能分離分析－プロテオミクスと環境分析への応用－(大塚浩二)
世界の標準化に貢献する分析化学(千田正昭)
参加者　30 名(全体で 750 名)

11 月 30 日　講演会[信州大学理学部]
講演:界面活性剤を用いる分離媒体の設計と微量計測工学への応用(平出正孝)
検出器としての水晶発振子のあゆみ(野村俊明)
参加者　46 名

12 月 7 日　講演会[豊橋技術科学大学]
講演:私達人間とはーゲノム，遺伝子，DNA ってどうやってはかるの？(馬場嘉信)
近未来の健康管理－極微量血液から健康を診断するヘルスケアチップとは？(堀池靖浩)
環境測定－地球を見る手法とは？(田中敏之)
参加者　85 名

12 月 7～8 日　「分析中部・ゆめ 21」若手交流会'01[高山市民文化会館]
講演:留学体験記　(石田康行，呉　行正)
参加者　48 名

[2002 年度(平 14)]

(支　部　長)山田眞吉(副支部長)平出正孝、田口　茂、竹内豊英(支部監事)酒井忠雄、山田碩道
(庶務幹事)湯地昭夫、齋藤　徹(会計幹事)藤本忠蔵、肥田宗政
(常任幹事)一ノ木進、宇野文二、太田清久、笠原一世、神野清勝、柘植　明、中田隆二、樋上照男

6 月 21 日　講演会[金沢大学]
講演:イオン交換分離法とその応用(小松　優)
局所領域における生体分子の機能評価と応用(末永智一)
参加者　67 名

8 月 31～9 月 1 日　第 21 回分析化学中部夏期セミナー[国民年金保養センター]
中部分析化学奨励賞受賞記念講演:
熱分解分析法およびパルスレーザーイオン化質量分析法による
合成および天然高分子材料の新しい分析法の開発(佐藤浩昭)
講演:溶媒抽出法と金属イオンの分離(國仙久雄)
参加者　87 名

10 月 5～6 日　第 33 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会[名古屋工業大学]
講演:[主題]微小場にアプローチする分析化学的手法
マイクロ電気泳動チップによるハイスループットアッセイ(脇田慎一)
動物プランクトンの個体識別分析への挑戦(大谷　肇)
ニューロン細胞膜に形成される拡散障壁:一分子観察・操作法によるアプローチ(中田千枝子)
ラット松果体メラトニンリズムの特徴　－マイクロダイアリシスによる知見(中原大一郎)
固定化単層膜リポソームクロマトグラフィーを用いた生体分析(劉　学宝)
可視光反射を用いた固液界面の解析(大塚敏明)
光電気化学エッチングにより創製したナノポーラス酸化チタンの表面構造解析(杉浦　隆)
参加者　30-40 名

10 月 18 日　講演会[名古屋大学 VBL]
講演:バイオミメティック材料プロセシング(高井　治)
クロマトグラフィーによるキラル分離法の発展(保母敏行)
神経活動の可視化解析(工藤佳久)
参加者　59 名

10 月 24～25 日　第 12 回基礎及び最新の分析化学講習会[名古屋市工業研究所]
講演:[主題]環境保全を支える分析・処理技術
固相抽出による環境汚染物質の分離分析システム(中村　基)
有機廃液の超音波処理(香田　忍)
化学物質排出把握管理促進法の概要(葛谷弘之)
実験系廃棄物の管理・処理と分析技術(加賀谷重浩)
オンラインマイクロ固相抽出－液相分離(神野清勝)
多変量解析法の環境分析への応用(肥田宗政)
難処理化合物の処理とリサイクル(藤澤敏治)
超臨界水による環境汚染物質の処理(佐古　猛)
廃液の電解処理プロセス(須藤雅夫)
環境汚染物質の光触媒分解(太田清久)
参加者　40 名

11 月 8 日　講演会[岐阜薬科大学]
講演:カーボンナノチューブの世界－21 世紀の機能性素材－(齋藤弥八)
環境調和型物質変換プロセス
－社会のニーズに応えるグリーンケミストリー－(田中秀雄)
参加者　57 名

11 月 15～16 日　「分析中部・ゆめ 21」若手交流会・第 2 回高山フォーラム[高山市民文化会館]
プチシンポジウム:ドクターに行くって?
参加者　64 名

[2003 年度(平 15)]

(支　部　長)平出正孝(副支部長)田口　茂、中村俊夫、三井利幸(支部監事)山田碩道、山田眞吉
(庶務幹事)齋藤　徹、笠原一世→加賀谷重浩(会計幹事)肥田宗政、森川　久
(常任幹事)一ノ木進、宇野文二、太田清久、篠原直行、平田幸夫、藤本忠蔵、湯地昭夫、吉村忠与志

6 月 13 日　講演会[福井大学]
講師:渡會　仁、平出正孝
参加者　106 名

7 月 14 日　講演会[浜松医科大学]
講師:三井利幸、丹羽利充
参加者　207 名

8 月 20～21 日　第 22 回分析化学中部夏期セミナー[ポートヒル芳泉]
受賞講演:加藤　大、金子　聡
参加者　114 名

9 月 9～10 日　第 34 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会[信州大学繊維学部]
主催:中部化学関係学協会支部連合協議会
特別討論会:[主題]分析化学における新しい化学反応および化学的相互作用
講演者:[招待講演]中村俊夫、津田孝雄
[依頼講演]平山直紀、齋藤　徹
参加者　約 50 名

10 月 23～24 日　第 13 回基礎及び最新の分析化学講習会[信州大学理学部]
講演:[主題]地球環境保全のための水質と化学物質の管理、および廃棄物処理とリサイクル
光焦電分光法による環境水中の微量成分の定量(樋上照男)
ICP-MS による下水試料の元素分析とその挙動調査(浅井健好)
ダイオキシン類の環境測定分析(小澤秀明)
長野県における化学物質の排出実態及びダイオキシン類対策(横浜寿一)
セイコーエプソンの環境活動と化学物質管理(大野好弘)
溶液中の陰陽イオン濃度と pH 測定の基礎(中村俊夫)
イオン電極法による水質測定と水質管理への適用(西谷真澄)
ISFET 電極による水素イオン濃度(pH)の測定(曽　海生・中島久美子)
水質現場分析のための固相抽出分離とストリッピングボルタンメトリー(古庄義明)
参加者　48 名

11 月 8 日　訪日学者講演会[愛知工業大学]
講演:Flow-Based Techniques for Most Cost Effective Analysis(Dr. Kate Grudpan)
参加者　38 名

11 月 28 日　講演会[産業技術総合研究所中部センター]
講師:岡本研作、日置昭治
参加者　24 名

11 月 28～29 日　中部若手交流会第 3 回高山フォーラム[高山市民文化会館]
講師:伊藤彰英、津越敬寿、丹羽啓誌、奥村典子
参加者　62 名

[2004 年度(平 16)]

(支　部　長)田口　茂(副支部長)中村俊夫、小川俊夫、太田清久(支部監事)山田眞吉、平出正孝
(庶務幹事)加賀谷重浩、樋上照男(会計幹事)森川　久、伊藤彰英→藤森英治
(常任幹事)長谷川浩、形見武男、鈴木　透、篠原直行、平田幸夫、菅野秀明、北川慎也、吉村忠与志

4 月 1 日　訪日学者講演会[愛知工業大学]
講演:The Use of As-Grown, Anodized and Modified Boron-Doped Diamond for the Electroanalysis
(Dr. Orawon Chailapakul)
参加者　25 名

6 月 18 日　講演会[富山大学工学部]
講演:分析値のトレーサビリティと産総研での無機標準の開発(日置昭治)
膜による固相抽出と環境分析(田口　茂)
参加者　70 名

7 月 27 日　講演会[愛知工業大学総合技術研究所]
講演:ジルコニウム(IV)の反応性を活かした陰イオンの分離・濃縮・検出(湯地昭夫)
液液, 液膜界面電気化学の新展開(木原壯林)
流れ分析法の特長と新展開(山根　兵)
参加者　65 名

9 月 9～10 日　第 23 回分析化学中部夏期セミナー[ウェルサンピア伊勢]
講演:火炎・プラズマの二次元分光(北川邦行)
研究で体験する発見と創製の喜び(酒井忠雄)
参加者　81 名

9 月 17～18 日　第 35 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会[名古屋大学]
特別討論会:[主題]環境と健康に貢献する分析化学
招待講演:糖鎖認識を活用する機能材料(小林一清)
依頼講演:LS/MS を用いたアセトアルデヒド由来 DNA 損傷の研究(江坂幸宏)
水銀雨の実態調査に向けた多点観測用水銀計測法(加賀谷重浩)
生体機能を利用したハイスループット解析法の開発(加藤　大)
ヒト末梢血単球を用いた微量環境汚染化学物質の
免疫毒性及び免疫攪乱作用の高感度評価法(櫻井照明)
血清金属分析の自動化とミクロ化－病態診断に向けて－(手嶋紀雄)
産業廃棄物焼却灰の多元素キャラクタリゼーション
－都市鉱物としての可能性を中心として－(藤森英治)
参加者　45 名

10 月 15 日　講演会[三重大学工学部]
講演:分析化学の社会的役割と学問としての体系化の提案(岩附正明)
炭素質隕石中の有機物の分析と生命の起源の探索(下山　晃)
参加者　33 名

11 月 11～12 日　第 14 回基礎及び最新の分析化学講習会[金沢工業大学]
講演:[主題]環境計量士を目指す方への講習と講演
環境計量に関する関連法規(広田春水)
経気道曝露環境ホルモンとその測定(早川和一)
環境計量士のための原子吸光分析法(太田清久)
ISFET pH メータを用いた微小サンプル測定(小池昌明)
元素分析のための固相抽出法を利用した分離精製技術(古庄義明)
イオン電極法による水質測定と水質管理への適用(西谷真澄)
実際試料中の重金属の逆相 HPLC 分析法(一ノ木進)
GC-MS を用いた農薬分析について(中川勝博)
ISO/IEC17025 試験所認定と化学試験分野での取得事例(田端裕之)
環境とリスク(土佐光司)
参加者　35 名

11 月 26～27 日　「分析中部・ゆめ 21」若手交流会第4回高山フォーラム［高山市民文化会館］
討論会：［主題］会社とはこんなとこ
分析会社で働くということ（佃由美子）
日本ガイシ(株)における化学分析（岩出昌也）
研究と謂うお仕事，分析と謂うお仕事（西根　勤）
アネルバテクニクス(株)におけるイオン付着質量分析計(IAMS)の開発（中村　恵）
分社化会社ってこんなとこ（森　敦）
講演：ラボックいいとこ，もいちど行きたい（手嶋紀雄）
参加者　50 名

[2005 年度(平 17)]

(支　部　長)中村俊夫(副支部長)太田清久、上蓑義則、島田和武(支部監事)田口　茂、平出正孝
(庶務幹事)樋上照男、勝又英之(会計幹事)藤森英治、肥田宗政(常任幹事)小澤秀明、形見武男、菅野秀明、
北川慎也、鈴木　透、田中一彦、手嶋紀雄、波多宣子、東　達也、三浦潤一郎

6 月 17 日　講演会[金沢大学角間キャンパス]
講演:二酸化炭素固定策としての海洋鉄散布の化学的評価(宗林由樹)
電気化学計測のための機能界面の創製と非水溶液化学センサーの開発・応用(中村俊夫)
参加者　67 名

6 月 24 日　講演会[名古屋工業大学]
講演:フェロセン化ナフタレンジイミドを利用した
電気化学的テロメラーゼ活性検出の開発(竹中繁織)
ナノとバイオの融合技術による分析化学の進展(馬場嘉信)
参加者　60 名

8 月 26～ 27 日　第 24 回分析化学中部夏期セミナー[松本市浅間温泉文化センター]
講演:環境汚染物質の新規分離・分析法の開発とその環境浄化法への応用(勝又英之)
新規金属イオン認識試薬の開発と環境および材料分析への応用(松宮弘明)
参加者　94 名

9 月 14～16 日　日本分析化学会第 54 年会[名古屋大学;実行委員長　原口紘烋]
9 月 23～24 日　第 36 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会[静岡県コンベンションアーツセンター]
招待講演:形態別分析で探る河川から沿岸海域に至る水環境汚染(田口　茂)
「べにふうき」緑茶の抗アレルギー作用を利用した飲食品の開発　(山本万里)
依頼講演:チアカリックスアレーンを用いる重金属元素の分離分析(松宮弘明)
環境試料中の有害汚染物質の予備濃縮法及びそれらの分離法の開発(勝又英之)
参加者　1 日目 28 名　2 日目 25 名

11 月 8 日　訪日学者講演会[愛知工業大学]
講演:Advanced Flow-Based Techniques for Environmental Samples Analyses(Prof. Kate Grudpan)
参加者　30 名

11 月 10～11 日　第 15 回基礎及び最新の分析化学講習会[三重北勢地域地場産業振興センター]
講演:[主題]環境計量士試験(濃度)に向けて
講師:寺田健司、北出和久、仲野幸健、武吉研治、鈴木　透、浅野　保、
円城寺英夫、加藤昌俊、一ノ木　進、勝又英之、太田清久
参加者　33 名

11 月 17 日　講演会[信州大学工学部]
講演:酸性雨とアルミニウムのスペシエーション分析(角田欣一)
水溶液表面のX線吸収スペクトル:表面吸着イオンと溶媒和構造解析(渡辺　巌)
参加者　91 名

11 月 25～26 日　「分析中部・ゆめ 21」若手交流会第 5 回高山フォーラム[高山市民文化会館]
講演:動的分析化学の展開－ダイナミック過程追跡装置の開発を振り返って－(舟橋重信)
界面活性剤や高分子を用いる分析化学と分離工学－研究にあたって考えること(齋藤　徹)
有機ポリマー製モノリスカラムの開発と生体・環境試料への応用(梅村知也)
水素結合を利用するアニオン認識試薬の開発と界面反応場への応用(加藤　亮)
参加者　52 名

12 月 26 日　訪日学者講演会[三重大学ベンチャーラボラトリー]
講演:Toxic and Micronutrient Elements in Ground Water at Highly Arsenic Contaminated Area
in Bangladesh　(Dr. A. M. Shaflqul Alam)
参加者　27 名

[2006 年度(平 18)]

(支　部　長)太田清久(副支部長)竹内豊英、湯地昭夫、吉村忠与志(支部監事)田口　茂、中村俊夫
(庶務幹事)勝又英之、リムリーワ(会計幹事)肥田宗政、北川慎也(常任幹事)市田淳一、大野典子、小澤秀明、
柘植　明、手嶋紀雄、長谷川浩、波多宣子、松宮弘明、三浦潤一郎、望月明彦

7 月 14 日　講演会[福井大学工学部]
講演:金属・分子蒸気分離分析法(太田清久)
酵素化学研究における新しい電気分析化学法(池田篤治)
参加者　128 名

8 月 19～20 日　第 25 回分析化学中部夏期セミナー[ホテル日航豊橋]
奨励賞受賞講演:
天然水中微量金属の多元素濃縮・定量用キレート樹脂充填ミニカラムの開発及び応用研究
(朱　彦北)
希釈培養法 MPN と 16SrDNA の RFLP 解析を併用した有機ヒ素分解細菌の環境分析技術の開発
(牧　輝弥)
参加者　80 名

9 月 19 日　訪日学者講演会[愛知工業大学本山キャンパス]
講演:Scientific Writing, or How I Learned to Love Being an Editor(Prof. Gary D. Christian)
参加者　45 名

10 月 25 日　訪日学者講演会[富山大学理学部]
講演:Cost Effective Passive Sampler for Air Monitoring (Assoc. Prof. Dr. Proespichaya Kanatharana)
参加者　28 名

10 月 26～27 日　第 16 回基礎及び最新の分析化学講習会[名古屋市工業研究所]
[主題]環境・食品分析における精度管理について
参加者　1 日目:43 名　2 日目:35 名

11 月 2 日　講演会[岐阜薬科大学]
講演:バイオイメージングのための蛍光プローブはどのように分子設計するか(長野哲雄)
PET プローブの新合成法－創薬・疾患診断法の革新に向けて－(鈴木正昭)
参加者　58 名

11 月 12～13 日　第 37 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会[愛知工業大学]
特別討論会:[主題]微視化と自動化を目指す最先端分析技術
招待講演:高感度光吸収分光法「Cavity ring-down spectroscopy)を利用した微量成分の分析(川崎昌博)
フィールド分析を目指した環境分析システムのマイクロ化と自動化(戸田　敬)
依頼講演:Fe(Ⅱ)スピン転移錯体の磁気的および光学的性質への溶媒効果の分析(栗原　誠)
スケール防止剤実効濃度計測の自動化を目指して(湯地昭夫)
キャピラリー液体クロマトグラフィーにおける周辺技術の開発とその応用(リムリーワ)
微小流れ場を利用する環境・生体成分の高感度分析(酒井忠雄)

11 月 17～18 日　「分析中部・ゆめ 21」若手交流会第 6 回高山フォーラム[高山市図書館]
討論会:[主題]動画等で伝え合う分析化学の実験技術
依頼講演:イオン付着質量分析の熱分解ガス成分への応用(津越敬寿)
参加者　57 名

12 月 1 日　講演会[名古屋大学 VBL]
講演:犯罪捜査を支援する分析化学(肥田宗政)
環境応答性高分子の分子設計と新規分離システムへの応用(金澤秀子)
自然に学ぶバイオニック材料プロセスの創製(河本邦仁)
参加者　72 名

[2007 年度(平 19)]

(支　部　長)竹内豊英(副支部長)湯地昭夫、丁子哲治、藤本忠蔵(支部監事)太田清久、中村俊夫
(庶務幹事)リムリーワ、高田主岳(会計幹事)北川慎也、奥山修司(常任幹事)市田淳一、上田穣一、大野典子、金　継業、小泉貞之、袋布昌幹、柘植　明、服部敏明、松宮弘明、望月明彦

6 月 27 日　講演会[富山大学理学部]
講演:立山のハイマツは酸性雨をどう利用しているのか?(久米　篤)
陰イオンに拘って辰口から 20 年余り(湯地昭夫)
高速液体クロマトグラフィーの高性能化と分離挙動解析理論の展開(宮部寛志)
参加者　146 名

9 月 7 日　訪日学者講演会[名古屋工業大学]
講演:Drug Analysis in Past and Future(Prof. M. I. Walash)
参加者　30 名

9 月 8～9 日　第 26 回分析化学中部夏期セミナー[インテック大山研修センター]
講師:加地範匡、長谷川拓也、倉光英樹
参加者　123 名

10 月 10～11 日　第 17 回基礎及び最新の分析化学講習会[名古屋市工業研究所]
[主題]環境分析とポストゲノム解析のための測定技術
参加者　33 名 (延べ 43 名)

11 月 3 日　講演会[静岡県立大学]
講演:精密設計した高性能分析法の構築と応用(加藤　大)
化学発光検出クロマトグラフィーによる緑茶カテキンの分析法の開発と展開(仲川清隆)
食品中の残留農薬分析－お茶の特殊性について(小田中芳次)
参加者　43 名

11 月 10～11 日　第 38 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会[三重大学工学部]
特別討論会:[主題]サステイナブルな環境づくりを支える最先端分析技術
依頼講演:水素結合を利用するアニオン認識試薬の合成と界面を利用した水中アニオン認識への応用
(加藤　亮)
サステイナブルな流れ分析法の提案(手嶋紀雄、酒井忠雄)
サステイナブルな環境のための安価な吸着剤を用いる水質浄化
(金子　聡、勝又英之、鈴木　透、太田清久)
電子線ホログラフィを用いた材料機能(電場、磁場)の観察、評価(山本和生、平山　司)
招待講演:高分子ゲルを用いたインテリジェントマテリアル(高田主岳)
サンゴ礁海域の海水及び海洋生物の多元素プロファイリングアナリシス(伊藤彰英)
参加者　1 日目:30 名　2 日目:35 名

11 月 16 日　講演会[名古屋大学 VBL]
講演:DNA マイクロアレイの開発(吉田安子)
マイクロチップを用いた細胞培養デバイスの開発(佐藤記一)
再生医療本格化のための細胞シート工学(大和雅之)
参加者　50 名

11 月 22～23 日　「分析中部・ゆめ 21」若手交流会第 7 回高山フォーラム[高山市図書館]
討論:海外へ活躍の場を求めて

日本分析化学会中部支部運営細則

（事務局）

１．本支部の事務局は中部科学技術センターにおく。（昭和４５年４月１日以降）

（支部長）

２．翌々年度の支部長（次期支部長）は、年度末の役員総会において投票によって決定する。

（副支部長）

３．副支部長２名は、地域を考慮して支部長が推薦する。

（監　事）

４．監事は前年度及び前々年度の支部長とする。

（参与及び顧問）

５．参与は、60歳以上の学識経験者のうちから支部長が推薦する。ただし、70歳を超える場合、顧問に推挙される。

（役員の交代）

６．庶務幹事，会計幹事及び常任幹事は、原則として毎年それぞれその約半数が交代する。

７．前年度の副支部長及び常任幹事は、翌年度の役員として留任する。幹事は原則として、毎年その約半数が交代する。

（役員会の決定）

８．役員会の決定（選挙を含む）は出席者の過半数の賛成をもって有効とする。

（本部役員候補者の推薦）

９．本部役員候補者の推薦は、支部長が役員の意見を徴して行う。

（学会賞等候補者推薦委員会）

10．学会賞等候補者推薦委員会は、1)支部長及び次期支部長、2)残りの副支部長と常任幹事から選出された5名、3)参与及び監事から選出された４名、の計11名により構成する。

11．支部長は、10月までに、前項に従って支部長、次期支部長、副支部長、参与、監事及び常任幹事による投票により委員を選出する。委員長は、支部長とする。

ただし、 13項により支部長が委員を辞任した場合は、委員の互選による。委員は原則として毎年その半数が交代する。

12. 委員長は、毎年 11 月までに、全役員に、理由を付して学会賞等受賞候補者の推薦をもとめる。推薦には推薦理由書及びＡ４用紙３頁（略歴、業績及び主要論文リスト各１頁）にまとめた選考資料 11 部を付する。
13. 選出された委員が候補者に推薦された場合は、委員を辞任する。委員に欠員が生じた場合は 10 項 2)の次点以下を順次繰り上げ委員とする。
14. 1. 推薦された候補者の数が各賞毎に 3 件を超えないときは、委員長は各候補者の推薦理由書等の書類を委員に送付して意見を徴し、過半数の支持を得た候補者をすべて本部へ推薦する候補者とすることができる。この場合は、推薦委員会を開催しなくてもよい。
    2. 委員会は、委員長が召集し、委員の２／３以上の出席をもって成立する。委員会では、投票により候補者を決定する。なお、3 件を超えた場合、候補者の中に前年度を含め 3 年連続して本部へ推薦された候補者があるときは、その候補者は推薦されないことがある。
15. 委員長は、委員会で決定した候補者の氏名を支部長に報告し、支部長は候補者を本部へ推薦する。

（会計年度及び事務処理費）

16. 本支部の会計は、毎年２月末で締切り、その後を次年度の会計幹事に引き継ぐ。
17. 会の常務を行うため事務処理費若干を予算案に計上する。

（付　則）

本細則は、昭和４５年２月１９日より実施する。

昭和５７年２月　９日に一部改正

平成１０年１月２３日に一部改正

平成１２年１月２１日に一部改正

日本分析化学会中部支部内規

（総　則）

第　１　条　日本分析化学会中部支部（以下本支部という）に関する規程については、日本分析化学会（以下本会という）定款および細則に定めるもののほかこの内規の定めるところによる。

第　２　条　本支部は、愛知，岐阜，三重，静岡，長野，富山，石川および福井の８県に在住する日本分析化学会会員をもって組織する。

（事　業）

第　３　条　本支部は、本会の目的を達成するために、つぎの事業を行なう。

１．講演会，講習会，見学会およびセミナーなどの開催

２．関連学協会との連絡および協力

３．その他

（役　員）

第　４　条　本支部にはつぎの役員をおく。

支部長　１名，次期支部長　１名，副支部長　２名，顧　問　若干名，参　与　若干名，監　事　２名，幹　事　若干名

第　５　条　支部長は幹事のうちから常任幹事若干名を委嘱する。

常任幹事中２名は庶務を、２名は会計を担当する。

第　６　条　役員の任期は、３月１日から翌年２月末日までとする。

ただし、再任を妨げない。

２．役員を辞任しようとするときは、役員総会の同意を得なければならない。

３．役員に欠員が生じたときは、支部長は役員総会の同意を得て補充することができる。補充した役員の任期は前任者の残任期間とする。

第　７　条　役員はそれぞれ本会細則第４７条に定められた会務を掌理する。

（役員会）

第　８　条　役員会は、役員総会および常任幹事会とする。

２．支部長は、必要に応じ役員会を召集し、その議長となる。

３．役員会は、役員の１／２以上の出席をもって成立する。ただし、書面をもって委任した者は、出席とみなす。

第　９　条　役員総会は、全役員をもって組織し、年１回以上開かなければならない。

第　10　条　役員総会は、下記の事項を審議する。

１．役員候補者の選出に関する事項

２．支部事業の計画実施に関する事項

３．支部の予算および収支決算に関する事項

４．支部内規の改正に関する事項

５．支部に属する資産の処分と管理に関する事項

６．その他、支部の運営に関する重要事項

第　11　条　常任幹事会は、支部長，次期支部長，副支部長および常任幹事をもって組織し、支部運営の常務にあたる。

第　12　条　役員は、常任幹事会に対し、支部運営について随時意見を述べることができる。

第　13　条　常任幹事会は、緊急を要する事項に関し役員総会を代行することができる。ただしその場合に常任幹事会において決定した事項は、役員総会に報告し、その承認を得なければならない。

（事業計画，収支予算）

第　14　条　本支部の事業計画およびこれにともなう収支予算は、支部長が編成し、役員総会の議決を経なければならない。

事業計画および収支予算を変更した場合も同様とする。

２．支部の経費は、本部からの支部費およびその他の収入金をもってこれにあてる。

（収支決算）

第　15　条　支部長は、毎年度末に、その年度の収支決算表を作成し、監事の監査を受けたのち、常任幹事会の議を経て役員総会の了承を得るものとする。

（寄　付）

第　16　条　本支部が支部事業達成のために寄付金品を受領する場合は、役員総会の議決を経なければならない。

（雑　則）

第　17　条　この内規の運営に関し必要な細則は、役員総会の議決を経て、別に定める。

附　　則　この内規は、昭和４５年　２月１９日から施行する。

昭和６０年１０月２５日に一部改正

平成　３年　１月２４日に一部改正

平成１０年　１月２３日に一部改正

平成１２年　１月２１日に一部改正

中部分析化学功績賞規定

日本分析化学会中部支部
平成 15 年 1 月 23 日制定

1．日本分析化学会中部支部（以下支部という）に中部分析化学功績賞を設ける。
2．本賞は，支部の会員で，支部に対する功績が特に顕著な者に授与する。
3．受賞候補者は，毎年 10 月末日までに支部の会員から所定の書面様式で支部長に対して推薦された者とする。
4．候補者の審査は，支部常任幹事会の議を経て組織された中部分析化学功績賞審査委員会において行う。
5．審査委員会は受賞者を選定し，選定結果および選定理由を支部役員総会に報告する。
6．支部長は，支部役員総会の承認を得て受賞者を決定する。
7．本賞は，賞状および記念品とし，支部役員総会等においてこれを授与する。

中部分析化学功績賞審査委員会に関する申し合わせ

1．中部分析化学功績賞審査委員会は，中部支部におく学会賞等候補者推薦委員会がこれを兼ねる。
2．審査委員会委員長は，学会賞等候補者推薦委員会委員長（支部長）がこれを兼ねる。
3．審査委員会委員長は，中部支部の会員に候補者の推薦をもとめる。

中部分析化学奨励賞規定

日本分析化学会中部支部
平成 13 年 1 月 24 日制定

1．日本分析化学中部支部（以下支部という）に中部分析化学奨励賞を設ける。
2．本賞は，支部の会員で，分析化学に関する独創的な研究を発表し，将来の発展を期待し得る若手研究者に授与する。
ただし，受賞者は受賞年度の 4 月 1 日現在において満 32 才以下の者とする。
3．受賞候補者は，毎年 10 月末日までに支部の会員から所定の書面様式で支部長に対して推薦されたものとする。
4．候補者の審査は，支部常任幹事会の議を経て組織された中部分析化学奨励賞審査委員会において行う。
5．審査委員会は，原則として毎年若干名の受賞者を選定し，選定結果および選定理由を支部役員総会に報告する。
6．支部長は，支部役員総会の承認を得て受賞者を決定する。
7．受賞者は，支部が主催する講演会で受賞講演を行う。その際，受賞者には賞状が授与される。

中部分析化学奨励賞審査委員会に関する申し合わせ

1．中部分析化学奨励賞審査委員会は，中部支部におく学会賞等候補者推薦委員会がこれを兼ねる。
2．審査委員会委員長は，学会賞等候補者推薦委員会委員長（支部長）がこれを兼ねる。
ただし，３項により支部長が委員を辞任した場合には，委員の互選による。
3．委員が候補者を推薦する場合および委員が候補者の共同研究者である場合には，当該候補者の審議を辞退する。
4．審査委員会委員長は，中部支部の会員に候補者の推薦をもとめる。

日本分析化学会各賞受賞者

別表A 学会賞受賞者

1963年	小田 仲彬（日本曹達㈱理化研究所長） 「発光分光分析法による工業分析化学の研究」
	木羽 敏泰（金沢大学教授） 「強りん酸を用いる分析法の研究」
1964年	平野 四蔵（東洋大学教授） 「迅速化学分析方法の研究」
1965年	武内 次夫（名古屋大学教授） 「工業材料中の微量不純物の定量に関する研究」
1970年	田中 元治（名古屋大学教授） 「溶液内反応の平衡論的並びに速度論的研究とその分析化学への応用」
1971年	山本 勇麓（広島大学教授） 「金属キレート陽イオンによる陰イオンの溶媒抽出を用いる分析法の研究」
1974年	佐々木 慎一（宮城教育大学教授） 「有機化合物構造決定の自動化に関する研究」
	水池 敦（名古屋大学教授） 「極微量成分元素の分離濃縮に関する研究」
1975年	千田 貢（京都大学教授） 「ポーラログラフ法の基礎とその有機分析化学への応用に関する研究」
1978年	今枝 一男（星薬科大学教授） 「熱分解管 — キャリヤーガス法による酸素分析法の研究」
	柴田 正三（名古屋工業技術試験所課長） 「分析試薬としてのヘテロ環アゾ化合物の研究」
1979年	石井 大道（名古屋大学教授） 「ミクロ高速液体クロマトスラフィーの研究」
	中川 元吉（名古屋工業大学教授） 「多座配位子置換反応の分析化学的研究」
1981年	喜谷 喜徳（名古屋市立大学教授） 「錯体化学の薬品分析化学への応用」

1982年	吉森　孝良（東京理科大学教授） 「精密電量滴定法と標準物質に関する研究」
1987年	伊豆津　公佑（信州大学教授） 「非水溶媒電気化学分析法に関する研究」
1989年	寺田　喜久雄（金沢大学教授） 「環境試料中の超微量元素の予備濃縮・分離に関する研究」
1990年	河口　廣司（名古屋大学教授） 「高周波プラズマによる発光分光分析及び質量分析の研究」
1991年	後藤　克己（富山大学教授） 「疎水性イオン会合体の分析化学への応用」
1993年	宮崎　元一（金沢大学教授） 「衛生薬学におけるイオンクロマトグラフィーの新展開」
	野村　俊明（信州大学教授） 「検出器としての水晶発振子の分析化学的研究」
1995年	柘植　新（名古屋大学教授） 「熱分解ガスクロマトグラフィーによる高分子分析」
1999年	原口　紘烋（名古屋大学教授） 「プラズマ分光法による多元素同時計測システムの開発」
2000年	舟橋　重信（名古屋大学教授） 「迅速反応測定法の開発と金属イオンの動的挙動の解析」
2002年	津田　孝雄（名古屋工業大学教授） 「キャピラリー電気クロマトグラフィーの開発と応用」
2003年	神野　清勝（豊橋技術科学大学教授） 「液相分離技術のマイクロ化とその周辺技術の開発」
2006年	酒井　忠雄（愛知工業大学教授） 「機能性試薬を用いるフローインジェクション分析」

別表B　学会功労賞受賞者

2001年	三輪　智夫　（前岐阜大学教授） 「超微量成分の精密電気化学分析」
2006年	山田　碩道　（前名古屋工業大学教授） 「溶媒抽出法における溶媒効果に関する基礎的研究」
2007年	松永　勝彦　（四日市大学環境情報学部教授） 「学会への貢献と水圏における微量元素および窒素化合物の分析法開発究」

別表C　技術功績賞受賞者

1987年	本間　厚（浜松ホトニクス㈱技術グループ長） 「高性能光検出器及び光源ランプの開発」
2000年	村瀬　篤、佐藤　紀夫　（㈱豊田中央研究所分析計測部主任研究員・同材料2部長） 熱分解ガス赤外分光型樹脂識別装置の開発と応用

別表D　奨励賞受賞者

1971年	柘植　新（名古屋大学助手） 「高分子分析の熱分解ガスクロマトグラフィーなどによる研究」
1973年	原口　紘烋（東京大学助手） 「核磁気共鳴法および分子吸光法による状態分析の研究」
1982年	寺前　紀夫（東京大学助手） 「複合的効果を利用した新しい分光法の開発」
	平出　正孝（名古屋大学助手） 「共沈浮選法による極微量元素の分離濃縮」
1983年	北川　邦行（名古屋大学助手） 「原子磁気旋光分光法と干渉補正法の研究」
1985年	平田　幸夫（豊橋技術科学大学講師） 「キャピラリークロマトグラフィーに関する研究」
1987年	竹内　豊英（名古屋大学助手） 「ミクロ高速液体クロマトグラフィーの高性能化に関する研究」
1988年	石原　浩二（名古屋大学助手） 「高圧ストップフロー装置の開発による錯体形成反応機構の研究」
1989年	加納　健司（岐阜薬科大学助手） 「電極反応による有機化学種の検出機構に関する研究」
1991年	藤本　忠蔵（豊橋技術科学大学助手） 「液体クロマトグラフィーにおける示性検出法の研究」
	坂本　英文（名古屋工業大学助手） 「新クラウン化合物によるアルカリ金属イオンの分離とセンシング」
1992年	大谷　肇（名古屋大学助手） 「高性能熱分解ガスクロマトグラフィーによる高分子分析」
1997年	古月　文志（北海道大学助手） 「両性分子型固定相を用いる液体クロマトグラフィーの開発」
1999年	呉　行正（福井大学助教授） 「化学反応系におけるin-situ局所レーザー分析法の開発」
	稲田　康宏（名古屋大学助手） 「ストップトフローEXAFSの開発と不安定中間体の解析」

2000年	江坂　幸宏（岐阜薬科大学助手） 「水素結合モードーキャピラリー電気泳動法の開発」
2002年	石田　康行（名古屋大学助手） 「反応熱分解分析法による天然有機物及び高分子材料の解析」
2003年	東　達也（金沢大学講師） 「LC/MS 用誘導体化法の開発と生体内超微量ステロイド分析への応用」
2006年	加藤　大（静岡県立大学薬学部講師） 「固定化生体物質を利用する高性能分離法の開発」
	北川　慎也（名古屋工業大学助教授） 「電気クロマトグラフィーの高性能化に関する研究」

別表E 有功賞受賞者

年度	氏名	所属
1999	千葉 勲	川鉄テクノリサーチ㈱分析・評価センター知多事業所
	窪田 進	㈱大同分析リサーチ
	白取 久仁雄	㈱東海テクノリサーチ
	磯谷 卓也	トヨタ自動車㈱明知工場
	面高 勝二	㈱東海テクノリサーチ
2000	寺林 一夫	昭和タイタニウム㈱
	横川 正幸	昭和電工㈱炭素金属事業部
	西村 弘	トヨタ自動車㈱明知鋳造部
2001	鈴木 茂嗣	大同特殊鋼㈱
	金原 利治	昭和電工㈱大町事業所
	宮尾 茂治	昭和電工㈱セラミックス事業部塩尻生産・技術統括部
	丸井 康策	㈱東海テクノリサーチ
	荒木 正高	トヨタ自動車㈱第2材料技術部
2002	西川 洋八	大同特殊鋼㈱技術開発研究所
	松木 由一	昭和タイタニウム㈱
	酒井 久資	トヨタ自動車㈱第2材料技術部
	水谷 亨	㈱東海テクノリサーチ
	辻本 清次	㈱東海テクノリサーチ
2003	原田 時男	川鉄テクノリサーチ㈱分析・評価事業部知多事業所
	柳原 秀年	大同特殊鋼㈱知多工場
	尾崎 芳夫	トヨタ自動車㈱明知工場
2004	吉岡 恒美	日立計測器サービス㈱中部支店
	牧野 康俊	川鉄テクノリサーチ㈱分析・評価事業部知多事業所
	平田 芳己	トヨタ自動車㈱第2材料技術部
	吉沢 修	昭和電工㈱信州事業所
	高橋 昇	㈱東海テクノリサーチ
	田口 正雄	㈱東海テクノリサーチ
	伊藤 清孝	大同特殊鋼㈱技術開発研究所
	勝又 泰長	旭化成㈱研究開発本部基盤技術研究所

2005	村上　茂雄	トヨタ自動車㈱プラントエンジニアリング部
	山口　茂光	昭和電工㈱大町事業所
	小山　和夫	昭和電工㈱塩尻生産・技術統括部
	森川　博	JFEテクノリサーチ㈱分析・評価事業部知多事業所
	大橋　精一	旭化成㈱研究開発本部基盤技術研究所
	西川　久雄	味の素㈱東海事業所
	山本　義光	㈱大同分析リサーチ
	小澤　忠夫	名古屋工業大学
2006	佐々木　憲太郎	トヨタ自動車㈱第２材料技術部
	高尾　和夫	JFEテクノリサーチ㈱分析・評価事業部知多事業所
	太田　正広	㈱大同分析リサーチ
	佐久間　徹夫	旭化成エレクトロニクス㈱
2007	弥富　義昭	㈱東海テクノリサーチ
	丹羽　良志輝	㈱東ソー分析センター四日市事業部
	大地　幸雄	トヨタ自動車㈱プラントエンジニアリング部
	吉岡　文雄	㈱東海テクノリサーチ
	大園　保	㈱大同分析リサーチ
	大槻　暁	旭化成㈱研究開発本部基盤技術研究所
	山口　富男	旭化成㈱研究開発本部基盤技術研究所

別表F　論文賞受賞者

1987年	野村　俊明(信州大学理学部) 「水晶重みセンサーによる水中の硫酸イオンの付着定量法」
1988年	千葉　光一、小野　昭紘、佐伯　正夫、大野　剛正(新日本製鐵(株)) 「火点での発光スペクトル測定による溶鋼中マンガンの直接分析」
1993年	江藤　泰雄、中井　恭子、荒賀　年美((株)豊田中央研究所) 「顕微赤外用全反射吸収プリズムの開発と局所分析への応用」
1998年	下山　進(デンマテリアル(株)色材科学研究所)、野田　裕子(同左)、勝原　伸也(勝原伸也浮世絵版画制作工房) 「光ファイバーを用いる三次元蛍光スペクトルによる日本古来の浮世絵版画に使用された着色料の非破壊同定」
2003年	井上　雅枝((株)豊田中央研究所)、村瀬　篤(同左)、杉浦　元保(同左) 「表面プラズモン共鳴センサーを用いる内分泌撹乱化学物質スクリーニング法」
2004年	永安　健敏(名古屋大学工学部)、林　英男(東京理科大学工学部)、平出　正孝(名古屋大学工学部) 「グリセリンに分散させたアルミナ粉末のレーザーアブレーション／減圧ヘリウム誘導結合プラズマ質量分析」

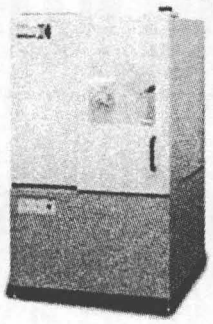
広告企業一覧

株式会社 アイテックリサーチ	97
旭化成株式会社	98
株式会社 カネカテクノリサーチ	99
三愛科学	100
住鉱潤滑剤株式会社	101
住友軽金属工業株式会社	102
セントラル硝子株式会社	103
株式会社 十合	104
株式会社 ダイアンインスツルメンツ	105
多摩化学工業株式会社	106
株式会社 東海テクノ	107
日本分光株式会社	108
日本分析工業株式会社	109
野村化学株式会社	110
フロンティア・ラボ株式会社	111
株式会社 ＵＢＥ科学分析センター	112
伊勢久株式会社	113
オザワ科学株式会社	113
清川メッキ工業株式会社	114
株式会社 ケムコ	114
建設ゴム株式会社	115
株式会社 大同分析リサーチ	115
株式会社 ＴＲＩテクノ	116
東亞合成株式会社	116
株式会社 東海テクノリサーチ	117
株式会社 東海分析化学研究所	117
日信化学工業株式会社	118
株式会社 北陸環境科学研究所	118

I-TECHRESEARCH

環境測定分析機関

アスベスト調査 / 分析

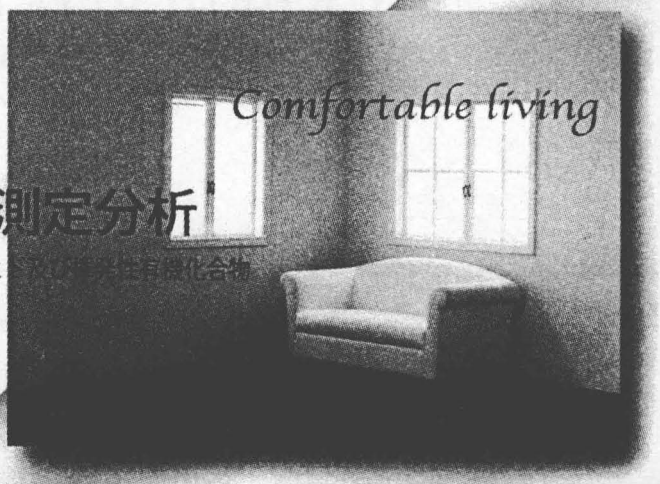


信頼性に優れた分析技術をご提供します

6種類分析可能

クリソタイル・アモサイト・クロシドライト
トレモライト・アクチノライト・アンソフィライト

分析結果を最短で速報！
御見積りから報告書作成までお任せ下さい



Because of future environment.

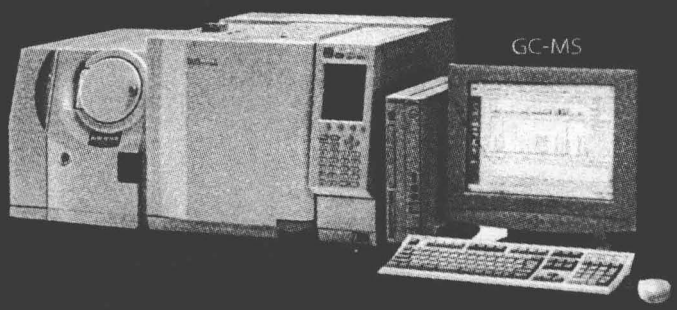
適格な判断と適切な処理で対応します

VOC測定分析

ホルムアルデヒ　　揮発性有機化合物

受託分析 Service Service network 東京・大阪 三重・宮崎

We think concerning future environment.



業務内容

アスベスト調査	大気測定	気密測定	材料分析	空気環境測定
騒音／振動測定	土壌分析	悪臭測定	水質分析	断熱性能試験
作業環境測定	脱磁処理	底質分析	飲料水分析	残留農薬分析
ダイオキシン測定	室内空気汚染物質測定（ホルムアルデヒド・VOC）			

「学校環境衛生の基準」の測定

◆その他各種測定ご相談下さい

登録許可証

計量証明事業　愛知県知事登録第651号（濃度）
計量証明事業　愛知県知事登録第706号（音圧レベル）
計量証明事業　愛知県知事登録第707号（振動加速度レベル）
作業環境測定機関　登録番号23-74
建築物空気環境測定業　愛知県13空第17-1号
土壌汚染状況調査指定調査機関　環-2005-2-56
気密測定技能者従事事業所　登録番号0937

JAB Lab Accreditation (環境分析) ISO/IEC 17025

株式会社アイテックリサーチ

■テクニカルセンター
〒485-0003 愛知県小牧市大字久保一色字野中39番地の1
■本社 / 分析センター　玉置ビル3F-D
〒485-0828 愛知県小牧市大字小松寺字上仲田634番地の1
TEL：0568-41-6226　FAX：0568-41-6276

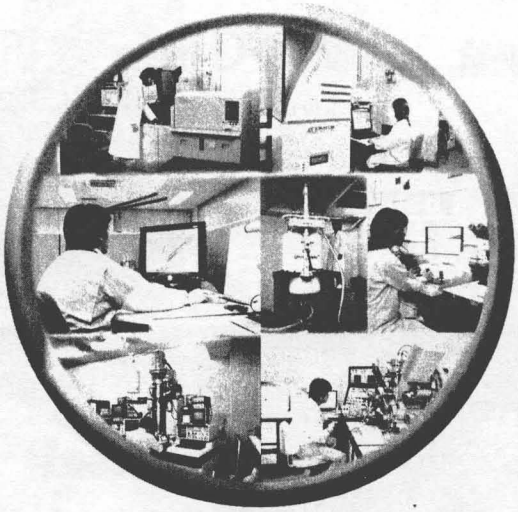
http://www.i-techresearch.com/

旭化成株式会社
基盤技術研究所

Analysis & Simulation Center

高度な解析技術と豊富な経験で皆様のニーズに対応します。

幅広い製品群を持つ旭化成グループで培われた知見と知識を豊富に持っています。



最先端の分析機器を用いた解析技術と、高度なコンピューターシミュレーション技術を駆使し、問題を解決します。

PROCESS

お客様が納得されるまで、サポートします。

発見 問題解決への道程は、問題の発見が第一歩。お客様と十分にお打ち合わせを行い、問題の本質を見極めます。

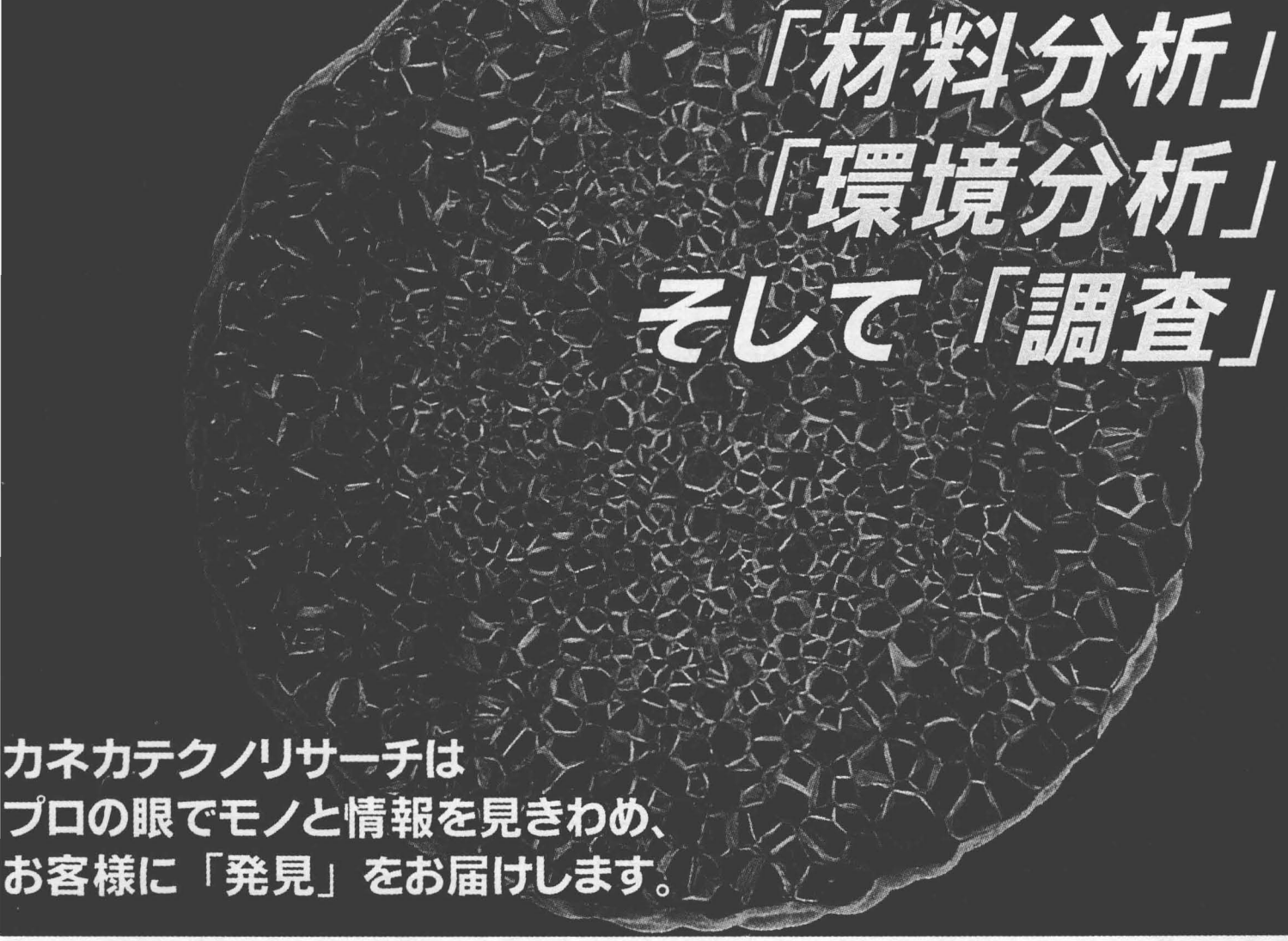
提案 経験豊富で専門性の高い技術者により、的確なアプローチデザインをご提案します。

解決 高度な解析技術・コンピューターシミュレーション技術により、迅速に解決します。

わたしたちは、皆様方から寄せられる様々な解析ニーズに対し皆様と共に考え、信頼性の高いデータと有効な情報を提供させていただきます。

AsahiKASEI Analysis & Simulation

http://www.asahi-kasei.co.jp/akasc



「材料分析」「環境分析」そして「調査」

カネカテクノリサーチは
プロの眼でモノと情報を見きわめ、
お客様に「発見」をお届けします。

材料分析

- 形態観察
- 表面分析
- 有機・無機元素分析
- 異物分析
- 製品欠陥分析
- 有機構造解析
- 各種クロマトグラフ分析
- 高分子組成分析
- 高分子添加剤分析
- 加熱発生ガス分析
- VOC放散量分析

環境分析

- ダイオキシン類の分析
- バイオアッセイ
- POPs農薬の分析
- 環境ホルモンの分析
- 微量金属分析
- 加熱発生ガス分析
- 大気・悪臭・排ガス分析
- 水質の分析
- 土壌汚染の分析
- 産業廃棄物の分析
- 作業環境測定

調　査

- コンサルティング
  - 環境技術
  - 新材料開発
- 特許調査・解析
- 技術調査・解析
- 情報検索代行サービス
- 翻訳サービス

株式会社カネカテクノリサーチ

〒652-0803 神戸市兵庫区大開通 1-1-1　TEL.078-574-1500（代表）FAX.078-576-6788

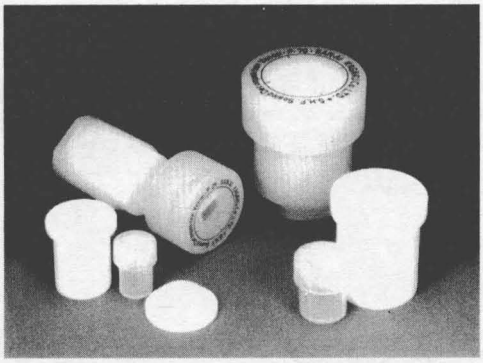
SEALD DECOMPOSITION VESSEL

高圧用反応分解容器

TYPE：HU−25／50／100
(SUS製外筒＋PTFE製内筒容器)

密閉式で汚染がなく試料の溶液化が簡単に出来ます。
特殊成型PTFE容器によりガス透過が極めて少量。
水熱合成試験等にもご使用出来ます。
微量試料用小容器あり。

■内容量：25ml・50ml・100ml
■最高使用温度：230℃

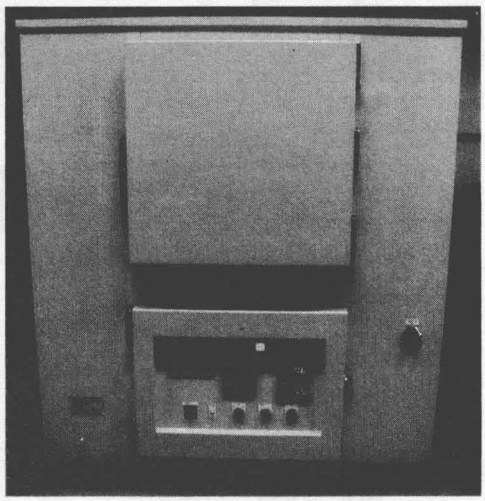


電子レンジ用分解容器

TYPE：P−25／70
(PP製外筒＋PTFE製内筒容器)

家庭用電子レンジを使用して加熱する事により、
短時間で多数同時に溶液化が可能です。
特殊成型PTFE容器によりガス透過が極めて少量。
微量試料用小容器あり。

■内容量：25ml・70ml

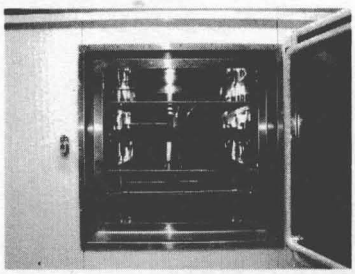


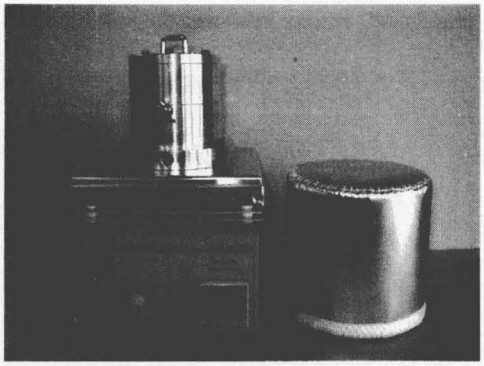
回転式分解容器＆ローラー式オーブン

TYPE：RDV−TM1／TM2

反応分解容器をローラー上で回転させることにより、
試料の均一撹拌、粉砕効果等によって水熱下での反応促進、
小さな結晶子を迅速に合成するのに適しています。

■最高使用温度：室温〜250℃（特注可）





ホットスターラー式反応分解装置

TYPE：RDV−TMS−25/50/100

反応分解容器をヒーター付スターラーにセット。
高温高圧下で手軽に撹拌する事が出来、
反応分解作用をより効果的に促進します。

■最高使用温度：室温〜210℃
■低粘度用、高粘度用

三愛科学株式会社

〒462-0847　愛知県名古屋市北区金城2-11-17
TEL(052) 915-2621　FAX(052) 915-2622
http：//www.sanai-kagaku.co.jp　E-mail：sanaikag@ceres.ocn.ne.jp

SUMICO LUBRICANT CO., LTD.

μ SUMICO

蓄積された技術とニーズへのきめ細かい対応で
お客様の満足する製品・サービスを提供致します。

潤滑に作用する要因は、荷重、速度、摺動形態、材料、機構、使用頻度など無数にあり、同じ機械でも最適な潤滑剤の仕様は異なります。つまり、それぞれの条件にベストマッチする潤滑剤を使用することが、性能やコストを最良にする近道です。

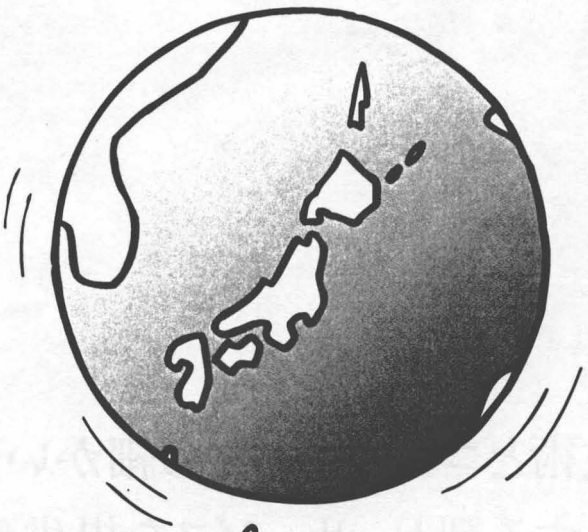
SUMICOは、グリース、オイル、乾性被膜などのあらゆるタイプの潤滑剤を有する幅広い解決能力と、約半世紀に亘り蓄積された技術力、そして全国に亘る営業ネットーワークで、お客様のニーズにきめ細かく対応し、満足頂ける製品・サービスの提供を目指しています。

http://www.sumico.co.jp/

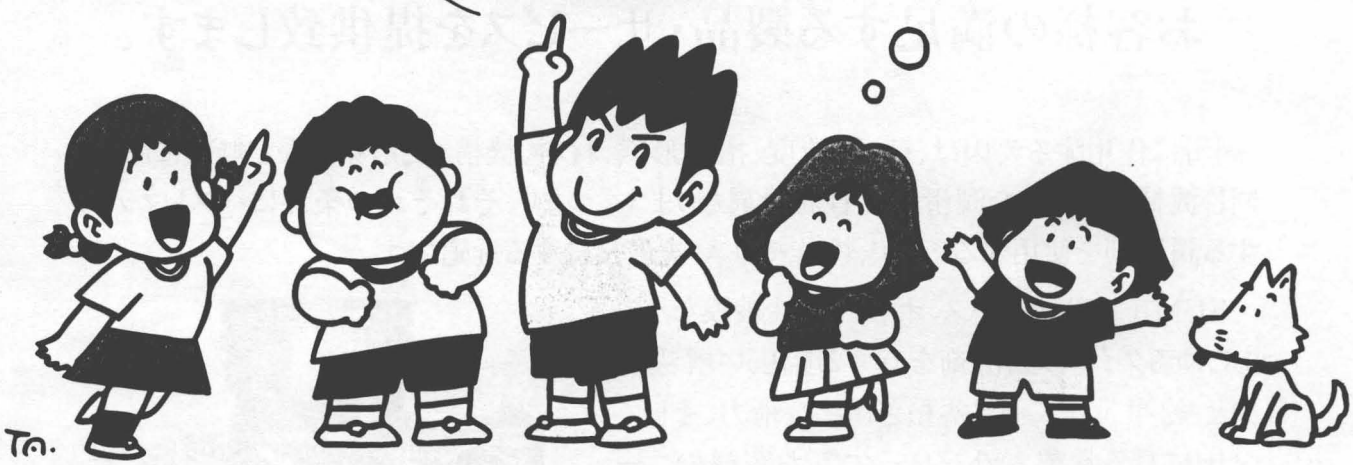
住鉱潤滑剤株式会社

本社・163−0263　東京都新宿区西新宿2−6−1　新宿住友ビル8F　TEL(03)3344−6835
支店・営業所・出張所　東京(03)3344−6804　大阪(06)6344−0171　名古屋(052)963−2368　札幌(011)281−7255　仙台(022)237−1231
北陸(076)223−3575　中国(082)221−2783　四国(0877)49−6751　九州(092)411−7200　上海(中国)86−21−6235−0623

ニッポンを
軽くしよう。



限られた資源を有効に使うこと。省エネを進めること。それが、地球への負担を軽くすることにつながります。軽量かつ剛性に優れ、リサイクルできるアルミニウムに求められる役割はまさに多大。クルマをはじめとする輸送機で、アルミ缶で、そして、さまざまな製品で、住友軽金属のアルミニウムが活躍しています。



住友軽金属
〒105-8601 東京都港区新橋5丁目11番3号
TEL.03(3436)9700 FAX.03(3434)6464

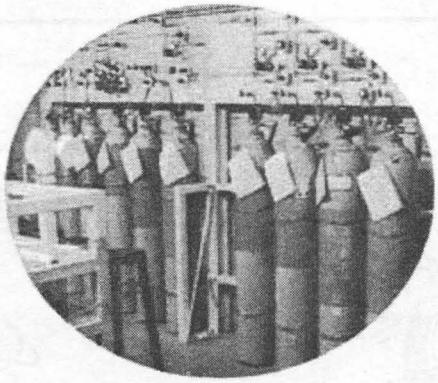
www.sumitomo-LM.co.jp

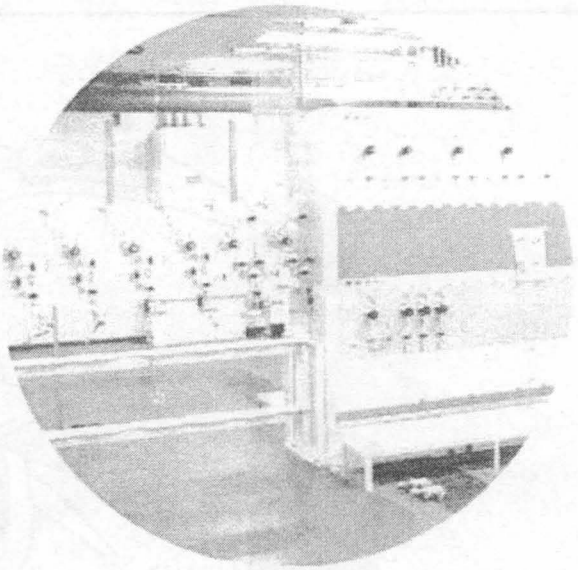
創造力は
夢を超えて。

最先端をゆくファイン技術が創造する、より豊かな生活環境。セントラル硝子では、建設、車輌、情報技術から農業、医療までの幅広い分野で、産業の基盤となる素材を生産、供給してまいりました。「かけがえのない地球環境を護りながら、さらに快適な暮らしを創造したい」—進化を続ける社会変化に着実に対応しながら、セントラル硝子は真摯なチャレンジを続けてまいります。

セントラル硝子

本社／〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目7番地1（興和一橋ビル）
TEL:03-3259-7111〈代表〉 http://www.cgco.co.jp





SOGO 株式会社　十 合

物質の状態は、固体と液体を除くと「ガス」です。
ガスは入れ物と配管がなければ、使うことができません。
また、「都市ガス」や「プロパンガス」だけが「ガス」ではありません。

現代社会の最先端を行く研究分野の中で、分析装置、レーザー設備、半導体設備、燃料電池、触媒設備で「ガス」を使用しないものはほとんどありません。

お客様から要求されるガスの純度、安全管理、供給管理は年々高度化してきています。

私どもの会社は、工業用や医療用、研究用に使用されるガス、および関連機器の販売商社でしたが、それだけでは、お客様のニーズを満足させることはできません。 そこで、先端研究設備で要求される仕様を十分満たす「ガス供給設備」の設計施工を手がけてまいりました。

これからも、常に知識技術の向上に努め、新世紀を生き抜ける企業を目指し、なおかつお客様の成功に貢献していきたいと考えています。

今後とも、末永いお付き合いのほど、よろしくお願い申し上げます。

◇一般高圧ガス
◇分析用標準ガス
◇半導体製造用ガス
◇特殊配管用弁類及び継手
◇各種ガス供給システムの設計施工
◇半導体製造ガス供給システムの設計施工

株式会社　十　合　　**お客様第一主義に徹します**

本　社　〒464-0075　名古屋市千種区内山一丁目24番9号（第2ダイワビル 3F）
TEL （052）741－0288　FAX （052）731－6617

営業所　〒470－0213　西加茂郡三好町大字打越字三本松30－30
TEL （0561）32－0621　FAX （0561）32－0623

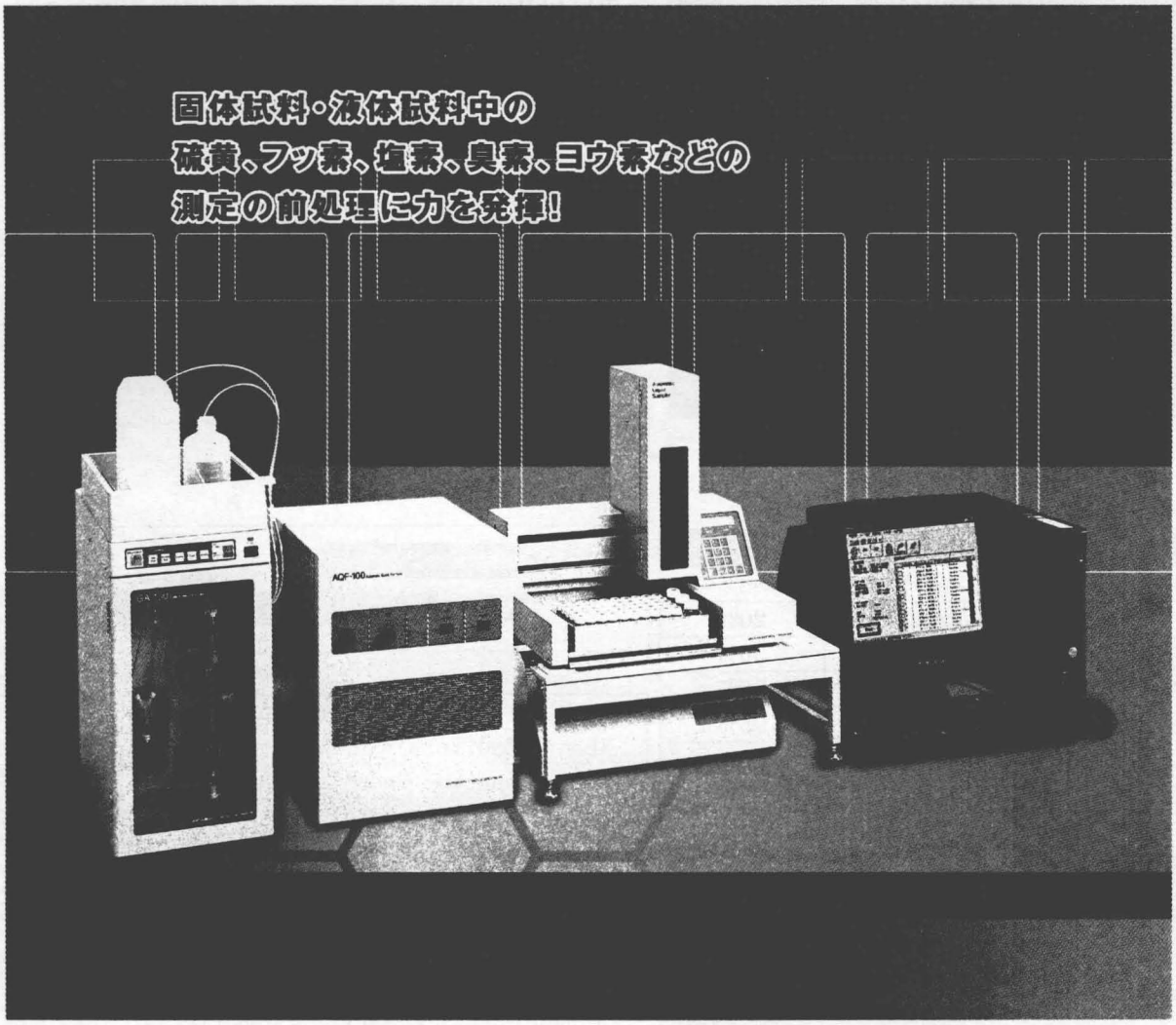
Eメールは、sogomail@sogo-inc.jpまでお願いします。

三菱化学

三菱化学グループ

全自動試料燃焼装置

AQF-100 イオンクロマトグラフ用前処理装置



近年、米国でフッ素の排出規制が実施される等、産業界では様々な元素の微量測定が必要とされています。測定に用いられるイオンクロマトグラフ装置は、水溶液中のイオン成分を分離して分析することにより、物質中の硫黄・フッ素・塩素等の濃度・含有量を測定する機器。しかし、液体以外の固形試料の測定に際しては、試料を燃焼酸化させて元素を水などに吸収させるなどの、実験器具を駆使した手動による前処理が必要でした。AQF-100は、ダイアインスツルメンツが得意とする燃焼技術によって、前処理の自動化を実現した燃焼専用装置です。イオンクロマトグラフ装置と組み合わせて用い、試料の燃焼・吸収及びイオンクロマトグラフ装置への注入を全自動で実施。従来方法にみられた再現性が低いなどの問題を解決し、簡単・高精度な分析を可能としました。

AQF-100型の特長

■**完全自動**: 燃焼−吸収−イオンクロマト注入を完全自動化。吸収管の交換、洗浄の手間も不要。
■**迅速処理**: ABC燃焼システムにより、迅速な燃焼が可能。更に重ね燃焼法により多量試料も処理可能。
■**高 精 度**: 吸収ユニットをシステム化し、環境からの汚染を遮断。

(株) ダイアインスツルメンツ
●本社　〒253-0084 神奈川県茅ヶ崎市円蔵 370　TEL: 0467-86-3703 FAX: 0467-86-3713
●中部オフィス　〒450-0002 名古屋市中村区名駅 3-28-12 大名古屋ビル6階　TEL: 052-565-3552 FAX: 052-565-3531
http://www.dins.co.jp E-mail: info@dins.co.jp

超微量元素の分析に——より信頼性の高い分析値が得られます

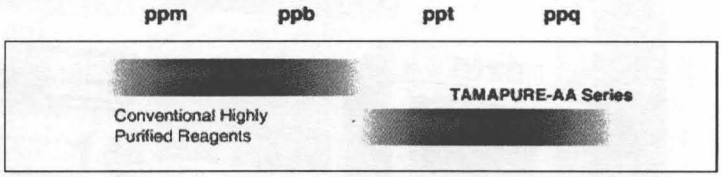
超高純度分析用試薬
TAMAPURE－AAシリーズ

・TAMAPURE-AA シリーズは、不純物 ZERO の世界を目指し開発された超高純度分析用試薬です。

・TAMAPURE-AA シリーズは、エレクトロニクス／環境科学／生化学／医学など広範な科学技術の分野で利用されています。

・TAMAPURE-AA シリーズの最大の特長は、金属不純物レベルが ppt (pg/mL) 以下という世界最高レベルの純度の高さにあります。
また、TAMAPURE-AA シリーズの大きな特長のひとつは、品質の均質性の高さです。
独自の製造・包装技術と徹底した品質管理により、ロット間、容器間の品質の均質性を格段に向上させました。

不純物レベルの比較（当社比）



ラインナップ

● TAMAPURE－AA－100
（各金属不純物 100ppt 以下保証）

弗化水素酸（HF）	38%
塩酸（HCl）	20%
塩酸（HCl）	30%
硝酸（HNO_3）	68%
硫酸（H_2SO_4）	98%
過塩素酸（$HClO_4$）	70%
過酸化水素水（H_2O_2）	35%
アンモニア水（NH_3）	20%
酢酸（CH_3COOH）	30%
臭化水素酸（HBr）	47%

● TAMAPURE－AA－10
（各金属不純物 10ppt 以下保証）

弗化水素酸（HF）	38%
塩酸（HCl）	20%
硝酸（HNO_3）	68%
過酸化水素水（H_2O_2）	35%
アンモニア水（NH_3）	20%

● TAMAPURE－AA 超純水
（各金属不純物 10ppt 以下保証）

● TAMAPURE－AA TMAH
（各金属不純物 1000ppt 以下保証）

● ウエーハ表面分析用スキャンソリューション
TAMAPURE－AA SSシリーズ
SSX は、ISO 仕様の 2%HF＋2% H_2O_2 混合水溶液
各金属不純物 10ppt 以下保証

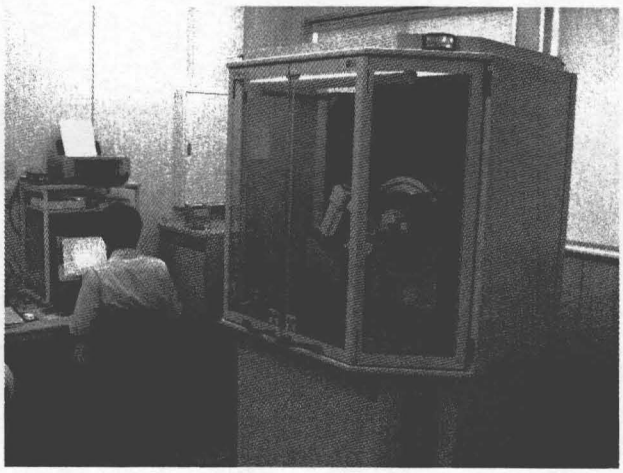
分析例（TAMAPURE-AA-10 硝酸）
(Lot.No.Z307Y02K)　　単位：ppt(pg/mL)

Aluminium(Al)	< 3 *	Mercury(Hg)	< 0.1
Barium(Ba)	< 0.01	Molybdenum(Mo)	< 0.05
Beryllium(Be)	< 0.01	Nickel(Ni)	< 6 *
Bismuth(Bi)	< 0.005	Platinum(Pt)	< 0.05
Cadmium(Cd)	< 0.01	Potassium(K)	< 0.3 *
Calcium(Ca)	< 0.6 *	Rhodium(Rh)	< 0.005
Chromium(Cr)	< 2 *	Rubidium(Rb)	< 0.05
Cobalt(Co)	< 0.1	Silver(Ag)	< 0.05
Copper(Cu)	< 2 *	Sodium(Na)	< 0.3 *
Europium(Eu)	< 0.01	Strontium(Sr)	< 0.01
Gallium(Ga)	< 0.01	Tantalum(Ta)	< 0.01
Germanium(Ge)	< 0.01	Tellurium(Te)	< 0.01
Gold(Au)	< 0.05	Thallium(Tl)	< 0.001
Indium(In)	< 0.005	Thorium(Th)	< 0.005
Iron(Fe)	< 2 *	Tungsten(W)	< 0.01
Lanthanum(La)	< 0.001	Uranium(U)	< 0.002
Lead(Pb)	< 0.1	Vanadium(V)	< 0.1
Lithium(Li)	< 0.005	Zinc(Zn)	< 0.3 *
Magnesium(Mg)	< 0.6 *	Zirconium(Zr)	< 0.5
Manganese(Mn)	< 0.8 *		

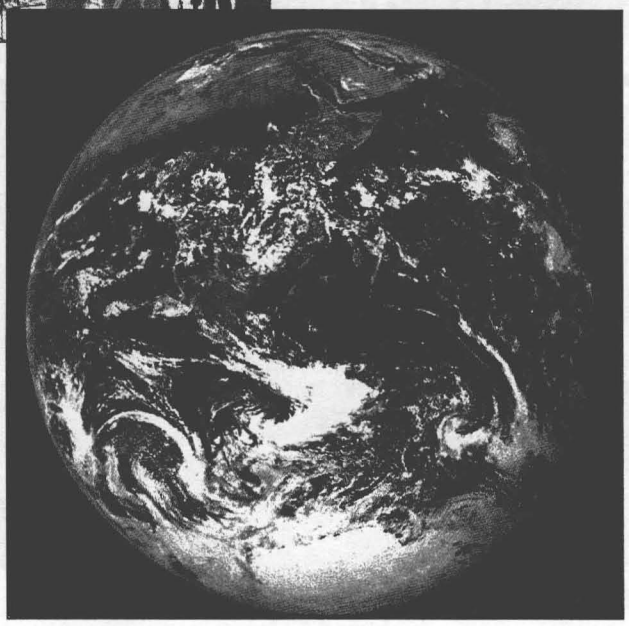
＊印は GF-AAS、その他は ICP-MS

発注先：〒210-0826
神奈川県川崎市川崎区塩浜 3 丁目 22 番 9 号
Tel.044-266-2094　Fax.044-270-1333
E-mail:tamapure@tama-chem.co.jp
http//www.tama-chem.co.jp

多摩化学工業株式会社



技術と精度を地球のために・・・



■計量証明事業所
（濃度・騒音・振動）
■特定計量証明事業所
■作業環境測定機関
■建築物空気環境測定業
■厚生省指定登録機関
■建築物飲料水水質検査業
■計量器修理事業所

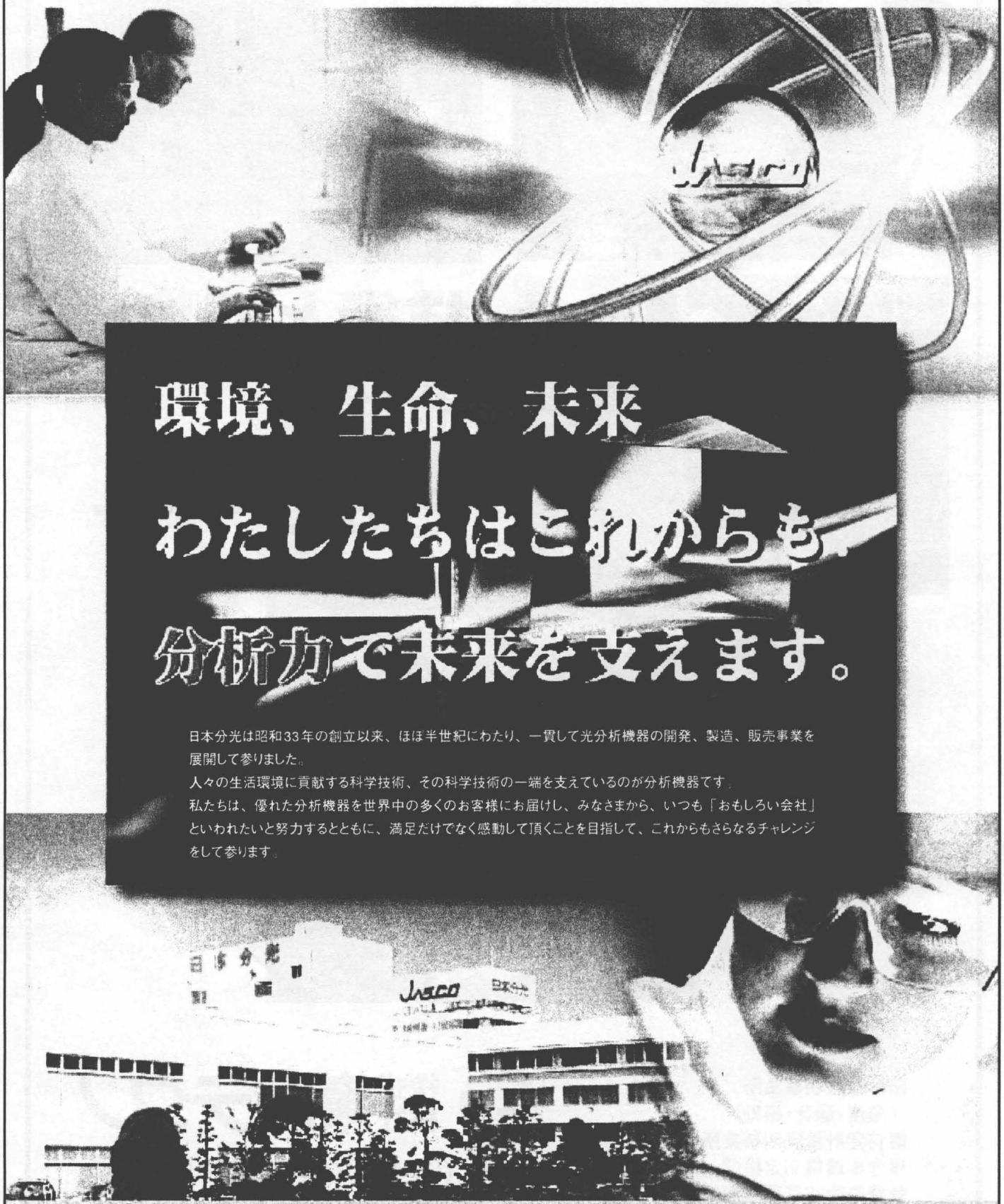
ECOLOGY & SCIENCE

株式会社東海テクノ

http://www.tokai-techno.co.jp

▶ 環境事業部・営業部　四日市分析センター
〒510-0023　三重県四日市市午起一丁目 2-15
TEL:0593-33-0032(代)　FAX:0593-33-8055
E-mail:webman@tokai-techno.co.jp

JASCO Corporation



環境、生命、未来
わたしたちはこれからも、
分析力で未来を支えます。

日本分光は昭和33年の創立以来、ほぼ半世紀にわたり、一貫して光分析機器の開発、製造、販売事業を展開して参りました。
人々の生活環境に貢献する科学技術、その科学技術の一端を支えているのが分析機器です。
私たちは、優れた分析機器を世界中の多くのお客様にお届けし、みなさまから、いつも「おもしろい会社」といわれたいと努力するとともに、満足だけでなく感動して頂くことを目指して、これからもさらなるチャレンジをして参ります。

JASCO は日本分光株式会社の登録商標です。

光と技術で未来を見つめる

日本分光

JASCO 日本分光株式会社

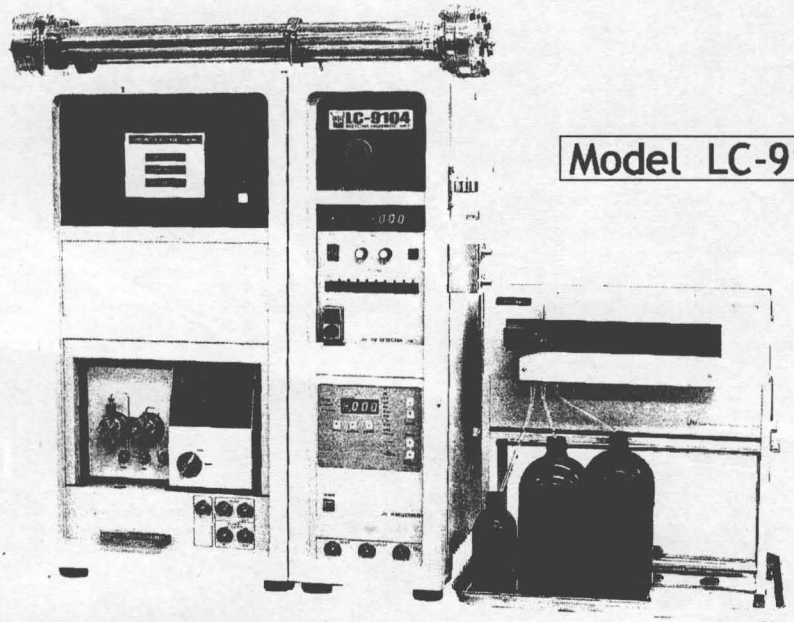
〒192-8537 東京都八王子市石川町2967-5
PHONE 042 (646) 4111 (代表)
FAX 042 (646) 4120 http://www.jasco.co.jp/

北海道S C 011(741)5285
北日本S C 022(748)1040
筑 波S C 029(857)5721
東 京S C 03(3294)0341
西東京S C 042(646)7001
神奈川S C 045(989)1711
名古屋S C 052(452)2671
大 阪S C 06(6312)9173
広 島S C 082(238)4011
九 州S C 092(588)1931

EMS IS014001 JSAE 024
IS09001 JQA-0777

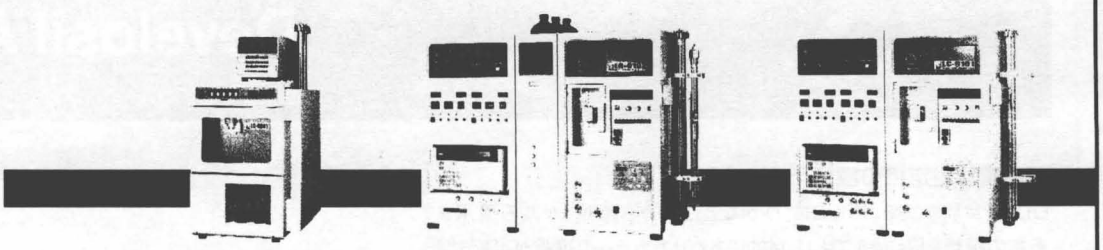
リサイクル分取HPLCはJAIのLC-9000シリーズ！

Recycling Preparative HPLC



Model LC-9104

◆LC-9104　大量分取モデル
専用のＧＰＣカラム（40 φ×600　mm）を装着すれば、試料処理量は、LC-9101型の約4倍。試料注入から分取まで自動化されています。また、ODS・シリカカラムなど、大量分取用カラムの性能を最大限に引き出す装置設計がなされています。



◆ LC-9201/LC-9204
コンパクトモデル
分離分取に定評のあるLC-9101型の高い性能を受継ぎながら、サイズをコンパクトにし、省スペース化と低価格化を実現しました。

◆ LC-9102/9103
グラジエントモデル
グラジエントとリサイクルがワンタッチで切替えられます。

◆ LC-9101
標準モデル
専用のＧＰＣカラム（20 φ×600 mm）を装着すれば、分離能を落とすことなく、常時300　mgを注入することができます。

高分子分析の未来と取り組む！

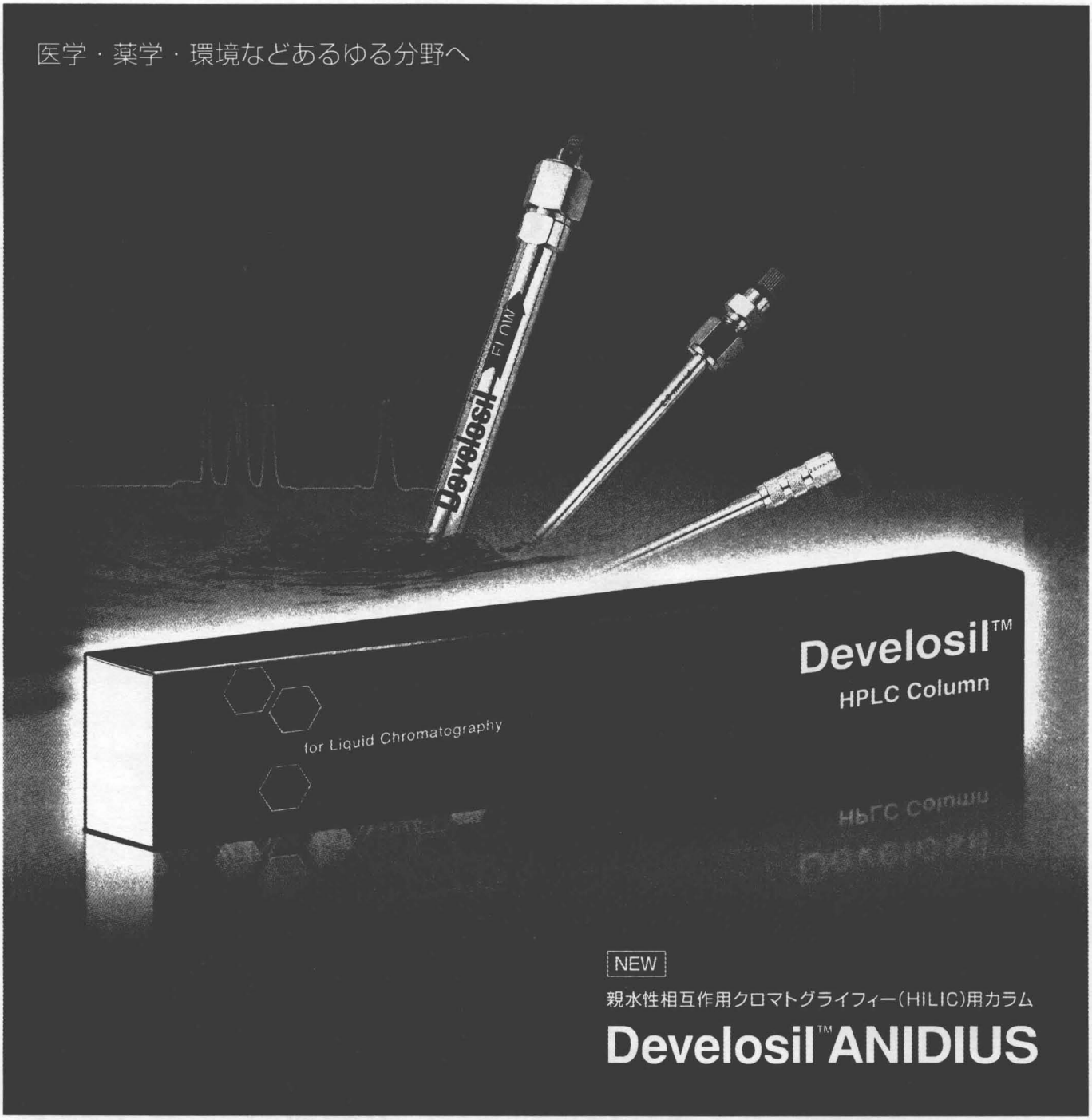
分取LCに関する新連携認定企業

JAI 日本分析工業株式会社

URL：http//www.jai.co.jp/　E-mail：sales-1@jai.co.jp

ISO9001／14001取得

□本社・工場：〒190-1213　東京都西多摩郡瑞穂町武蔵208　TEL 042-557-2331　FAX 042-557-1892
□大阪営業所：〒532-0002　大阪市淀川区東三国5-13-8-303　TEL 06-6393-8511　FAX 06-6393-8525



■豊富な固定相の種類

ODSをはじめC30、Ph、CN、Diolなど逆相から順相、ゲルろ過用まで多数の種類を取り揃えており、目的にあわせたカラムの選択が可能です。

■豊富なサイズの種類

汎用的なサイズはもちろんのことミクロカラムから大量分取用カラムまで幅広く対応しています。また特注品の作製も受け付けています。

■特徴のある製品

野村化学ではHPLC用カラムの他に微量アルミニウム分析試薬キット“Alumeasure”の販売もしております。

全ての製品に関する資料は下記ホームページよりご請求下さい。

http://www.develosil.net

NOMURA CHEMICAL CO., LTD.

【お問い合わせ先】

野村化学株式会社

〒489-0004 愛知県瀬戸市日の出町15

TEL:0561-48-1853 FAX:0561-48-1434

世界初！ 材料設計・開発・耐久性などの迅速で正確な評価・分析に強力な新戦力

ダブルショット・パイロライザーの画期的な付属品

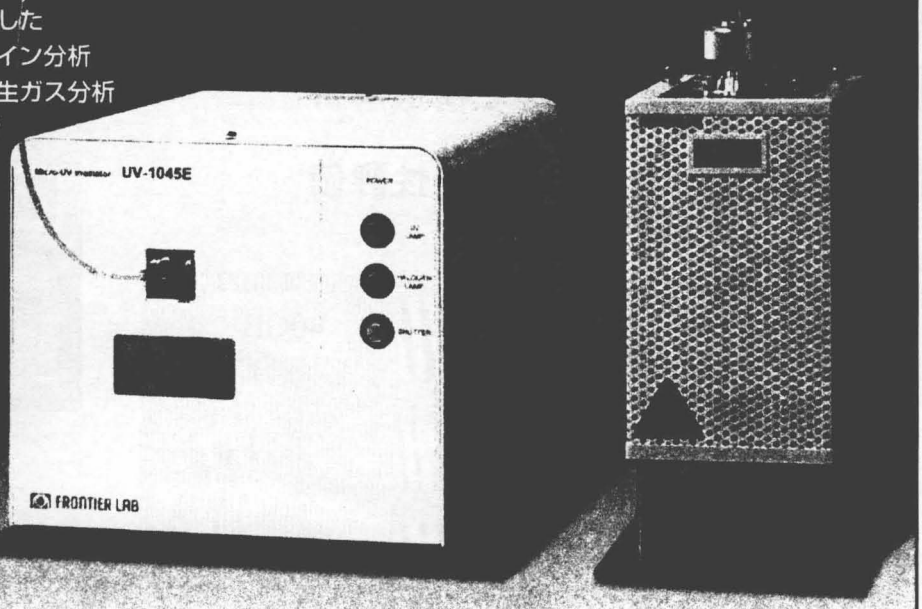
高分子材料の光・熱・酸化劣化の評価・分析を可能にする

マイクロUV照射装置 UV-1045E

[特徴] GC/MSとの併用で、次の新たな分析が可能です。

加熱・空気中でのUV照射により生成した

1) 揮発性劣化生成物の迅速なオンライン分析
2) 変性したポリマーの構造変化を発生ガス分析法と瞬間熱分解-GC/MS法で分析



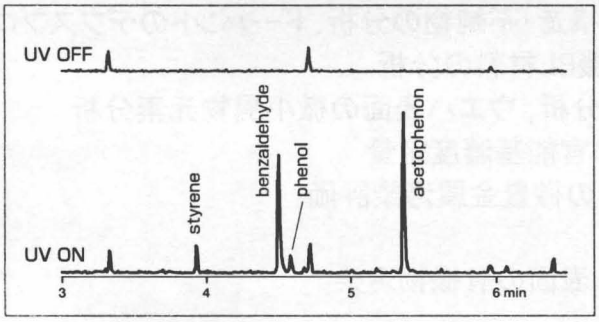
[仕様]

- D2ランプ(UV)とハロゲンランプの選択あるいは同時使用可能
- 波長範囲(ファイバー先端部)：280～1100nm
- 照射時間制御機能：PC制御
- 適用機種：ダブルショット・パイロライザー(変更なしで適用可)
- 標準付属品：UV光源部(He/Air 切替え機能つき)、液体窒素容器、光ファイバーケーブル、Ultra ALLOYキャピラリーカラムなど
- ユーザー準備品：圧縮空気ポンベ、液体窒素

応用分析例

下記は、試料カップの底面に塗布したポリスチレンの薄膜を、一時間にわたり空気中で100℃に加熱しながら、UVを照射した場合(UV ON)と、しない場合(UV OFF)の揮発性の光・熱・酸化劣化生成物と、その後にダブルショット・パイロライザーを用いた発生ガス(EGA)分析と瞬間熱分解GC/MS分析法により、変性した基質ポリマーを分析した例です。

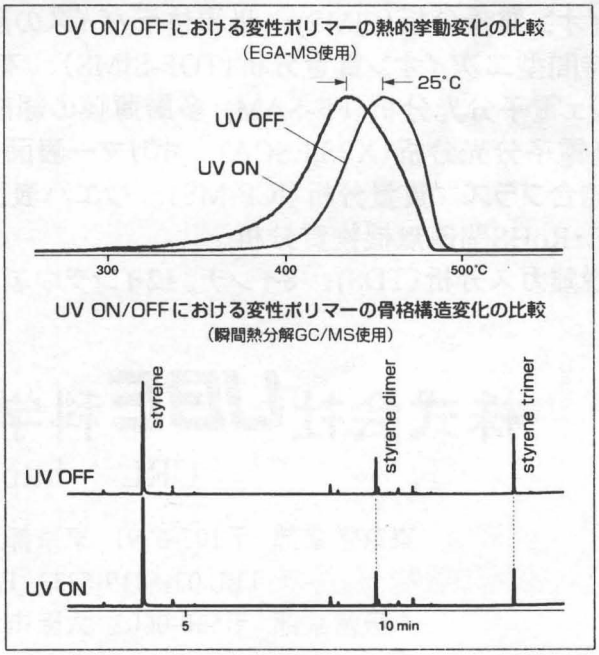
光・熱・酸化劣化による揮発性生成物の測定



▲光・熱・酸化劣化生成物の測定

UV OFFでは、劣化生成物は観測されなかったが、ONの場合には、酸素共存下でのUV照射により、数十ppm程度の含酸素芳香族化合物が観測された。

EGAおよび瞬間熱分解法による変性ポリマーの分析例



劣化後の変性ポリマーの測定▶

EGAサーモグラム上のピーク頂の温度は照射後には25°C低温側へシフトし、さらに熱分解開始温度も400°Cから300°Cへと大きく低下した。これは、光・熱・酸化劣化による分子量低下を示唆している。またパイログラムにおいても、スチレンとスチレン三量体のピーク比においては、UV照射後では明らかに変化が認められ、これはポリマー骨格の構造変化を示している。

FRONTIER LAB フロンティア・ラボ 株式会社 〒963-8862 福島県郡山市菜根1-8-14
TEL:(024)935-5100 FAX:(024)935-5102 http://www.frontier-lab.com/

高性能の熱分解装置と金属キャピラリーカラムの開発・製品化に専念して、洗練された製品をお届けしています。

© 2008.Feb. Frontier-Lab

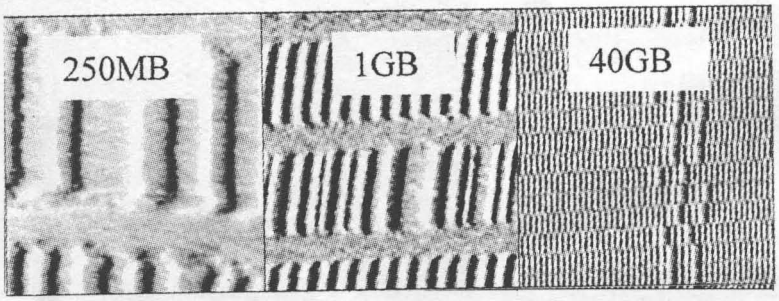
ナノテクノロジーの物性評価をサポートします

■表面・局所・超微量分析、安全性試験

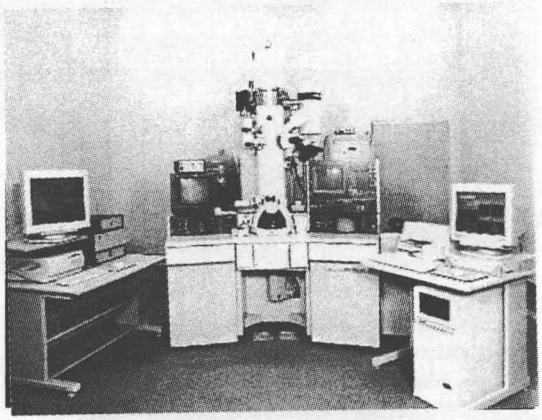
■無機・有機化合物の組成分析と構造解析

■高分子材料の組成分析と構造解析

■高分子材料の形態観察と物性評価



ハードディスク表面の磁気力顕微鏡像(10×10μm)


透過型電子顕微鏡

●透過型電子顕微鏡(TEM): FPDの断面観察、マイクロサンプリングFIBによる特定微小領域の分析
●表面構造評価用多機能X線回折: 多層薄膜の面内および深さ方向の結晶構造評価
●走査プローブ顕微鏡(SPM): 材料最表面の凹凸形状、電気力、摩擦力、磁気力イメージ測定
●二次イオン質量分析(SIMS): 半導体デバイスの層構造・不純物の分析、ドーパントのデプスプロファイル
●飛行時間型二次イオン質量分析(TOF-SIMS): 有機EL材料の分析
●オージェ電子分光分析(FE-SAM):多層薄膜の組成分析、ウエハ表面の微小異物元素分析
●X線光電子分光分析(XPS,ESCA): ポリマー表面の官能基濃度定量
●誘導結合プラズマ質量分析(ICP-MS): ウエハ表面の微量金属汚染評価
●WEEE・RoHS関連無機物質分析
●昇温脱離ガス分析(TDS): 8インチ、12インチウエハ表面の有機物汚染

株式会社UBE科学分析センター

URL http://www.ube.co.jp/usal/

東京営業部 〒105-6791 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館20F
TEL.03-5419-6333 FAX.03-5419-6334
大阪営業部 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-2-16桜橋東洋ビル7F
TEL.06-6346-2853 FAX.06-6346-1763
西部営業部 〒755-8633 山口県宇部市大字小串1978-5
TEL.0836-31-6568 FAX.0836-31-6601
千葉営業所 〒290-0045 千葉県市原市五井南海岸8-1
TEL.0436-23-5155 FAX.0436-23-5449

試薬・化成品・臨床検査薬・機器の販売を通じて

最高水準の研究開発をサポートします。

www.isekyu-jp.com

BIG FRONTIER TOMORROW

人・もの・未来を開拓するアクティブ伊勢久

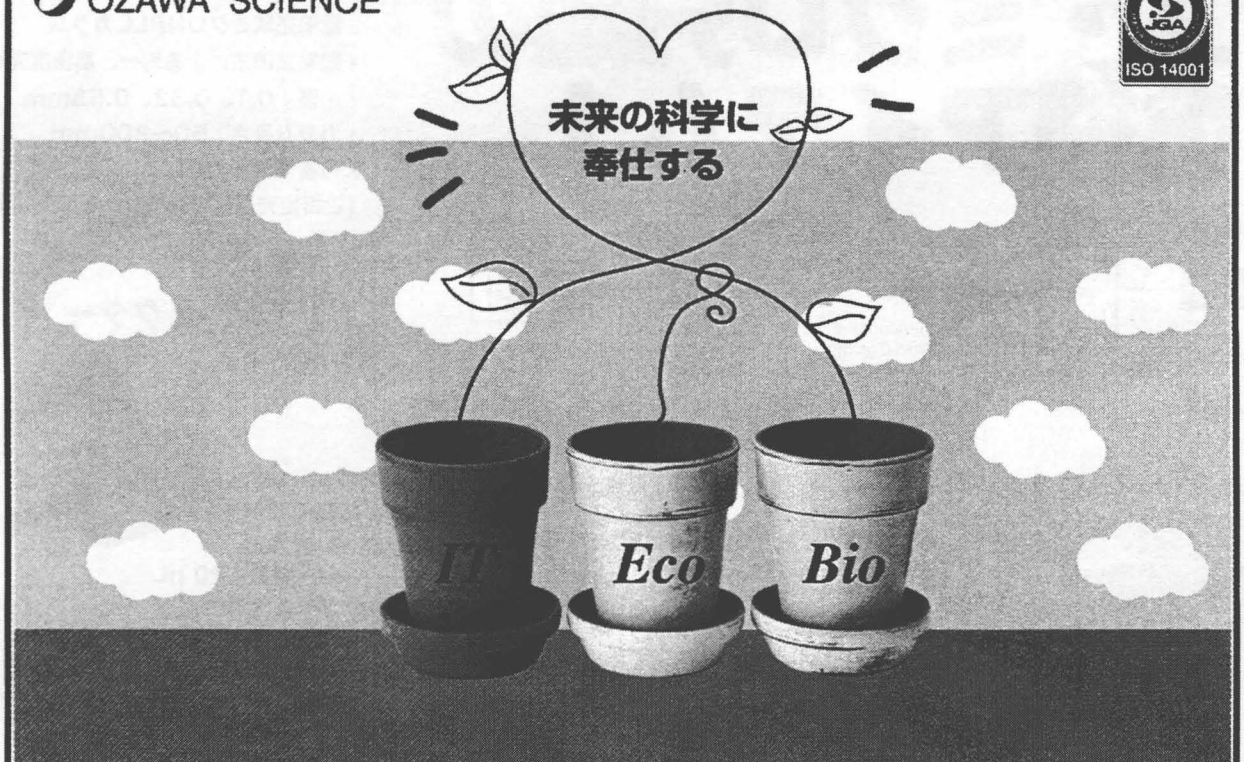
250th Anniversary

おかげさまで創業250周年

I-S-E-K-Y-U 伊勢久株式会社 名古屋営業所 〒460-8558 名古屋市中区丸の内3-4-15 TEL.052-961-8321 FAX.052-971-5150

OZAWA SCIENCE

ISO 14001



科学機器・計測システムの技術・情報商社

オザワ科学株式会社

本 社 / 〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目9番22号
TEL(052)951-5331(代) FAX(052)962-7358
・本社分室・刈谷・豊田・豊川・春日井・四日市・亀山・岐阜・浜松・静岡・三島・商品センター

URL http://www.ozawasc.co.jp E-mail welcome@ozawasc.co.jp

自由なる創意の結果が、大いなる未来を拓く

【業務内容】

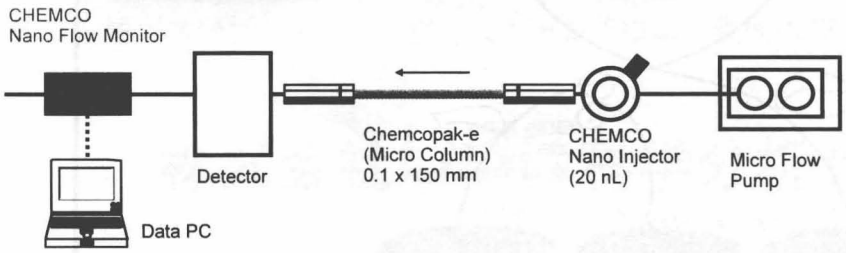
電子部品への機能メッキ　半導体メッキ　粉体メッキ　アルマイト
硬質アルマイト　亜鉛メッキ　クロムメッキ　ニッケルメッキ　貴金属メッキ
マンガン処理　黒染　無電解ニッケルメッキ　無電解銅メッキ　錫メッキ 他
表面分析(FE-SEM)　化学分析(ICP-AES)による分析サービス

清川メッキ工業株式会社

代表取締役社長 清 川　忠

〒918-8515 福井市和田中1丁目414　TEL 0776-23-2912　FAX 0776-21-7402
http://www.kiyokawa.co.jp　E-mail info@kiyokawa.co.jp

ナノ・ミクロ分離の必須アイテム！



Chemcopak - e

電場充填ミクロHPLCカラム

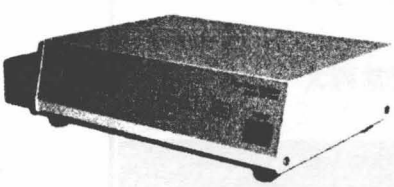
- 電場充填法による均一、高密度充填
- 内径：0.1、0.32、0.53mm
- カラム長さ：50～300mm
- 各種充填剤に対応。

(ご指定充填剤の充填サービスも可能です。)

ナノインジェクター

- 注入容量：20 nL
- 優れた再現性
- カラムを直接接続可能
- 内径0.1～0.5mmカラムに対応
- 低デッドボリューム構造

ピコフローモニター PF-04



- ◆ リアルタイムで微量送液の測定が可能
- ◆ 対応流量範囲：10nL/min～10μL/min程度
- ◆ 液体に接触しないダイレクトモニター方式
- ◆ 流量データをPCに取り込み可能
- ◆ グラジェント分析にも使用可能

株式会社 ケムコ
URL:http://www.chemco.jp/　e-mail: info@chemco.jp
大阪本社　〒530-0016　大阪市北区中崎2-8-14(堀川ビル)
TEL 06-6375-0395(代), FAX 06-6372-0533
東京営業所　〒108-0074　東京都港区高輪2-19-17(高輪交陽ハイツ)
TEL 03-3444-4201(代), FAX 03-3444-4238

進取の精神で
確かな品質と情報を
お届けします。

- 工業用ゴム製品
- プラスチック製品
- ホース・ベルト・シート類
- 接着剤・金属製品
- 土木・建築用資材

建設ゴム株式會社

〒466-0027 名古屋市昭和区阿由知通り４丁目１８
ＴＥＬ (052) 851－７　２　１　１　(代)
支社(名東・豊川・豊田・滋賀) 営業所(横浜・九州・大分)
海外(香港・中国・タイ)

分析・試験・調査

大同特殊鋼グループの
蓄積された技術とノウハウで、
材料開発・品質管理のための
調査および解析データを提供。

材料解析
各種材料の
破断原因調査

環境分析
産業廃棄物の分析
工場排水の測定

化学成分分析
鉄鋼、非鉄金属の
成分分析

機械試験
各種材料の強度・
靭延性の試験

腐食試験
金属、ステンレス等の
沸騰試薬腐食試験

DBR 株式会社 大同分析リサーチ
DAIDO BUNSEKI RESEARCH, INC, ; DBR
〒457-8545 名古屋市南区大同町2丁目30番地
TEL 052-611-9434·8547 FAX 052-611-9948

詳しくはホームページまで
http://www.daido.co.jp/dbr/index.html
ご意見・ご感想等はメールで
E-MAIL:webmaster_dbr@daido.co.jp

「つくる」を支える技術 それが私たちの誇りです

私たちＴＲＩテクノは５つの専門技術で
ＴＲＩグループの世界No.１品質を支えています！

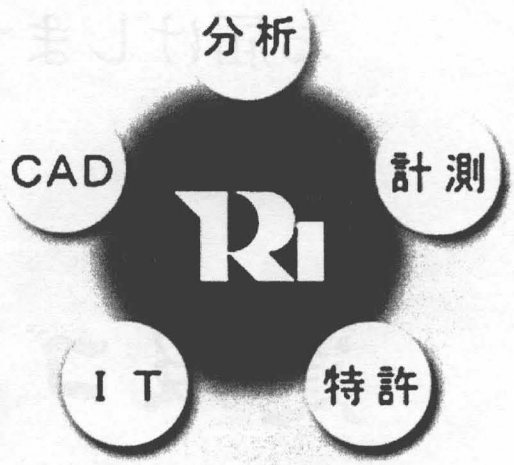
● 分析
材料の様々なニーズに分析・解析技術でお応えします。

● 計測
良い製品作りを高度な計測技術で支えていきます。

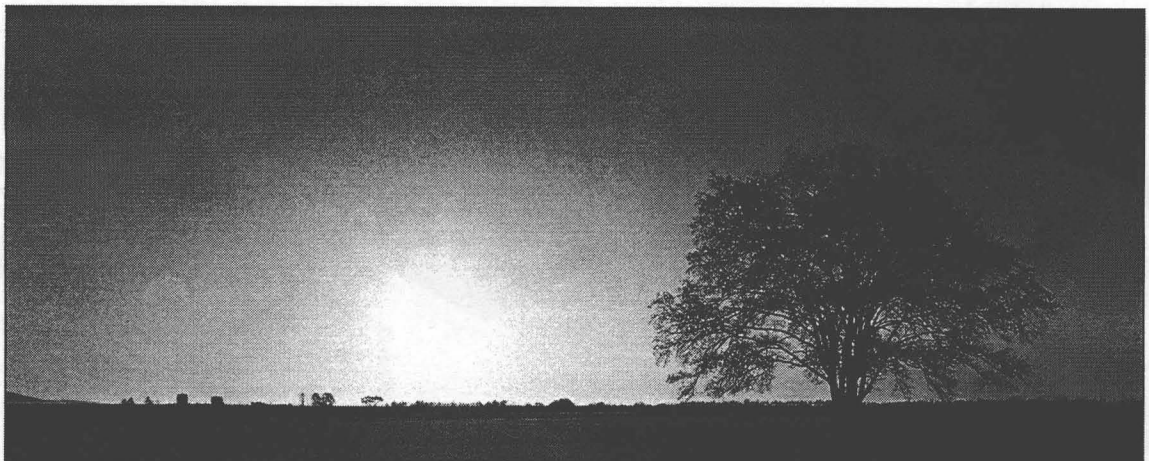
● 設計
確かなＣＡＤ・ＣＡＥ技術で多様化するニーズにお応えします。

● 特許
知的財産の創造・保護・活用に高い専門技術でお応えします。

● ＩＴ
事業活動に最適なＩＴ化推進によりあらゆるニーズにお応えします。



Ri TECHNO 株式会社 TRIテクノ
Innovation with Technologies
www.tri-techno.co.jp



地球とのケミストリー。

化学を意味する[ケミストリー:chemistry]には、「相性」という意味もあります。
私たちは、化学製品を通して豊かな暮らしをお届けするとともに、
地球と"相性よく"調和しながら事業を展開していきます。

TOAGOSEI 東亞合成株式会社
〒105-8419 東京都港区西新橋1-14-1 TEL:03-3597-7215 http://www.toagosei.co.jp

TTR 株式会社東海テクノリサーチ

本　社　〒476-8686　愛知県東海市東海町五丁目3番地（新日鐵名古屋製鐵所構内）
TEL 052(603)7317　FAX 052(603)7272

営業事務所　〒476-0015　愛知県東海市東海町二丁目13番地の13
TEL 052(603)7611　FAX 052(603)7610

Shin-Etsu

未来の素材を化学で拓く

日信化学工業株式会社

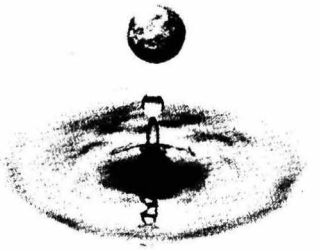
代表取締役社長　宮　澤　繕　行

本社・工場　越前市北府 2-17-33

TEL（0778）22-5100㈹　FAX（0778）24-0657

http://www.nissin-chem.co.jp

人類の未来を支えるもの、それは環境との調和、共生



（業務内容）

1．環境アセスメント調査
2．環境調査
　・生物、自然環境調査　　・河川、ダム、湖沼、海域等　水質調査
　・産業廃棄物、土壌分析調査　　・騒音・振動、悪臭、大気測定調査
　・ダイオキシン類・環境ホルモン分析調査
3．水道、井戸水、地下水等検査　　4．アスベスト検査
5．食品検査（食品衛生・細菌検査、栄養分析）　　6．作業環境測定

環境計量証明事業　　建設コンサルタント

㈱ 北陸環境科学研究所

ISO 9001 認証取得

本所　〒910-0026　福井県福井市光陽４丁目 4-27
TEL(0776)22-2771（代）　FAX(0776)22-1701
金沢営業所　〒921-8801　石川県石川郡野々市町御経塚１丁目５５　ｵﾌｨｽ 21 ｲﾃﾞｱﾙ 106
TEL(076)246-8778（代）　FAX(076)246-8775
http://www.hokukanken.jp/　　E-mail：info@hokukanken.jp

実行委員会

市田淳一（㈱東海テクノ）
大野典子（朝日大学経営学部）
北川慎也（名古屋工業大学大学院）
小泉貞之（福井高等工業専門学校）
高田主岳（名古屋工業大学大学院）
袋布昌幹（富山高等工業専門学校）
柘植　明（産業技術総合研究所）
服部敏明（豊橋技術科学大学）
松宮弘明（名古屋大学大学院）
リムリーワ（岐阜大学工学部）
大谷　肇（名古屋工業大学大学院）
奥山修司（愛知県警察本部）
金　継業（信州大学理学部）
斉藤　徹（名古屋大学大学院）
竹内豊英（岐阜大学工学部）
丁子哲治（富山高等工業専門学校）
手嶋紀雄（愛知工業大学工学部）
藤本忠蔵（浜松医科大学）
湯地昭夫（名古屋工業大学大学院）

編集後記

私が日本分析化学会に入会させて頂いたのは 1990 年のことで、その年に名古屋工業大学で開催された第 39 回年会において人生初の学会発表するためでした。その時私は野村俊明先生の研究室に修士課程 1 年生として在籍しており、奇しくも人生初の所属学会が中部支部だった訳です。その後方々を研究放浪しておりましたが、2006 年春に御縁あって着任致しましたのが名古屋工業大学で、これは運命のいたずらとしか申しようがありません。

中部支部とこのように不思議な御縁のある私が支部創立 50 周年の実行委員を拝命致しましたのももはや必然と思えます。創立 50 周年を御祝い申し上げますのと同時に、太平洋側と日本海側にまたがり、さらに 3000m 級の峰々からなる日本アルプスを擁する中部圏の地理的な不便さにも拘わらず、中部支部の発展の御尽力された御先達に心より感謝申し上げます。また、創立 50 周年記念事業を様々な形で御支援くださいました関係各位や、本記念誌に快く広告を掲載してくださいました企業および団体に厚く御礼申し上げます。

極微力ながら創立 50 周年記念行事に携われたことに感謝し、中部支部ならびに会員の皆さまの益々の御発展を祈念致しまして、あとがきとさせて頂きます。

2008 年度日本分析化学会中部支部庶務幹事
中部支部創立 50 周年記念事業実行委員
高田 主岳